

令和2（2020）年度決算
主要施策等に関する報告

【一般会計】 2 款 総務費

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-3 公共施設を総合的かつ計画的に管理・運営する

事務事業名	新庁舎管理費			決算書 掲載ページ	110
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	総務課	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	69,644		57,114	0	12,530
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,276		0	2,323	53,515
目 的	市の総合行政機能を担う庁舎（新庁舎）について、適切な維持管理を行う。				
取組内容・実績	業務委託により、コンシェルジュや総合案内、電話交換、宿直、警備、セキュリティエリアの確保のための機械警備、庁舎内外の清掃作業、各種設備の点検作業などを実施した。				
成 果	庁舎（新庁舎）の適切な維持管理を行い、来庁者を始めとする市民の利便性の確保や市民サービスの提供を確実に行うことができた。				
課題・今後の方向性	庁舎移転に伴い、令和2（2020）年度で終了する。令和3（2021）年度予算の庁舎管理費で、引き続き、適切な維持管理を行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

事務事業名	政策推進事業			決算書 掲載ページ	112
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	総務課	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,463		7,462	0	1
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	7,462
目 的	多様化、高度化する行政課題に的確に対応し、政策の推進を図る。				
取組内容・実績	じよんのび村、公共交通、大学、パブリック・サービスなど、本市の重要課題に関して、委託先の株式会社経営共創基盤と打合せを11回実施するとともに、随時に助言・アドバイスを受けた。				
成 果	本市の重要課題に対して専門家の知見を取り入れて、政策を推進することができた。				
課題・今後の方向性	目まぐるしく変わる地域課題に対応するため、今後も専門家の知見を取り入れながら、適切な政策推進を図る必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-1 平和と人権を尊重する心をはぐくむ
	⑥-1-2 人権を尊重した社会づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-1 平和と人権を尊重する心をはぐくむ
	⑥-1-1 平和に関する意識啓発を進める

事務事業名	無料法律相談事業			決算書 掲載ページ	114
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	総務課	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	792		792	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	792
目 的	法的解釈が必要な生活上の問題について、弁護士から問題解決のための助言を受けることにより、市民が安心して暮らせるまちづくりを推進する。				
取組内容・実績	毎月第2・第4水曜日の午後3時0分～3時30分×6回の無料法律相談を実施し、139人が利用した。				
成 果	市内に事務所を持つ5人の弁護士に相談することができ、身近な相談窓口として、家庭、地域社会、職場等における様々な法律問題の解決に寄与した。				
課題・今後の方向性	予約が集中する時期には次の相談日までお待ちいただくことがあること、相談者が増加傾向にあることに鑑み、開設日増設などを検討する必要がある。				

事務事業名	核兵器廃絶平和推進事業			決算書 掲載ページ	114
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	総務課	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	491		171	0	320
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	171
目 的	核兵器廃絶平和都市宣言の趣旨にのっとり、市民一人一人の平和意識の醸成を推進する。				
取組内容・実績	満州柏崎村の塔へ10日間献花台を設置し、108人が献花した。柏崎市平和教育パンフレットを作成し、市内中学校2年生592人に配布した。瑞穂中学校、東中学校、北条中学校及び第二中学校の4校を対象に被爆写真パネルを用いた巡回パネル展を開催した。				
成 果	若い世代を中心に、被爆地広島・長崎の悲惨な状況や核兵器の恐ろしさ、平和の尊さについて考える機会を継続して提供することができた。				
課題・今後の方向性	悲惨な戦争の体験者の高齢化が進行し、一方で、若い世代における平和の尊さに対する認識が希薄になりつつある。核兵器の恐ろしさに特化した内容だけでなく、平和の尊さについて考える機会を提供するなど、平和意識の醸成を継続して進める必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

事務事業名	職員研修費			決算書 掲載ページ	118
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	人事課	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,101		5,385	0	2,716
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	5,385
目 的	社会経済情勢の変化に敏感で、その変化に対応できるスキルを持った市職員の育成を図る。				
取組内容・実績	全ての職員に対し、eラーニングによる内部研修を実施した。また、主任・主査に昇格した36名の職員を対象に市長・副市長ミーティングを実施し、市政に対する考えを直接聞くことのできる機会を設けた。さらに、より高度な知識を習得するため、外部の専門研修に参加した。そのほか、次期リーダーの育成を目的として、柏崎リーダー塾に2名の職員が参加した。				
成 果	研修の受講により、職務に関する基礎知識や職位別に求められるスキルを習得することができた。				
課題・今後の方向性	人材育成指針に掲げる目指す職員像「柏崎市民のため、将来に渡るまちの持続的発展のために、使命感、責任感及び先見性を持った行動力のある職員」を実現するためには、今後も研修の受講などによる職員一人一人の資質の向上が必要である。				

事務事業名	人材育成費			決算書 掲載ページ	118
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	人事課	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	869		629	0	240
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	629
目 的	人事評価制度を実施し、適切な人事管理と効果的な人材育成を進める。				
取組内容・実績	人事評価制度の円滑な運用及び定着を図るため、評価者（係長以上）・被評価者（一般職員）を対象に研修を行い、392名の職員が受講した。				
成 果	育成面談に重点を置いた内容で研修を実施した。繰り返しの研修により、人事評価制度に対する理解が深まるとともに、評価者においては、評価基準が平準化されてきた。				
課題・今後の方向性	安定した人事評価制度の運用のためには、制度に対する正しい理解に基づいた適切な職務目標の設定や、職務行動に対する均衡のとれた評価が不可欠である。また、安定した制度運用による人事管理及び人材育成を実現するため、計画的な研修の継続実施が必要である。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-1 平和と人権を尊重する心をはぐくむ
	⑥-1-2 人権を尊重した社会づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-1 平和と人権を尊重する心をはぐくむ
	⑥-1-2 人権を尊重した社会づくりを進める

事務事業名	帰国家族支援事業			決算書 掲載ページ	120
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	人権啓発・男女共同参画室	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	123	51	0	72	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	51	
目 的	北朝鮮当局による拉致被害者である蓮池さん御家族の自立を支援する。また、拉致問題の早期全面解決を目指しつつ、風化防止の取組を柏崎市・佐渡市・福井県小浜市による拉致被害者関係市連絡会で連携して推進する。				
取組内容・実績	蓮池さん御夫妻とは、4月の市長懇談会を始め、事態・状況に応じ、連絡調整を図り、情報交換を行った。拉致問題風化防止の取組として、10月中下旬に拉致問題を考える巡回パネル展を旧市役所1階ロビーで開催したほか、12月には拉致問題を考える講演会を、蓮池薫さんを講師に迎え、市内中学校2校で開催し、269人が参加した。また、第21回拉致被害者関係市連絡会をリモートで12月21日に開催した。				
成 果	蓮池さんの講演会は、問題の風化防止に留まらず、差別・偏見はいけないという中学生の人権意識向上の学習としても有意義なものとなった。第21回連絡会では、米中首脳への支援要望メッセージを両国領事館へ持参し、提出することとしたが、コロナ禍で実現に至らなかった。				
課題・今後の方向性	発生から40年以上、蓮池さん御夫妻等の帰国から18年が過ぎたが、横田めぐみさんを始め未帰国者もあり、被害者や親世代の高齢化の中、日朝交渉が停滞している。帰国家族支援に加え、若年層市民に拉致問題を継承し、早期全面解決を目指して取組を継続する必要がある。				

事務事業名	男女共同参画啓発事業			決算書 掲載ページ	120
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	人権啓発・男女共同参画室	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	3,159	3,061	0	98	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	115	0	6	2,940	
目 的	男女が互いの人権を尊重して認め合い、性別に関わりなく、その個性と能力を發揮できる男女共同参画社会の実現は、国家的重要課題である。行政・市民・団体・事業所がそれぞれの役割を果たしながら、協働で推進することが必要であり、積極的な啓発に取り組む。				
取組内容・実績	柏崎市男女共同参画推進条例に基づく柏崎市男女共同参画基本計画を推進するための啓発事業として、デートDV（ドメスティック・バイオレンス）予防啓発講座を高校生を対象に4校で5回開催し、802人が受講したほか、かしわざき男女共同参画推進市民会議に負担金を支出し、講演会開催や機関誌発行等の活動を支援した。				
成 果	デートDV予防啓発講座後のアンケートでは、多くの高校生から「恋人や仲の良い者同士であっても暴力等による人権侵害が起きる可能性を知り、互いの人権を尊重することの大切さを学んだ。」等の前向きな声が寄せられており、若年層への意識啓発に結びついた。				
課題・今後の方向性	時代のすう勢や、世界的に低位にある日本の男女共同参画の課題に視点を向け、男女共同参画推進に関する事業活動のマンネリ化を打破し、その改善や新規事業導入を図る。また、協働を推進するため、市民・団体・事業所への助言・支援や連携を積極的に行う。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-1 平和と人権を尊重する心をはぐくむ
	⑥-1-2 人権を尊重した社会づくりを進める

事務事業名	ワーク・ライフ・バランス推進事業			決算書 掲載ページ	120
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	人権啓発・男女共同参画室	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	128		103	0	25
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	103
目 的	市民一人一人が、やりがいや充実感を持って働き、仕事上の責任も果たしながら、同時に子育て・介護の時間や、家庭、地域、自己啓発等に係る個人の時間を持てる健康で豊かな生活ができるようワーク・ライフ・バランスの推進を図る。				
取組内容・実績	2月19日に「身近な事例に学ぶワーク・ライフ・バランス推進セミナー」を開催し、市内の事業所の人事・労務担当者8人が参加した。				
成 果	セミナーでは、講師から新潟県内事業所におけるワーク・ライフ・バランス推進の先行事例を参考に、その推進の意義・効果等を学ぶとともに、参加者によるディスカッションを通じ、ワーク・ライフ・バランスの重要性や導入方法を学び、その啓発・推進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	ワーク・ライフ・バランス推進の最終目的は、セミナー開催ではなく、実際に市民が、男性の育児休業、介護休業など法律で定められた権利を実際に行使していくことであり、それらが当然のこととなっていくよう、更なる取組の充実が必要である。				

事務事業名	男女共同参画基本計画策定事業			決算書 掲載ページ	120
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	人権啓発・男女共同参画室	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	851		539	0	312
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	539
目 的	男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別に関わりなくその個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現を目指すための道しるべとして、各施策を総合的・効果的に推進する柏崎市男女共同参画基本計画（かしわざき男女共同参画プラン）を5年ぶりに改定する。				
取組内容・実績	令和元（2019）年度から2か年をかけて、柏崎市男女共同参画審議会による協議・検討・答申を受けて、令和3（2021）年3月に柏崎市男女共同参画基本計画を改定し、公開した。				
成 果	柏崎市男女共同参画基本計画（かしわざき男女共同参画プラン）は、令和3（2021）年度から令和7（2025）年度までの5年間、当市の男女共同参画社会の実現に向けた道しるべとして、各施策を総合的・効果的に推進するために有効活用される。				
課題・今後の方向性	世界的に見て、低位にある日本の男女共同参画の実現状況や課題等と向き合い、柏崎市男女共同参画基本計画に基づき、今後5年間、各施策を総合的・効果的に推進する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-1 平和と人権を尊重する心をはぐくむ
	⑥-1-2 人権を尊重した社会づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-2 地域力が発揮できる環境を充実させる

事務事業名	人権擁護事業			決算書 掲載ページ	120
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	人権啓発・男女共同参画室	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,245		949	0	296
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	185		0	0	764
目 的	柏崎市人権教育・啓発推進計画に基づき、様々な分野における人権意識を向上させ、差別やいじめのない安心して暮らせるまちづくりを推進する。				
取組内容・実績	柏崎市人権教育・啓発推進計画を推進するための人権講演会として、11月1日に「親子が笑顔で向き合う子育て～孤立と虐待のない街づくり～」を開催し、131人が参加した。また、人権関係団体などが開催する研修会に市職員の参加を促すとともに、人権擁護委員協議会、保護司会などへ負担金を支出して、その活動を支援した。				
成 果	人権講演会の受講後アンケートでは、子育て期における親の孤立や児童虐待とその葛藤等への学びが深まったとの声が多く寄せられ、児童虐待防止に関する知識・啓発を深めることができた。				
課題・今後の方向性	令和3（2021）年度から人権教育・啓発推進計画の次期改定に着手する。現計画の残り2年、各施策の進捗管理を適切に実施し、改定へ向けた成果・課題の洗い出し等を進める。また、人権講演会を継続し、アンケート要望に基づいた内容選定に配慮する。				

事務事業名	市政協力費			決算書 掲載ページ	124
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	70,343		69,502	0	841
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	65,446		0	0	4,056
目 的	市が発行する広報紙や回覧・チラシ等を各世帯へ配布する業務を町内会に依頼することにより、効率的な配布を行う。				
取組内容・実績	市内304町内会に市政協力に対する事務費を交付した。世帯数に応じた「世帯割」、町内規模に応じた「平均割」によって交付額を算出している。				
成 果	市政情報の適正な提供と市政運営に関する町内会意向の集約について協力を得ることができた。				
課題・今後の方向性	配布物が多く、町内会の負担となっているため、市内部及び外郭団体を含めた配布方法の見直しを検討する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	⑦その他
	⑦-1 その他
	⑦-1-1 その他

事務事業名	避難者見守り支援事業			決算書 掲載ページ	126
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	東日本大震災被災者支援室	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	14,835		14,648	0	187
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	14,333		0	0	315
目 的	東日本大震災被災者の台帳整備・管理により避難者と被災元の連絡調整を行う。また、訪問等により被災者のニーズに沿った見守り支援を通して本市での安心、安全な生活を提供する。				
取組内容・実績	被災元の県や市町村と連絡調整を行い、被災者台帳を適正に管理した。また、訪問を中心とした見守り支援や交流会を実施し、情報提供のための冊子である「あまやどりのもり」を定期発行した。				
成 果	柏崎市で避難生活を余儀なくされている被災者へ各種支援を行ったことで、生活の安定や自立を図ることができた。				
課題・今後の方向性	国の動向を注視しながら、見守り支援の在り方について検討する必要がある。				

事務事業名	特別定額給付金給付費			決算書 掲載ページ	126
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民課	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,250,000		8,223,600	0	26,400
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	8,223,600		0	0	0
目 的	新型コロナウイルス感染症の緊急経済対策として、特別定額給付金を市民1人当たり10万円支給し、迅速かつ的確に家計への支援を行う。				
取組内容・実績	特別定額給付金対象者82,236人に1人当たり10万円の給付を行った。				
成 果	新型コロナウイルス感染症による家計への影響を一部緩和することができた。				
課題・今後の方向性	新型コロナウイルス感染症緊急経済対策で単年度の事業であるため、令和2(2020)年度で終了する。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

事務事業名	メディア広報費			決算書 掲載ページ	136
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	元気発信課	
目	02	文書広報広聴費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,226		10,182	0	44
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	10,182
目 的	速報性に優れたFM放送の活用及び報道機関への情報提供により、行政情報の入手環境の整備・充実を図る。				
取組内容・実績	株式会社柏崎コミュニティ放送に業務を委託し、週5日平日の定時番組として、5分間の番組を1日6回、計30分、主に広報誌の掲載記事の中から市民生活に身近な情報を抽出して放送した。また、1月には60分の特別番組を放送した。市長記者会見についても定例会見を12回、新年度予算案に関する臨時会見を1回放送した。テレビや新聞などを通じて市政情報などを知らせるため、報道機関に年間413件のニュースリリースを行った。				
成 果	市内全域を配信エリアとしている市内FM放送の活用及び報道機関への情報提供によるテレビ放送、新聞掲載などにより、視聴覚障がい者や主にラジオ、テレビ、新聞で情報を入手している市民に対して、行政情報を安定的に提供することができた。				
課題・今後の方向性	FM放送の活用及び報道機関への情報提供を引き続き行っていく。				

事務事業名	PR戦略事業			決算書 掲載ページ	136
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	元気発信課	
目	02	文書広報広聴費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,694		4,561	0	133
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	6	4,555
目 的	ホームページやSNS（フェイスブック、ツイッター、インスタグラム）による情報発信により、行政情報の入手環境の整備・充実を図る。市外の方に対しては、ホームページやSNSによる情報発信に加え、市勢要覧の制作及び配布により、本市の認知度向上を図る。				
取組内容・実績	市政情報、子育てや医療など暮らしに関わる情報、観光・イベント情報などをアクセシビリティに配慮してホームページで発信した。また、SNSでも、防災情報やイベント情報などを適時発信した。 「進取の気性に富むまち・柏崎」をテーマに、柏崎のまちづくりや施策などを紹介した市勢要覧を1,000部制作し、市外からの来訪者や出張の際の訪問先などへ配布した。				
成 果	主にインターネットで情報を入手している市民に対し、行政情報を安定的に提供することができた。また、市外の方には、インターネットでの情報提供のほか、市勢要覧を配布するなどのPR活動により、本市の認知度向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	情報入手手段が多様化する中、年代によって情報を入手する手段が異なる傾向があることから、それぞれの特性を踏まえ、全ての年代が必要な情報を入手できるよう、効果的な情報発信の手段を検討する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-2 健全な財政を堅持する

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-2 大学を活かし『柏崎らしさ』をはぐくむ
	⑤-2-1 地（知）の拠点を活かした取組を進める

事務事業名	デジタル予算書推進事業			決算書 掲載ページ	138
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	財政管理課	
目	03	財政管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,900		3,900	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	3,900
目 的	予算・決算・行政評価の結果などの財務情報を統合して分かりやすくデータベース化し、多くの市民に活用していただくことで市政への関心を高め、参加を促す。				
取組内容・実績	令和3（2021）年度予算及び令和元（2019）年度決算を登録したデジタル予算書を市民に一般公開した。				
成 果	デジタル予算書の一般公開を開始し、市政への関心を高めることができた。				
課題・今後の方向性	今後は、掲載情報や検索機能などの利便性の向上を検討し、改良を進める。				

事務事業名	大学との連携・協働事業			決算書 掲載ページ	144
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,631		8,510	0	121
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	8,000	510
目 的	大学の魅力づくりと認知度の向上により、入学者の減少に歯止めをかけるとともに、若者の活力によるまちづくりを目指す。				
取組内容・実績	少子化の進行により、学生確保をめぐる大学間競争が激化している中、魅力や知名度の向上を図り、学生確保を促進するため、新潟産業大学及び新潟工科大学に対して、柏崎市私立大学学生募集支援事業補助金を交付した。また、新潟工科大学産学交流会奨学金に300万円を寄附した。				
成 果	新潟産業大学及び新潟工科大学の学生確保を図るため、補助金等を交付したが、令和3（2021）年度の入学者数は、新潟産業大学121名（定員140名）、新潟工科大学179名（定員200名）と、両大学とも定員を下回る結果となった。				
課題・今後の方向性	少子化により、学生確保の競争が年々激化している。特に令和3（2021）年度からは、三条市に工業系の三条市立大学が開学したことにより、新潟工科大学は、学生の確保に向けて、更に大学の魅力を向上・発信する必要がある。今後も、学生募集支援事業補助金を継続するとともに、両大学と必要に応じて情報交換等を行い、大学の魅力と知名度の向上に資する取組を推進し、選ばれる大学となるよう支援していく。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-1 市民力が発揮できる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-1 持続可能な公共交通ネットワークを構築する

事務事業名	柏崎リーダー塾事業			決算書 掲載ページ	144
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	4,000	4,000	0	0	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	4,000	
目 的	産業界、大学、行政が連携し、地域課題の解決に取り組む次世代リーダーを育成する。				
取組内容・実績	令和元（2019）年度に入塾した第4期生が研修や課題に取り組み、14名が卒業した。				
成 果	各種行政機関等の委員に就任し、積極的に発言や提案を行う卒業生も輩出しており、地域の課題解決に貢献している。				
課題・今後の方向性	年々、塾生が減少傾向にあるため、リーダー塾の活動への関心を高めるとともに、時代が変化している中で、新たな視点でのリーダー育成や求めるリーダー像などについて検討する必要がある。第5期生がリーダーとしての資質を身に付けて卒業できるよう、時代の変化に応じたテーマ設定及び卒業生のアンケート結果から明らかになった課題等を踏まえたカリキュラムを設定し、運営していく。				

事務事業名	路線バス等確保事業			決算書 掲載ページ	144
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	160,316	153,757	0	6,559	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	104,000	0	21,519	28,238	
目 的	市民が利用しやすく、持続可能な生活交通を確保・維持する。				
取組内容・実績	令和2（2020）年度の路線バス等地域公共交通利用者数は、319,250人であった（令和元（2019）年度は、487,772人）。また、路線バス高齢者専用回数券は、8,905綴りを販売し（令和元（2019）年度は、7,448綴り）、高齢者の外出支援策である高齢者割引制度を、令和元（2019）年度から引き続き試行的に実施した。そのほか、地域生活交通全体としては、令和3（2021）年度に新たな公共交通計画を策定するため、高齢者や高校生を対象としたアンケート調査やバス乗降調査などの基礎調査を実施した。				
成 果	市街地循環バス「かざぐるま」を翔洋中等教育学校まで延伸し、同校生徒の登下校における利便性を向上させた。				
課題・今後の方向性	年々、減少傾向にある路線バス利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により、ますます深刻な状況になっている。一方、地域公共交通の確保・維持に係る市の財政負担額は年々増加している。利用者の減少や市の財政負担額の増加など、本市の地域公共交通を取り巻く様々な問題に対応していくため、令和3（2021）年度は、新たな公共交通計画を策定する。また、高柳町と西山町の地域内交通では、それぞれ再編を実施し、利便性を高める必要がある。				

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-1 持続可能な公共交通ネットワークを構築する

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-1 持続可能な公共交通ネットワークを構築する

事務事業名	バス車両購入補助事業			決算書 掲載ページ	146
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,226		3,552	0	674
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	3,552
目 的	車両の購入経費は、高額であり、運行事業者にとって単独で購入するには大きな負担であることから、今後の公共交通の運行に支障を及ぼすおそれもあるため、市が一定額を補助することで負担軽減を図る。				
取組内容・実績	高柳地域内交通車両の更新に当たり、運行事業者に3,552千円の車両購入補助金を交付した。				
成 果	補助金を活用し、これまで使用していたマイクロバス(28人乗り)に代わり、現在の利用状況に合わせて小型化したコンピューター型車両(14人乗り)を購入した。高齢者の車両の乗降が容易になった。				
課題・今後の方向性	今後も車両の老朽化や地域内交通の再編に当たり、必要に応じて車両の更新を行っていく。				

事務事業名	鉄道等活性化事業			決算書 掲載ページ	146
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	541		352	0	189
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	352
目 的	鉄道関係団体との連携や鉄道事業者への要望等を行うことにより、鉄道の利便性向上を図る。				
取組内容・実績	鉄道のダイヤ改正等の情報収集や分析を行い、鉄道利便性の向上について東日本旅客鉄道株式会社新潟支社に要望した。また、新潟県、沿線11市村及び商工団体で構成する上越・北陸新幹線直行特急実現期成同盟会の事務局として、新幹線直通化の早期実現及び信越本線の利便性の維持・向上を目的に、総会の開催や関係機関に対する要望、調査研究を行った。				
成 果	要望活動により、長岡駅での新幹線・特急列車・快速列車の接続が一部改善された。				
課題・今後の方向性	優等列車の維持や鉄道の利便性向上のために、引き続き要望活動を実施するとともに、鉄道の利用促進を図る必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-1 市民力が発揮できる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2 『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	総合計画策定事業			決算書 掲載ページ	146
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,812		6,749	0	2,063
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	6,749
目 的	柏崎市市民参加のまちづくり基本条例と柏崎市総合計画条例に基づき、柏崎市第五次総合計画基本構想を実現するため、令和4（2022）年度からの後期基本計画を策定する。				
取組内容・実績	後期基本計画策定のために、18歳以上の市民3,000人を対象に「まちづくり市民アンケート」を送付し、1,350人の回答を得た。また、学生ワークショップを行い、若い世代のニーズ把握を行った。				
成 果	「まちづくり市民アンケート」では、5年前の調査結果との比較や新たな調査項目から、市民ニーズの把握につながった。また、学生ワークショップでは、「娯楽・買い物」と「公共交通」をテーマに、様々な意見を聴くことができた。				
課題・今後の方向性	市民アンケート、学生ワークショップなどの市民ニーズや、時代潮流を踏まえて、令和3（2021）年度に第五次総合計画後期基本計画を策定する。				

事務事業名	次世代エネルギー活用推進事業			決算書 掲載ページ	148
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	電源エネルギー戦略室	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,325		2,226	0	1,099
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	5	2,221
目 的	柏崎市地域エネルギービジョンに基づき、再生可能エネルギー及び次世代エネルギーの活用を推進する。				
取組内容・実績	国庫補助金の活用により、再生可能エネルギー活用型の防災情報通信システムと新庁舎への太陽光・地中熱設備設置を実現したほか、今後の計画的導入に向けた改修設計の実施や国との協議・調整により、再生可能エネルギーの活用を推進した。また、新型コロナウイルス感染症によるイベント中止などの影響を受けるなか、オンライン活用による地域エネルギービジョンの理解促進講座を2回、142名に対して実施した。				
成 果	新型コロナウイルス感染症の影響で市民を対象とする理解促進活動を思うように進めることができなかったが、公共施設への設備導入を予定どおり進めることで、再生可能エネルギーや次世代エネルギーの活用と理解促進を一定程度図ることができた。				
課題・今後の方向性	低炭素・脱炭素社会実現ニーズの世界的な高まりを背景に、地域エネルギービジョンで目指す持続可能なまちづくりに向けて、再生可能エネルギーの導入推進と理解促進活動のほか、次世代エネルギーの活用方法の研究を進める。				

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

第五次総合計画上の位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-1『柏崎らしい』個性をはぐくむ
	⑤-1-1 柏崎の魅力を高め、良さを伝える

事務事業名	次世代エネルギー活用研究事業			決算書掲載ページ	148
款	02	総務費	会計	一般会計	
項	01	総務管理費	担当	電源エネルギー戦略室	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予算額		決算額	繰越額	不用額
	21,580		20,135	0	1,445
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市債	その他	一般財源
	0		0	0	20,135
目的	柏崎市地域エネルギービジョンに基づき、低炭素エネルギーを軸に、環境・経済の両面から持続可能で豊かに生活できるまちの実現を目指す。				
取組内容・実績	環境・エネルギー産業の中核を成す地域エネルギー会社の設立に向け、設立検討・準備会を組織して柏崎市にゆかりのあるエネルギー事業者などの意見を受けた事業計画書(案)を取りまとめた。事業計画書(案)では、地域の再生可能エネルギーを地域に供給する事業を徐々に拡大させ、更に首都圏へ蓄電池などで安定化した電力を供給することで、国のエネルギー政策にも貢献する会社の設立を目指すこととした。				
成果	新型コロナウイルス感染症の影響により研修参加や視察などの次世代エネルギー研究を進めることができなかったが、地域エネルギー会社の事業の方向性を決定したことで、地域エネルギービジョンに示す環境・エネルギー産業の創出に向けて大きく前進した。				
課題・今後の方向性	地域エネルギー会社による再生可能エネルギーの推進を前提とした「地域エネルギー会社連携事業」を新たに設け、会社設立や事業推進を優先的に取り組むとともに、「次世代エネルギー活用推進事業」にて次世代エネルギーの事業化に向けた研究を進める。				

事務事業名	ふるさと応援事業			決算書掲載ページ	150
款	02	総務費	会計	一般会計	
項	01	総務管理費	担当	元気発信課	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予算額		決算額	繰越額	不用額
	219,575		197,930	0	21,645
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市債	その他	一般財源
	0		0	0	197,930
目的	柏崎出身者や縁のある人だけにかかわらず、ふるさと納税制度を通じた寄附者とのつながりを作り、「柏崎の応援者」を獲得する。また、ふるさと納税の仕組みをいかし、柏崎市の資源を活用した商品開発や新たな地場産品の掘り起こしを行い、地域産業の活性化を目指す。				
取組内容・実績	新たな寄附者獲得のため、ふるさと納税のポータルサイトを拡大した。また、パンフレットをリニューアルし、返礼品の紹介だけでなく、返礼品生産者の想いなども柏崎市の魅力として伝えることができた。その結果、寄附件数13,407件、寄附額350,343千円と多くの方から寄附していただいた。				
成果	多くの寄附をいただいたことで、柏崎の資源を活用した返礼金を多くの方に届けることができ、柏崎市と寄附者の「縁」を広げることができた。また、リピーター率も24.1%となり、繰り返し柏崎を応援していただける方も増やすことができた。				
課題・今後の方向性	柏崎の応援者を増やし「縁」を広げるとともに、新たな商品開発、地場産品の掘り起こしを行い、地域資源を活用した地場産品の更なる活性化を図ることが必要である。また、リピーター率を高め、継続的な応援者を増やすことも必要である。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしき』をつなぐまちをめざして～
	⑤-1『柏崎らしい』個性をはぐくむ
	⑤-1-1 柏崎の魅力を高め、良さを伝える

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしき』をつなぐまちをめざして～
	⑤-1『柏崎らしい』個性をはぐくむ
	⑤-1-1 柏崎の魅力を高め、良さを伝える

事務事業名	柏崎シティセールス推進事業			決算書 掲載ページ	150
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	元気発信課	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,581		1,998	0	3,583
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	1,997	1
目 的	柏崎ファンクラブの活動を通じて、市内外に柏崎の魅力を発信しながら認知度の向上を図るとともに、柏崎との関係を深め、移住・定住の促進へとつなげる。				
取組内容・実績	柏崎シティセールス推進協議会と連携し、かしわざき岬めぐりを始めとした、柏崎との関係性を深める取組を行った。また、柏崎ファン獲得に向けた様々なプロモーション活動を行い、柏崎の認知度向上を図った。				
成 果	新型コロナウイルス感染症の影響により、人を集めてのイベントはできなかったが、柏崎の魅力をSNSを活用して発信し、多くの共感を得ながら認知度向上を図ることができた。 柏崎ファンクラブに1,062人の方から入会いただき、会員数が47都道府県9,580人となり、多くの方に柏崎との縁を提供することができた。				
課題・今後の方向性	柏崎ファンクラブ会員が1万人に近づいたことは大きな成果だが、会員自らが主体的に活動できる場の創出、活動しようとする機運の醸成が必要である。また、今後のシティセールスの方向性をより明確にして行政と民間が一体となって取り組める体制づくりを検討する。				

事務事業名	U・Iターン促進事業			決算書 掲載ページ	150
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	元気発信課	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	28,508		19,783	0	8,725
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	734		0	7,563	11,486
目 的	移住意向者、学生、若者等に対し、移住・定住のための支援を行うことで、人口減少の抑制を図る。				
取組内容・実績	柏崎市U・Iターン情報ステーション、ふるさと回帰支援センター窓口、オンラインで52件の移住相談に対応した。また、他課とも連携し複数年にわたって相談対応してきた方5人が移住した。そのほか、住宅取得、賃貸住宅家賃、奨学金返還など移住者支援として15,649千円を補助した。				
成 果	移住を考える方の様々な相談に対して、移住後の支援も含め、きめ細やかに対応することで、本市への移住を後押しすることができた。 補助対象者延べ134人に対して、金銭的補助をすることで柏崎市での暮らしを支援することができた。				
課題・今後の方向性	柏崎市を移住先と選んでいただけるよう住みやすい街、子育てしやすい街など柏崎の魅力を移住意向者にこれまで以上に訴求する必要がある。また、移住意向者の一番の不安である「働く」について、柏崎の魅力ある産業、生き生きと働く人などを伝えることを検討する。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

事務事業名	I T戦略事業			決算書 掲載ページ	152
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	07	情報化推進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	7,453	7,150	0	303	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	7,150	
目 的	外部人材である情報政策官を登用し、庁内の業務改善、市民サービスの向上及び情報産業の振興を図る。				
取組内容・実績	年間を通じて、情報政策官による庁内の業務改善やデジタル予算書の実現に向けた工程管理や助言、柏崎市DX推進計画の策定における支援を受けた。また、情報セキュリティ監査を行い、適正な情報資産の管理・運用に助言を受けた。				
成 果	外部人材である情報政策官を登用し、助言や支援を受けることで、情報化関連業務における適正な運用を行った。				
課題・今後の方向性	引き続き、情報政策に専門的な知識を持つ情報政策官の登用を継続し、情報化関連経費の適正化、DXの推進、情報セキュリティの維持向上等を図る。				

事務事業名	情報化関連業務総合委託事業			決算書 掲載ページ	152
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	07	情報化推進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	378,497	378,488	0	9	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	9,766	368,722	
目 的	柏崎市電子自治体最適化ガイドライン（平成22（2010）年度策定）に沿い、包括的なアウトソーシングによるコスト削減、業務効率化及び情報政策の推進を図る。地図情報を市HPで公開し、利活用を促進する。				
取組内容・実績	S L A（サービスレベル協定）に基づき、安定した情報化関連業務及び職員給与計算業務の提供を行った。また、地図情報システム（G I S）を利用するとともに、新庁舎移転に伴う情報関連機器を移設した。				
成 果	情報化関連業務及び職員給与計算業務について、S L A評価会議において検証した結果、一定のサービスレベルが維持できていることが確認できた。地図情報システム（G I S）は、年間を通じ安定稼働を行った。新庁舎移転作業は、支障なく完了した。				
課題・今後の方向性	情報化関連業務のアウトソーシングを継続することを基本として、今後は業務範囲やS L Aの見直し等を検討する。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

事務事業名	地域イントラネット事業			決算書 掲載ページ	154
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	07	情報化推進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	29,269		29,154	0	115
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	1,584	27,570
目 的	個人情報及び行政情報の安全を確保するとともに、効率的な業務運営と情報共有を図るため、セキュリティの高い専用回線でネットワークを構築する。また、公共施設の公衆無線LANのセキュリティ対策を行う。				
取組内容・実績	専用回線により市内公共施設をネットワーク化し、行政情報の共有化と事務の効率化を図った結果、接続回線数は131回線であった。新潟県セキュリティクラウドを利用し、安全性の高いインターネット接続を確保できた。				
成 果	ネットワーク回線が原因の情報漏えいはなく、行政情報の安全性が確保できた。年間を通じて安定稼働が確保され、支障なく業務を行うことができた。				
課題・今後の方向性	引き続き、ネットワークの安定稼働を維持するとともに、令和4（2022）年度に予定される新潟県セキュリティクラウドの更新作業に適切に対応する。				

事務事業名	社会保障・税番号制度事業			決算書 掲載ページ	154
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	07	情報化推進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	19,731		19,492	0	239
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	10,833		0	0	8,659
目 的	社会保障・税番号制度の円滑な運用とマイナンバーカードを利用したコンビニ交付により利活用の促進を図る。				
取組内容・実績	コンビニ交付は、1,630件の利用があった。マイナンバーカードによるマイナポイント事業や保険証利用の設定を支援するため、マイナポイント事業に取り組んだ。				
成 果	社会保障・税番号制度の安定した運用を行うことができ、市民サービスの向上に寄与した。				
課題・今後の方向性	市民サービスの向上につながるマイナンバーカードの利活用を検討する必要がある。また、国の自治体DX推進計画によるオンライン申請等に取り組む必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

事務事業名	辺地共聴施設整備事業			決算書 掲載ページ	154
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	07	情報化推進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	2,763	2,762	0	1	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	2,762	
目 的	故障した施設の撤去修繕等を行うため補助金を交付し、テレビ難視聴の改善を図る。				
取組内容・実績	5組合に対し、テレビ共聴施設整備に係る補助金を交付した。				
成 果	テレビ共聴施設を継続して利用することが可能となった。				
課題・今後の方向性	市内に約60か所のテレビ共聴組合があるが、組合員の減少により、設備の老朽化に伴う修繕等が困難となっている。今後、安定した受信環境の維持や組合の在り方を検討する必要がある。				

事務事業名	新庁舎整備事業			決算書 掲載ページ	154
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	総務課	
目	08	新庁舎整備費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	336,980	326,996	0	9,984	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	1,352	0	0	325,644	
目 的	建設から約50年が経過した庁舎の経年劣化による老朽化や、庁舎の分散による市民サービス機能の低下などの問題を解消するため、建て替えを行う。				
取組内容・実績	新庁舎における電話設備設置工事を実施した。また、新庁舎で使用する事務用デスク、椅子、収納備品などの庁用備品を購入した。				
成 果	令和3(2021)年1月4日から新庁舎での業務を開始し、市民サービスの向上と機能的な執務環境の創出を図ることができた。				
課題・今後の方向性	目的達成のため、令和2(2020)年度で終了する。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-1 『柏崎らしい』個性をはぐくむ
	⑤-1-2 世界に開かれたまちづくりを進める

事務事業名	新庁舎整備事業			決算書 掲載ページ	156
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	新庁舎整備室	
目	08	新庁舎整備費	現年度・繰越の別	現年度予算 ・継続費・通次繰越予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,645,382		4,638,832	0	6,550
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	292,750		666,500	3,010,971	668,611
目 的	旧庁舎が抱えていた「経年による建物の老朽化」、「庁舎の分散による市民サービス機能などの低下」、「執務空間の狭あいによる性能不足」、「来庁者用駐車場の分散配置による機能発揮不足」などの諸問題を解消するため、新庁舎を建設する。				
取組内容・実績	新庁舎（建築本体・電気設備・機械設備）工事とともに、太陽光発電設備工事、地中熱利用設備工事などの附帯工事を行った。				
成 果	令和2（2020）年10月に新庁舎が竣工し、附帯工事などを経て、令和3（2021）年1月4日に新庁舎を開庁することができた。				
課題・今後の方向性	目的達成のため、令和2（2020）年度で終了する。				

事務事業名	国際化に対応したまちづくり事業			決算書 掲載ページ	158
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	商業観光課	
目	09	国際交流費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,750		5,716	0	34
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	5,716
目 的	市民の国際理解を深め、市内在住外国人が安心して暮らせる多文化共生社会の構築を進めることで、地域の国際化を促す。				
取組内容・実績	公益財団法人柏崎地域国際化協会の運営に係る負担金を支出し、柏崎地域の国際化や多文化共生のまちづくりに係る事業を展開した。				
成 果	多文化理解講座等の開催により、外国人への理解が高まり、外国人が住みやすい環境が整いつつある。				
課題・今後の方向性	市内在住外国人の支援体制が不十分であり、相談体制の確保並びに多文化及び言語を理解する人材の育成を進める。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-2 地域力が発揮できる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-2 地域力が発揮できる環境を充実させる

事務事業名	地域コミュニティ活動推進事業			決算書 掲載ページ	158
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	10	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	155,982		145,311	0	10,671
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	57,000		0	0	88,311
目 的	コミュニティセンターの運営に必要な人件費を補助し、各振興協議会の健全な財政運営を図る。また、コミュニティ計画に基づいた事業に対して補助金を交付し、地域活動の推進を図る。				
取組内容・実績	コミュニティ管理運営事業補助金として、31のコミュニティセンターのセンター長に月額58,200円、8時間主事に月額179,200円、5時間主事に月額97,000円を補助した。地域コミュニティ活動推進事業補助金では、31のコミュニティ振興協議会の活動費として、75万円を上限に補助した。				
成 果	各振興協議会の健全な財政運営と住民主体の協働のまちづくりを推進することができた。				
課題・今後の方向性	協働によるまちづくりを推進するため、今後も継続することが必要である。				

事務事業名	市民活動支援事業			決算書 掲載ページ	158
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	10	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,638		4,311	0	327
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	11	4,300
目 的	市内で活動する団体や人材を支援することにより、市民参加のまちづくりを推進する。				
取組内容・実績	市民活動を担う団体への相談支援のほか、NPO法人の認証や運営手続等を支援した。元気なまちづくり事業補助金の交付団体を募集したが、申請はなかった。				
成 果	複雑多様化する市民ニーズを担う団体が増加し、様々な市民団体等の自主的な活動の活性化を図ることができた。				
課題・今後の方向性	公益活動に参加する新たな団体・人材・事業の掘り起こしと、支援方法について、効果的な手段を検討する。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

事務事業名	地域で支え合う除雪支援事業			決算書 掲載ページ	158
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	10	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,034		2,778	0	2,256
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	2,778
目 的	除雪困難世帯への地域の支え合いによる除雪活動を支援し、助け合いと支え合いの仕組みづくりを推進する。また、冬期間における安心、安全な生活を確保するとともに、雪に強い地域づくりを推進する。				
取組内容・実績	自力で除雪ができない世帯へ町内会等が行う除雪作業に対し、80町内会へ総額2,744千円の補助金を交付した。				
成 果	例年にない豪雪により、山間部以外でも除雪活動が実施され、多くの除雪困難世帯の安心、安全な生活を確保することができた。また、住民同士が助け合う体制づくりに寄与した。				
課題・今後の方向性	除雪支援に関する様々な制度があり、支援対象や申請方法も異なるため、市民に適切な支援が行き届くよう、周知方法等を各部署と検討する。				

事務事業名	消費者対策事業			決算書 掲載ページ	160
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	10	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	14,936		11,808	0	3,128
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,465		0	12	8,331
目 的	消費生活センターを設置し、消費者保護を目的とした相談体制及び啓発事業を充実させる。また、消費者団体を支援することで、消費生活やSDGsへの取組を活発にし、消費生活に関する教育や啓発事業への協力を得る。				
取組内容・実績	出前講座（2回、38人）や広報周知等を実施するとともに、市民からの消費生活相談（相談件数613件）に対応した。また、柏崎市消費者協会事務局として、同協会と共催の講演会を開催し、72人が参加した。				
成 果	各種研修へ参加することにより、消費生活相談員としてのスキルアップに努めるとともに、出前講座への講師派遣や消費生活講演会の開催により、消費者保護や消費者教育の推進と啓発を図ることができた。				
課題・今後の方向性	市民への継続的な教育・啓発事業を行う必要がある。また、関係機関との連携を強化し、高齢者等の消費者被害防止や若者向けの消費者教育の充実を図る必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

事務事業名	地域安全対策費			決算書 掲載ページ	160
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	10	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	44,729		35,476	0	9,253
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	5	35,471
目 的	市民の自主防犯意識の高揚を図ることで、住民同士の連帯感を築き、犯罪の温床となりにくい地域づくりを目指す。				
取組内容・実績	安全・防犯情報メールや広報等による情報提供、県と共催で地域防犯リーダー育成講座(受講者48人)等を実施した。また、警察署と連携を図り、防犯対策を推進した。				
成 果	関係機関や各団体と連携し、防犯意識の啓発活動を実施したことにより、地域安全活動の推進と防犯意識の高揚が図られ、刑法犯認知件数の減少につながることができた(令和2(2020)年刑法犯認知件数:282件、目標値:350件)。				
課題・今後の方向性	若い世代からの参加及び「ながらの目」による見守り活動を拡大して犯罪の抑止を図る必要がある。安全・防犯情報メールの登録者の拡大を図り、地域の見守り活動につなげる。				

事務事業名	地域安全対策施設整備事業			決算書 掲載ページ	160
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	10	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,500		2,114	0	386
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	2,114
目 的	町内会で電柱未設置の箇所に街路灯(防犯灯)を設置する際に、街路灯設置のための電柱を設置し、夜間の道路防犯性を向上させることで、犯罪が起りにくい環境づくりを推進する。				
取組内容・実績	街路灯(防犯灯)用電柱を11本設置した。				
成 果	街路灯(防犯灯)設置のための電柱設置により、夜間の道路防犯性を向上することができた。				
課題・今後の方向性	今後も、必要とする箇所に電柱が未設置の場合は、引き続き設置していくことで夜間の道路防犯性向上を図り、犯罪が起りにくい環境づくりを継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-2 地域力が発揮できる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-2 地域力が発揮できる環境を充実させる

事務事業名	コミュニティセンター整備事業			決算書 掲載ページ	162
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	10	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	76,212		71,435	0	4,777
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	68,000		0	0	3,435
目 的	コミュニティセンター施設に対する太陽光発電設備の設置を推進する。				
取組内容・実績	松波コミュニティセンターに屋上防水改修工事、太陽光基礎設置工事を行い、4.4kW相当のリチウムイオン電池付太陽光発電設備システム一式を設置した。				
成 果	太陽光発電設備を整備することで、環境に配慮したコミュニティセンター施設となった。				
課題・今後の方向性	今後も環境への負担の少ないコミュニティセンター施設の整備を推進する。				

事務事業名	地域おこし協力隊活用事業			決算書 掲載ページ	162
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	10	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,733		1,262	0	471
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,262
目 的	受入地域の掘り起こしや、地域等のニーズの明確化、地域と行政が目的や目標の共有を図ることで、地域おこし協力隊及びびインターンを受け入れるための環境を整備する。				
取組内容・実績	別俣地区でインターン事業を実施し、4名を受け入れた。また、おためし地域おこし協力隊（現地体験会）を1回実施し、1名が参加した。				
成 果	インターン事業の実施により、外部人材活用の機運が高まった。また、おためし地域おこし協力隊の実施により、地域おこし協力隊1名を新たに任用した。				
課題・今後の方向性	既存のインターン事業に限らず、外部人材活用に係る効果的な支援策を検討するとともに、地域おこし協力隊の受入れ地域を、新たに掘り起こす必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-2 地域力が発揮できる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-2 地域力が発揮できる環境を充実させる

事務事業名	地域おこし協力隊活動経費			決算書 掲載ページ	164
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	10	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	16,740		14,698	0	2,042
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	25	14,673
目 的	地域などの主体的な取組を支援し、地域力の維持と向上を図る。また、若者などの地方での意欲的なチャレンジを支援し、まちを支える人材を育成する。				
取組内容・実績	地域おこし協力隊の3名が、地域で円滑に活動ができるように、サポート体制を構築し支援した。また、地域おこし協力隊を継続募集していた矢田地区で新たに1名を任用した。				
成 果	地域活動に外部人材を活用したことで、地域活動の活性化につながり、地域力の維持向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	地域おこし協力隊3名が任期最終年を迎えることから、任期後の定住・定着に向けて活動を支援していく必要がある。また、地域おこし協力隊の活動や制度を周知することで、他地域での外部人材活用を促進する。				

事務事業名	市民活動センター施設整備事業			決算書 掲載ページ	164
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	10	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,200		2,200	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	1,100	1,100
目 的	市民活動センター東側の堀改修工事により、施設利用者及び隣接者の安全を確保する。				
取組内容・実績	構造基準を満たしていない東側の石積み塀をステンレス製の塀に改修した。				
成 果	災害時等における倒壊の危険性を低下させ、施設利用者及び隣接者への安全性の確保を図ることができた。				
課題・今後の方向性	国の登録有形文化財であり、建設から80年以上が経過していることから、建物としての機能を維持存続するため、定期的な点検や改修が必要である。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-1 原子力発電所の安全性向上を追求する

事務事業名	交通安全対策事業			決算書 掲載ページ	168
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	11	交通安全対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,639		9,905	0	734
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	1,855	8,050
目 的	市民参加の体験・実践型の交通安全活動を行うことにより、柏崎市交通安全計画の目標である「年間の交通事故発生件数を減少させることにより、交通事故による死者をゼロに近づける」ことを目指す。				
取組内容・実績	交通安全標語・川柳コンテストや飲食店へ飲酒運転追放の呼び掛け等を実施した。また、交通安全教室として、園児対象を1園、卒園児対象を32園、自転車教室を小学校15校・中学校3校、歩行指導を小学校14校、高齢者対象を2回実施した。				
成 果	令和2（2020）年の交通事故発生状況は、発生件数68件、死者数5人、負傷者数73人であり、前年と比較すると、それぞれ3件増、4人増、10人減となった。				
課題・今後の方向性	過去10年間の推移は減少傾向が見られるものの、前年との比較では発生件数、死者数共に増加となり、目標である交通事故による死者数ゼロを達成できなかったため、今後も引き続き市民参加の体験・実践型の交通安全活動を行う必要がある。				

事務事業名	原子力広報等対策事業			決算書 掲載ページ	168
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	防災・原子力課	
目	12	原子力広報・安全等対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,992		10,667	0	325
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	10,385		0	0	282
目 的	原子力に関する様々な情報が発信されている今日において、原子力発電、放射線利用など原子力の平和利用に関する正しい知識の普及啓発を図ることで、地域社会の安全と安心に寄与する。				
取組内容・実績	原子力講座研修を4回、小・中学校向けのエネルギー・環境セミナーを9校で18回実施した。原子力発電や原子力防災に関する知識を分かりやすく伝える手段として、広報かしわざき（アトム情報）と連動したラジオ広報番組の放送を実施した。また、原子力発電に関するこれまでの経過と概要をまとめた冊子の発行などを行った。				
成 果	新型コロナウイルス感染症対策を行いながら研修会等を実施し、市民に放射線や原子力防災に関する知識を普及啓発することができた。原子力発電所の安全性と透明性についてチェックし、市民がそれらに関する情報を得る機会を確保することができた。				
課題・今後の方向性	市民の放射線や原子力防災に関する認識や理解が十分浸透するよう、分かりやすく説明するとともに、市民の不安や疑問に直接応え、理解促進を図る必要がある。安全性と情報公開による透明性の確保について、事業者に対して徹底した取組を求め、国に対しては主眼的に説明責任を果たすことを引き続き求める必要がある。				

3 款 民生費

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

事務事業名	地籍調査事業			決算書 掲載ページ	190
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	05	統計調査費	担 当	財政管理課	
目	03	地籍調査費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	476	169	0	307	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	169	
目 的	大規模災害の被災時における迅速な復旧に寄与し、また、平時の土地取引の円滑化や土地資産の保全を図る。				
取組内容・実績	柏崎市地籍調査事業全体計画を円滑かつ計画的に実施するため、柏崎市地籍調査作業規程を制定し、第一計画区（西山町浜忠）の住民に事業概要の説明会を実施した。また、広く市民に地籍調査を周知するため、広報かしわざきに掲載した。				
成 果	令和3（2021）年度からの事業着手に向け、柏崎市地籍調査事業全体計画を円滑かつ計画的に実施するための準備を行うことができた。				
課題・今後の方向性	地籍調査は、長期間に及ぶ事業のため、効率的な調査方法や実施体制及び財政負担等を考慮し、計画的に実施する必要がある。柏崎市地籍調査事業全体計画に基づき、計画的に土地所有者の確認と相続関係調査を行い、円滑な事業の推進を図る。				

事務事業名	民生委員費			決算書 掲載ページ	194
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	14,503	13,109	0	1,394	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	13,109	
目 的	民生委員、児童委員及び民生委員児童委員協議会の活動等を支援し、地域福祉の向上を図る。また、民生委員法に基づく民生委員推薦会を設置し、民生委員、児童委員の推薦等を行う。				
取組内容・実績	民生委員、児童委員及び民生委員児童委員協議会の活動等を支援した。				
成 果	地域福祉の担い手である民生委員、児童委員の活動の支援により、地域と行政のパイプ役としての活動の充実・強化及び地域福祉の向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	「民生委員には給与を支給しない。」と法で定められており、無給の奉仕活動のため、民生委員活動に対する負担感から委員の選出に苦慮しており、将来的な民生委員・児童委員の確保が課題である。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	地域福祉計画推進事業			決算書 掲載ページ	194
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,391		3,660	0	731
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	3,660
目 的	社会福祉法第107条に規定する市町村地域福祉計画の策定、進行管理、評価を行う。				
取組内容・実績	第三次柏崎市地域福祉計画の進行管理、評価を行うとともに、令和3（2021）年度に策定する第四次柏崎市地域福祉計画の基礎調査として、市民意識アンケート、職員ワークショップを行った。				
成 果	第三次柏崎市地域福祉計画の進行管理、評価を行うことで、地域福祉の推進を図ることができた。また、第四次柏崎市地域福祉計画策定のための基礎調査を行うことで、策定に向けた貴重なデータを得ることができた。				
課題・今後の方向性	昨年度に行った、第四次柏崎市地域福祉計画策定に向けた基礎調査の結果を、今年度の計画の策定に活用する。				

事務事業名	成年後見制度利用支援事業			決算書 掲載ページ	194
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,356		6,311	0	1,045
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,148		0	0	3,163
目 的	民法で定める成年後見制度（後見、保佐、補助）の利用を支援し、判断能力が不十分な方の権利を保護する。				
取組内容・実績	身近に申し立てる親族がいない場合の市長の申立て及び経済的理由による報酬負担が困難な方への助成を行った（成年後見人申立助成1件、後見人制度報酬助成7件）。成年後見制度の普及啓発及び相談支援業務を柏崎市社会福祉協議会に委託し、市民後見人のフォローアップ講座等を実施した（相談支援22件、後見申立支援7件）。				
成 果	成年後見人申立支援及び後見人への報酬の支払が困難な方への助成により、判断能力が不十分な方の財産と権利保護に寄与した。柏崎市社会福祉協議会への委託により、成年後見制度の利用促進のための普及啓発、相談支援業務等を実施することで、社会福祉協議会の実施する日常生活自立支援事業との一体的総合的な権利擁護支援が図られた。				
課題・今後の方向性	障害者総合支援法に規定する地域生活支援事業の必須事業であり、今後も継続する必要がある。今後は、成年後見制度の利用促進のため、柏崎市社会福祉協議会と協力し、関係機関との連携体制の強化を図る必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

事務事業名	生活困窮者自立支援事業			決算書 掲載ページ	196
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	23,117		23,117	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	16,790		0	0	6,327
目 的	生活に困窮する方が困窮状態から早期に脱却できるように、相談者の状態に応じた相談支援を行い、自立を促進する。				
取組内容・実績	自立相談支援事業は、相談者450名のうち新規受付が359名であった。また、就労準備支援事業は、サロン参加者が33名であった。さらに、家計相談支援事業は、利用者53名のうち、8名が支援目標を達成して支援終了した。そのほか、子どもの学習・生活支援事業は、訪問型学習支援利用者が24名で、集合型学習支援利用者は、115名であった。				
成 果	生活保護の受給に至る前の段階で、生活が困窮する方の状態に応じて必要となる支援を行い、支援対象となる方の自立を促進することができた。				
課題・今後の方向性	相談者が抱える多様な課題に対して、生活困窮者自立支援法の規定に基づく必須事業である自立相談支援事業を中心に、その他の事業と組み合わせながら自立に向けた支援を進める必要がある。				

事務事業名	新型コロナウイルス感染症生活支援事業			決算書 掲載ページ	198
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	21,560		8,450	0	13,110
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	8,450	0
目 的	新型コロナウイルス感染症PCR検査で陽性となった人及びその濃厚接触者である同居家族に対し、特に健康観察期間の生活について、経済的、精神的サポートを行い、不安の軽減を図る。				
取組内容・実績	PCR検査で陽性となった人及び同居家族(22世帯93人)に対し、支援金を支給した。				
成 果	PCR検査で陽性となった人及び同居家族の生活について、不安の軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	引き続き、PCR検査で陽性となった人及び同居家族の健康観察期間の生活について、経済的、精神的サポートを行い、不安の軽減を図る。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-1 平和と人権を尊重する心をはぐくむ
	⑥-1-2 人権を尊重した社会づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	女性相談支援事業			決算書 掲載ページ	200
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,016		5,531	0	1,485
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,095		0	14	3,422
目 的	パートナーからの暴力、離婚問題、家庭不和など、福祉関係業務全般の窓口となり、主に女性の安全かつ自立した生活への相談支援を行う。				
取組内容・実績	DV被害を含む主に女性からの生活、福祉に関する相談への対応、必要な助言に当たるとともに、自立に向けた支援を行った。延べ563件（うちDV364件）、実人数121人（うちDV54人）の相談を受けた。				
成 果	DVや離婚問題のほか、家庭問題、経済問題、ひとり親家庭自立支援など様々な相談を受け、被害の未然防止、問題解決及び自立支援に寄与した。				
課題・今後の方向性	相談内容は、DVや離婚問題のほか、家庭問題、経済問題などが複合化する状況にある。また、精神疾患などを抱える相談者も多くなる傾向があり、関係機関との連携が必要である。				

事務事業名	介護給付費			決算書 掲載ページ	200
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	964,239		946,559	0	17,680
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	709,919		0	0	236,640
目 的	障がいのある人が地域で安心して暮らすことができるよう、障がい福祉サービスを提供する。また、サービスを利用するための費用を市が負担し、経済的負担の軽減を図る。				
取組内容・実績	利用者実数（月平均）は、居宅介護89人、行動援護9人、同行援護13人、療養介護56人、短期入所17人、生活介護202人、施設入所支援114人であった。				
成 果	障がいのある人の地域生活を支えるサービスを提供することにより、障がいのある人が地域で安心して暮らすことができた。また、サービスを利用するための費用を市が負担し、経済的負担の軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	障がいのある人が必要としているサービスを的確に把握し、引き続きサービス提供体制を確保する。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	訓練等給付費			決算書 掲載ページ	200
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	455,917		443,676	0	12,241
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	332,756		0	0	110,920
目 的	自立した日常生活に必要な訓練や就労のための支援を行い、障がいのある人が、住み慣れた地域で安心して自立した生活を送ることができるよう、障がい福祉サービスを提供する。また、サービスを利用するための費用を市が負担し、経済的負担の軽減を図る。				
取組内容・実績	利用者実数（月平均）は、自立訓練（機能訓練）2人、自立訓練（生活訓練）6人、就労移行支援11人、就労継続支援A型14人、就労継続支援B型200人、就労定着支援10人、共同生活援助88人、宿泊型自立訓練5人であった。				
成 果	自立した日常生活に必要な訓練や就労のための支援などのサービス提供と、経済的な負担軽減を図ることにより、住み慣れた地域で安心して自立した生活に資することができた。				
課題・今後の方向性	障がいのある人の介護者の高齢化などにより、利用の増加が見込まれるため、障がいのある人が必要とするサービスについて、障がい福祉サービス事業所や関係機関と情報共有を行い、適切なサービスの提供体制を図る。				

事務事業名	補装具給付費			決算書 掲載ページ	202
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	21,385		17,941	0	3,444
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	13,441		0	0	4,500
目 的	日常生活を送る上で必要な移動等の確保、就労場面における能率の向上を図ること及び障がい児が将来社会人として自立自活するための素地を育成助長することを目的とし、身体の欠損又は損なわれた身体機能を補完・代替する用具購入に係る費用を給付する。				
取組内容・実績	障害者総合支援法に基づき、身体に障がいのある人の失われた身体機能を補うために、義肢、装具、補聴器、車椅子、歩行補助杖などの購入や修理に係る費用を給付した。給付93件、修理86件				
成 果	障がいのある人の自立と介助者の身体的負担軽減とともに、経済的な負担軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	障害者総合支援法に規定する事業であり、今後も継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	計画相談・地域相談支援給付費			決算書 掲載ページ	202
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	34,783		34,783	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	26,087		0	0	8,696
目 的	障がいのある人が自ら望む生活を営めるよう、相談支援事業所が適切なサービス利用計画を作成する。また、退院・退所に際する相談や緊急時の相談などを行い、本人が安心して生活できるよう支援する。				
取組内容・実績	支給決定者数（月平均）は、計画相談支援602人、地域移行支援1人、地域定着支援37人であった。				
成 果	障がいのある人の意向に沿った支援計画の作成、入所施設等からの地域への移行及び地域移行後の夜間等を含めた緊急時の連絡相談を行うことで、本人の安心・安全な生活が確保できた。				
課題・今後の方向性	障がいのある人に必要としているサービスの提供と本人の意向に沿った支援が行えるよう、柏崎刈羽地域障害者自立支援協議会を中心とした、相談支援事業所、関係機関などのネットワーク強化を図り、地域の相談支援体制の充実を進める。				

事務事業名	日常生活用具給付事業			決算書 掲載ページ	202
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	21,484		20,276	0	1,208
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	9,104		0	0	11,172
目 的	在宅の障がい者等の日常生活動作に係る負担を軽減するため、障がい特性に応じて必要な日常生活用具を給付する。				
取組内容・実績	通信装置、特殊寝台、特殊マット、特殊便器、入浴補助用具などの購入に係る費用を給付した（給付1,949件、視覚障がい者用日常生活用具：情報・通信支援用具1台、ポータブルレコーダー3台、聴覚障がい者用日常生活用具：情報受信装置1台）。				
成 果	障がいのある人の自立や生活の質の向上、介助者の身体的負担軽減とともに、経済面での負担軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	障害者総合支援法に規定する地域生活支援事業の必須事業であり、今後も継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	地域活動支援センター事業			決算書 掲載ページ	204
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	26,355		25,344	0	1,011
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,985		0	0	22,359
目 的	障がいのある人が事業所に通所することにより、創作的活動、生産的活動、地域との交流の場を提供し、地域生活の支援を促進する。				
取組内容・実績	令和2（2020）年度の登録者数は、Ⅰ型（地域活動支援センター事業）55人、Ⅲ型（小規模作業所事業）8人、Ⅱ型（障害者デイサービス事業）の支給決定者数は、36人であった。				
成 果	日中活動の場の提供により、障がいのある人が仲間などとの活動を通じて充実した地域生活を過ごすことができた。				
課題・今後の方向性	今後も障がいのある人の地域活動の支援及び社会との交流の促進を図り、地域活動支援センターの支援体制の充実に向けた取組を行う。				

事務事業名	自動車運転免許取得・改造助成事業			決算書 掲載ページ	204
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,600		456	0	1,144
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	456
目 的	自動車改造及び運転免許の取得に要する経費の一部を助成することにより、重度心身障がい者の経済的負担の軽減を図り、社会活動への参加と自立を促進する。				
取組内容・実績	身体に障がいのある人の通勤、通院に使用する自動車の改造に要する経費の一部を助成した（自動車改造費助成4件）。				
成 果	自動車の改造に要する経費の一部を助成することにより、重度心身障がい者の経済的な負担の軽減を図り、医療機関への通院や通勤など、社会活動への参加が容易になった。				
課題・今後の方向性	障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業の一環として、障がいがある人の社会活動への参加と自立促進のために必要な移動手段の支援と、経済的負担の軽減に継続して取り組む必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	障害者相談支援事業			決算書 掲載ページ	206
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	25,442		25,442	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	25,442
目 的	5つの相談支援事業所に相談支援に関する業務を委託し、障がいのある人や家族からの福祉に関する様々な相談に応じ、必要な情報提供、障がい福祉サービスの利用支援を行う。				
取組内容・実績	令和2（2020）年度の延べ相談対応件数は、5つの相談支援事業所合計で2,954件であった。				
成 果	障がいのある人やその家族などが、適切なサービスを利用し、安心して住み慣れた地域で自立した生活を継続することができた。				
課題・今後の方向性	安心して住み慣れた地域で自立した生活を継続することができるよう、引き続き、障がいのある人やその家族が地域で適切な助言を受けられる体制を確保する必要がある。				

事務事業名	身体障害者等交通費助成事業			決算書 掲載ページ	208
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	14,736		11,613	0	3,123
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	5	11,608
目 的	障がいのある人の社会参加の促進及び社会生活の利便性の向上により、福祉の増進と通院に係る費用負担の軽減を図る。				
取組内容・実績	障がいのある人の社会参加の促進と健康増進を図るため、タクシー利用券を交付し、料金の一部を助成した（タクシー利用料金助成（タクシー券）：実利用者数677名）。医療機関への通院、聾盲学校への通学送迎に自家用車を利用している人には燃料費の一部を助成した（燃料費助成：実利用者数125名（うち聾盲学校2名））。				
成 果	交通費を助成することにより、障がいのある人の社会参加促進と健康増進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	移動が困難である障がいのある人の社会参加の促進と健康増進を図るため、タクシー利用券の交付と自家用車の燃料費の一部の助成を継続する必要がある。				

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	福祉職員支援事業			決算書 掲載ページ	208
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,210		79	0	1,131
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	79
目 的	市内の障がい児者の入所施設へ新たに勤務する人に補助金を交付することで、福祉に関する資格を有する人材を確保する。				
取組内容・実績	障がい児者の入所施設へ新たに勤務する人に1件、50,000円の補助金交付を行った。				
成 果	障がい福祉業務に従事する職員の人材確保により安定したサービスの提供につながった。				
課題・今後の方向性	安定したサービスを提供するため、法人や障がい福祉サービス事業所と連携・連動し、福祉人材の確保に努める。				

事務事業名	障害者計画等策定事業			決算書 掲載ページ	208
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,654		4,980	0	674
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	4,980
目 的	障がいのある人が住み慣れた地域において、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、市民、市及び関係機関の相互の理解及び協働に基づき、障がい者福祉の推進を図る。				
取組内容・実績	第五次障がい者計画、第6期障がい福祉計画、第2期障がい児福祉計画の策定に当たり、柏崎市障害者福祉推進会議を年4回開催し、各委員や計画策定アドバイザーから意見をもらい、協議及び検討を行った。				
成 果	障がいのある人を取り巻く環境や障がい者自身の意識の変化、法令改正への適切な対応などを踏まえ、「互いに人格と個性を尊重し、共に暮らす柏崎」を基本理念とした計画を策定することができた。				
課題・今後の方向性	計画に掲げた基本理念、基本方針を具現化するため、8つの重点推進項目を設定し、障がい児者施策の展開を図る。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	障害児通所給付費			決算書 掲載ページ	210
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	70,259		69,418	0	841
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	51,671		0	0	17,747
目 的	障がい児の成長発達を図るため、基本的な日常動作や集団生活に参加する訓練を行うとともに、放課後や夏休みなどにデイサービスを提供する。				
取組内容・実績	月平均の支給決定者数（利用者実数）は、児童発達支援119人（99人）、放課後等デイサービス59人（44人）、保育所等訪問支援1人（1人）であった。				
成 果	集団生活への適応訓練や生活能力向上のための訓練などを継続的に提供することにより、障がい児の成長促進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	利用者個々のニーズに応じて利用場所を選択できるよう、引き続き、体制の整備に取り組んでいく。				

事務事業名	障害児相談支援給付費			決算書 掲載ページ	210
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	9,638		8,624	0	1,014
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	6,468		0	0	2,156
目 的	障害児通所支援を利用する全ての障がい児を対象に、障害児支援利用計画を作成することにより、障がい児の自立した生活を支え、適切なサービス利用を支援する。				
取組内容・実績	委託により障害児支援利用計画の作成を行った。 支給決定者数 188人				
成 果	障害児支援利用計画の作成により、障がいの程度や成長に沿ったサービスの提供、適切なサービス利用が行われ、障がい児の自立支援に寄与した。				
課題・今後の方向性	障がい児に必要としているサービスの提供と本人の意向に沿った支援が行えるよう、柏崎刈羽地域障害者自立支援協議会を中心とした、相談支援事業所、関係機関などのネットワーク強化を図り、地域の相談支援体制の充実を推進する。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	障害者医療費			決算書 掲載ページ	210
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	72,911		70,247	0	2,664
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	49,066		0	0	21,181
目 的	身体に障がいのある人の日常生活を容易にし、障がいの状態を軽減するために必要な医療や、18歳未満の児童に対し、確実な治療効果が期待できる医療について、医療費の自己負担額を軽減する。				
取組内容・実績	障がいのある人・障がい児が、その障がいを除去・軽減する手術などの医療費に対して助成を行った。 更正医療（心臓、腎臓、肝臓、免疫等の機能障がい）：186名（2,002件） 育成医療（18歳未満の児童で障がい除去の見込まれる手術等）：11名（42件） 療養介護医療（重症心身障がい者等の療養介護医療）：延べ673人（主に筋ジストロフィー）				
成 果	継続的治療や障がい除去、長期の療養介護等のための医療費に対する経済的な負担軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	障害者総合支援法等に基づく福祉的措置として、継続的治療や障がい除去、長期の療養介護等のために必要となる医療費の自己負担軽減を継続する。				

事務事業名	老人保護措置委託事業			決算書 掲載ページ	210
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	介護高齢課	
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	152,528		145,408	0	7,120
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	90,000		0	32,191	23,217
目 的	環境上の理由及び経済的理由により、自宅での日常生活が難しい高齢者を養護老人ホームに入所を委託し、日常生活の見守りを行い、生活の安定・向上を図る。また、虐待を受けた高齢者に対する保護や、養護者の負担の軽減を図るための措置を行い、高齢者の権利利益を擁護する。				
取組内容・実績	老人保護措置の令和3（2021）年4月1日現在の措置人数は、54名であった。高齢者虐待等やむを得ない事由による措置入所は、令和3（2021）年3月末現在で3名であった。				
成 果	環境上の理由及び経済的理由で在宅生活が困難な高齢者を支援することにより、高齢者虐待を受けた高齢者の保護と養護者の負担の軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	今後も環境上の理由及び経済的理由により、在宅生活が困難な高齢者を支援する必要がある。また、高齢者虐待を受けた高齢者の保護と養護者の負担の軽減も必要不可欠である。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	単身老人等緊急通報装置設置事業			決算書 掲載ページ	212
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	介護高齢課	
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,855		8,398	0	457
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	8,398
目 的	緊急通報装置で常時見守りをすることにより、高齢者等の日常生活における不安感の解消及び急病や災害等緊急時の迅速かつ適切な対応を図る。				
取組内容・実績	令和2（2020）年度は、新規設置51台、撤去34台であり、年度末の設置台数は288台となった。当該装置による令和2（2020）年度中の通報は、緊急通報2件、安否通報535件（うち救急出動1件）、火災通報17件（うち消防出動3件）であった。				
成 果	定期的な伺い電話や緊急時の速やかな対応により、日常生活の不安感の解消や、万一の場合の危機回避に役立っている。また、民生委員や地域包括支援センターの周知などにより、新規の利用者が増加した。				
課題・今後の方向性	一人暮らしで不安な高齢者が、安心して生活できるように、今後も、周知を継続する必要がある。				

事務事業名	寝たきり高齢者等紙おむつ購入費助成事業			決算書 掲載ページ	212
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	介護高齢課	
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	39,836		38,323	0	1,513
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	110	38,213
目 的	在宅介護の経済的な負担の軽減を図るため、常に紙おむつを使用している在宅の寝たきりなどの高齢者に、紙おむつの購入費用の一部を助成する。				
取組内容・実績	1月当たり市民税所得割課税世帯2,000円、その他の世帯3,000円の助成券を、6か月分をまとめて年2回交付した。令和2（2020）年度の助成実績は、1,532人であった。				
成 果	在宅の寝たきり高齢者等介護の経済的負担の軽減を図り、在宅介護支援に効果を上げることができた。				
課題・今後の方向性	高齢者の現況異動について、申出の徹底を対象者や支援者に周知する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	高齢者向け安心住まいの整備補助事業			決算書 掲載ページ	212
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	介護高齢課	
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,575		225	0	1,350
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	112		0	0	113
目 的	住宅を高齢者などの身体状況に適したものに改修する際に必要な経費を補助することにより、高齢者などが住み慣れた住宅で安心して自立した生活を送り、介護者の負担を軽減することができる住環境の整備を促し、在宅福祉の推進を図る。				
取組内容・実績	1名の住宅改修に対して225千円の補助を行った。				
成 果	身体状況に適した改修などを行うことで、高齢者などが住み慣れた住宅で安心して自立した生活を送り、介護者の負担を軽減することができる住環境の整備を促し、在宅福祉の支援を図ることができた。				
課題・今後の方向性	介護保険での住宅改修サービスを使いきった方が利用でき、改修メニューにないものもカバーしていることから、在宅介護を支援するために継続することが必要である。				

事務事業名	老人クラブ運営費等助成事業			決算書 掲載ページ	212
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	介護高齢課	
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,675		4,355	0	320
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,835		0	0	2,520
目 的	老人クラブ及び柏崎市老人クラブ連合会の運営費・活動費に対して補助を行うことにより、老人クラブとその会員の社会活動を育成・支援し、高齢者の生きがいと健康づくりの促進を図る。				
取組内容・実績	高齢者の健康と生きがい対策として、老人クラブ（61団体）の活動費に対して補助を行った。また、老人クラブの活性化を図るため、老人クラブ連合会の事業費に対して補助を行った。				
成 果	高齢者の健康と生きがいづくりに効果を上げることができた。				
課題・今後の方向性	老人クラブ会員の高齢化と老人クラブ数が減少している。高齢者の生きがいづくりの場、これまで培ってきた知識や経験を発揮できる場の提供を行い、健康の推進を図ることができるよう引き続き支援する。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	高齢者等世話付住宅生活援助員派遣事業			決算書 掲載ページ	214
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	介護高齢課	
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,975		1,948	0	27
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,948
目 的	高齢者世帯や障がい者世帯などが孤立することなく、安心して自立した生活を送ることができるよう、バリアフリー化した公営住宅において、日常生活支援サービスの提供を行うことにより、不安の解消を図る。				
取組内容・実績	バリアフリー化され、緊急通報システム装置が設置された市営住宅1階10戸の入居者（令和2（2020）年度末現在9名）に対して、生活援助員を派遣し、入居者の生活相談・安否確認・緊急対応等を行った。				
成 果	生活援助員を派遣し、入居している高齢者や障がい者の生活相談や安否確認等を行うことにより、生活面及び健康面での不安解消に効果をあげることができた。また、万一の場合の緊急対応を迅速に行うことができた。				
課題・今後の方向性	家族の援助を得ることが困難で生活支援が必要な方を支援するための事業として、今後も継続する必要がある。				

事務事業名	介護従事者人材確保・育成支援事業			決算書 掲載ページ	214
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	介護高齢課	
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	46,480		38,451	0	8,029
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	38,451
目 的	安定的な介護サービスを提供するため、介護施設などに勤務する職員の職場定着や新たな介護人材の確保を図る。				
取組内容・実績	事業者が行う基準該当者に対する人材確保策に補助金を交付した。 ・介護職就業奨励補助金：新規雇用した無資格者1名 ・介護資格取得支援補助金：対象研修の修了者又は資格合格者41名 ・介護夜勤対応者臨時補助金：実夜勤従事者553名				
成 果	各種補助金の交付により、介護施設などに勤務する職員のスキルアップや職場定着、新たな人材確保を図ることができた。				
課題・今後の方向性	若い世代に対して介護職の魅力を発信することで、介護のイメージアップ・理解促進を図り、将来的な介護人材の確保につなげる必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	介護職員就職支援事業			決算書 掲載ページ	214
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	介護高齢課	
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,500		1,650	0	850
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,650
目 的	市内の介護事業所又は病院で介護業務に従事する職員の人材確保を図る。				
取組内容・実績	新たに、市内の介護事業所又は病院で介護業務に従事する職員12名に補助金を交付した(介護福祉士5名、介護支援専門員1名、初任者研修修了6名)。				
成 果	補助金の交付により、介護事業所等における有資格者を確保することができた。				
課題・今後の方向性	介護の専門学校等に補助金制度の周知を行い、柏崎市内の介護事業所への就職を促す必要がある。また、一般市民に対しても、これから介護職を目指すきっかけとなるように補助金制度の周知を行う必要がある。				

事務事業名	介護基盤整備事業			決算書 掲載ページ	218
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	介護高齢課	
目	04	社会福祉施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	51,471		15,183	36,288	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	15,102		0	0	81
目 的	介護基盤の整備促進及び開設後の安定したサービス提供への支援のため、介護サービス事業所整備に係る補助金を交付する。				
取組内容・実績	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)整備事業者に対し、開設準備経費に係る補助金を交付した。				
成 果	補助金交付により、安定した介護サービス提供に寄与した。				
課題・今後の方向性	今後も、介護サービス事業所整備時に必要な補助金を交付することで、介護サービスの充実を支援する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	子どもの虐待防止事業			決算書 掲載ページ	222
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,336		621	0	715
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	262		0	0	359
目 的	関係者の資質向上及び連携強化を図ることで、児童虐待の発生子防や要保護児童などへ迅速かつ適切に対応する。また、子育ての不安解消・虐待予防のため、講座などを通じて親同士のつながりと、支え合うきっかけ作りを行う。				
取組内容・実績	心理的虐待について、早期支援の拡大を図ることができた。女性相談員が配置されたことにより、面前DVを含めて42件の心理的虐待を把握し支援した。また、心理的虐待をテーマとした支援者向けの研修会では94人、市民向けの研修会では131人が参加し、見守りをする視点などについて、理解を深めることができた。				
成 果	把握しにくく見極めが難しい心理的虐待について、早期に介入・支援できる体制が整備された。また、心理的虐待が起こる背景について理解が深まり、見守り体制や虐待防止につなげることができた。				
課題・今後の方向性	虐待防止対象となっている世帯の背景として、子どもの育てにくさ、保護者の病気や虐待経験など、複数の問題が関係することで複雑化していることから、精神保健や臨床心理面等、専門的な視点や支援が必要である。				

事務事業名	ファミリーサポートセンター事業			決算書 掲載ページ	224
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,655		2,610	0	45
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,666		0	6	938
目 的	子育て中の親が、仕事と家事や育児等の家庭生活を両立できるよう支援する。				
取組内容・実績	子どもの預かりや送迎などの援助活動は、505件あり、依頼会員と提供会員の調整を行った。会員数は、290人（提供会員50人、依頼会員233人、両方会員7人）になった。				
成 果	依頼会員のおおむね8割が複数回の利用をしており、子育て支援のニーズに対応することができた。また、啓発活動により、新規提供会員が5人加わり、主に送迎の依頼に対応することができた。				
課題・今後の方向性	継続して提供会員の新規加入に向けた啓発に取り組む。また、より安心なサービス提供を行うため、AED研修等により提供会員のスキル向上を目指す。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 子どもを持つ喜びが感じられる環境を整備する

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	利用者支援事業			決算書 掲載ページ	224
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,794		7,422	0	1,372
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,862		0	10	3,550
目 的	妊娠期からおおむね就学前の子育て期まで、切れ目なく、様々なニーズに対応し、総合的な相談支援を継続的に行う。				
取組内容・実績	年間活動数は、761件あった。母子保健事業と要児童虐待防止事業の連携会議を毎月実施し、母子健康手帳交付時の状況を基に、妊娠期の支援の必要性について、91件を検討した。その中で、妊娠期から支援が必要な世帯に対して支援プランを63件作成した。				
成 果	連携会議の定例化により、継続支援が必要な事例の早期支援を効果的に実施できた。また、妊娠期から、医療機関と連携することにより、退院後も継続して産院を利用することができ、産後うつ予防や育児不安の軽減につなげることができた。				
課題・今後の方向性	妊娠期のハイリスク管理については、支援体制が整備されつつある。今後は、乳児・幼児期以降の支援プランを試行的に作成し、妊娠期から切れ目のない支援の強化を目指す。				

事務事業名	子育て応援券事業			決算書 掲載ページ	226
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	24,371		17,158	0	7,213
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	17,158
目 的	有料の子育て支援サービスを利用できる子育て応援券を交付し、経済的支援を行うことにより、子育て世帯が安心して子どもを産み育てられる環境の充実を図る。				
取組内容・実績	柏崎市に住所を有する0歳から3歳までの子どものいる世帯に対し、子ども1人当たり1万円の子育て応援券を交付した。令和2(2020)年度は1,960人を対象に39,200枚を交付し、28,247枚、1,412万3,500円分の利用となった。登録事業者は、61者となった。				
成 果	乳幼児を抱える世帯の経済的負担の軽減や地域の子育て環境の充実を図ることにより、子育てしやすい環境づくりに寄与した。				
課題・今後の方向性	子育て応援券が使用できる登録事業者の拡充、応援券の電子化など利便性の向上を図る必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	放課後児童健全育成事業			決算書 掲載ページ	226
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	183,103		182,175	0	928
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	85,728		0	44,807	51,640
目 的	放課後や学校休業日に留守家庭となる小学校の児童を預かり、適切で安全な遊びや生活の場を提供することで、子どもたちの健全育成を図る。				
取組内容・実績	市内23か所の児童クラブを民間委託（柏崎市社会福祉協議会22か所、西山福祉会1か所）し、年間延べ6,516日開設、146,159人の利用があった。				
成 果	適切な遊びと生活の場を提供することで、児童の健全育成を図り、加えて、保護者の就労や介護等の支援にも寄与した。また、子どもの養育が困難な家庭への支援を行い、育児不安の軽減等に寄与した。				
課題・今後の方向性	児童クラブ支援員の質の向上や人材の確保により、安定した運営を支援する必要がある。				

事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業			決算書 掲載ページ	226
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,000		4,986	0	14
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	4,986		0	0	0
目 的	新型コロナウイルス感染症対策に必要な備品や消耗品を購入し、児童クラブの環境改善を行い、子どもを安心して育てることができる体制整備を行う。				
取組内容・実績	新型コロナウイルス感染症対策に必要な非接触型体温計、オゾン除菌消臭器、クロススクリーンなどの備品のほか消毒液などの衛生用品を購入した。				
成 果	新型コロナウイルス感染症対策に必要な備品や消耗品を購入し、感染症対策に寄与した。				
課題・今後の方向性	目的達成のため、令和2（2020）年度で終了するが、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するための対策を継続的に講じる必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 子どもを持つ喜びが感じられる環境を整備する

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-1 出会いの喜びを感じる環境を整備する

事務事業名	家庭児童相談室事業			決算書 掲載ページ	228
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,631		6,556	0	75
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,277		0	17	3,262
目 的	相談者の家庭における人間関係の健全化や養育環境の適正化など、児童の福祉の向上を図る。また、児童の健全育成と家庭支援を行うことで、児童虐待防止につなげる。				
取組内容・実績	家庭の養育環境等に支援が必要な相談者242人(延べ3,591人)に対し、教師資格などの専門性を持った家庭児童相談員を配置し、来所、電話、訪問による相談を実施した。				
成 果	進路選択の時期にある養育困難家庭や不登校傾向の相談が増えたが、関係機関につなぎ、児童の自立に視点を置いた支援を継続することで、不登校などの改善につなげることができた。				
課題・今後の方向性	保護者に疾病等がある事例が増加しており、専門的なソーシャルワークが必要となっている。今後は、必要に応じて心理職等の専門的な視点を入れた事例検討会を設定することが必要である。				

事務事業名	結婚活動応援事業			決算書 掲載ページ	228
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,500		1,500	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,500
目 的	出会いや結婚を望む独身男女を支援し、未婚化や晩婚化の解消を図る。				
取組内容・実績	婚活イベントを2回実施し、延べ37名の参加のうち8組がマッチングした。また、婚活イベントのほか女性向けの講座を開催し、6名が参加した。				
成 果	婚活イベントの開催により、出会いを創出することができた。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、一部のイベントは中止となりマッチング数を伸ばすことはできなかったが、参加者アンケートでは、結婚に対して前向きな回答があった。				
課題・今後の方向性	男性の申込数に対して女性の申込数が少ないため、女性が参加しやすくなる工夫を加え、参加しやすい環境づくりを進めるなど、効果的な方法を検討する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	県立こども自然王国整備費			決算書 掲載ページ	230
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	102,824		79,962	0	22,862
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		75,600	316	4,046
目 的	県内外の児童・親子が豊かな自然環境の中で、交流を深めるために必要な施設の整備や適切な施設の維持管理などを行い、児童の健全育成を図る。				
取組内容・実績	大型複合遊具と電力量計の修繕等を行った。また、新潟県による大規模改修工事（平成30（2018）年度から令和2（2020）年度までの3か年計画）の3期目が完了した。				
成 果	適正な施設の維持管理や更新が行われたことで、児童・親子が安心安全のもと、施設を利用することができた。				
課題・今後の方向性	施設の長寿命化を図るため、引き続き適正な施設の維持管理を行う必要がある。				

事務事業名	地域子育て支援拠点事業			決算書 掲載ページ	230
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	27,297		23,486	0	3,811
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	13,790		0	50	9,646
目 的	未就園児及びその保護者の相互交流や子育てに関する相談等を行う地域子育て支援拠点事業を実施することにより、地域の子育て支援機能の充実を図るとともに、保護者の子育て支援を進め、乳幼児の健やかな育ちを促進する。				
取組内容・実績	元気館ジャングルキッズ及び公立子育て支援室において、未就園児とその保護者に交流の場を提供するとともに、随時子育て相談等を実施した。公立子育て支援室（6施設）において、延べ5,619組が利用し、73件の相談があった。				
成 果	子育て支援の場を提供することにより、子育てに対する関心が高まり、未就園児を持つ保護者の子育て不安を軽減できた。また、妊娠中の方も子育て支援室を利用できることを周知し、妊娠前から切れ目のない子育て支援もできた。				
課題・今後の方向性	子育て不安の軽減を図るため、子育て支援室のない地区への開設を検討するとともに、地域の関係機関と連携する必要がある。今後も継続的な子育て支援及びニーズに合った子育て情報の提供を行う。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

事務事業名	早期療育事業			決算書 掲載ページ	232
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子どもの発達支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	28,909		28,267	0	642
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,133		0	25,358	1,776
目 的	専門的な知識と経験を有する児童指導員等を配置し、乳幼児の発達段階や特性に応じた発達支援を行う。				
取組内容・実績	心身や言葉の発達に心配を抱える就園・就学前の児童とその保護者を対象に、障がい児相談・児童発達支援の福祉サービスと、キッズ・サポート（幼稚園・保育園等訪問支援）を行った。障がい児相談では、年間149人の相談支援を行い、児童発達支援では、141人の利用者に対し、年間延べ2,252回の発達支援を行った。また、キッズ・サポートでは、94人の園児に関する専門的な助言を幼稚園・保育園等に行った。				
成 果	乳幼児の発達段階や個々の特性に応じた専門的な相談支援や発達支援を実施することにより、集団生活への適応や言語機能の向上を図ることができた。また、キッズ・サポートによる幼稚園・保育園等訪問支援により、支援方法の向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	発達支援に係るニーズは年々高まっており、療育の専門機関として支援体制の向上を図っていくことが求められている。このため、職員の専門性の向上を更に図り、個々の発達段階や特性に応じた早期療育支援の充実を図る。				

事務事業名	ふれあいルーム推進事業			決算書 掲載ページ	234
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子どもの発達支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,232		6,865	0	367
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	14	6,851
目 的	適応指導教室（ふれあいルーム）に指導員を配置し、通学が困難な小・中学生及び高校生への学習の意識付け、集団生活への適応、体験活動及び居場所の提供をすることで、学校や社会への復帰を目指す。				
取組内容・実績	不登校で学校生活への適応が難しい児童生徒に対して、集団生活に適応するための体験活動を通じて、学校復帰するための支援を行った。年間244日開級し、最大で7人が在籍した。				
成 果	在籍7人の児童生徒のうち6人が学校復帰（完全復帰2人、部分登校4人）をすることができた。				
課題・今後の方向性	中学生から高校生、高校生から社会人へと途切れることのない支援ができるように、関係機関との情報共有や引継ぎが必要となっている。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

事務事業名	不登校・いじめ対策事業			決算書 掲載ページ	234
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子どもの発達支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,924		1,866	0	58
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,866
目 的	学校訪問相談員を配置し、教職員やこころの教室相談員などを対象に、いじめ、不登校、問題行動やクラス運営の相談に応じ、教職員の指導力向上に寄与するとともに、いきいきとした学校づくりを支援する。				
取組内容・実績	学校訪問相談員が、各学校の問題事例に対し、79回学校を訪問して実態把握、対応協議及び教職員への指導、助言を行った。				
成 果	教職員をサポートすることにより、学校における問題行動や学級経営困難事例などの解決につながった。				
課題・今後の方向性	授業不成立、学級経営困難等に関する助言が増加しており、特性に的確に対応するためのより専門性の高い指導が必要になっている。				

事務事業名	カウンセリングルーム運営費			決算書 掲載ページ	234
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子どもの発達支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	16,845		15,291	0	1,554
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	38	15,253
目 的	臨床心理士や相談員を配置し、不登校や発達障がいなどの心身の不調やいじめ問題に悩む小・中学生、高校生やその保護者への相談を行い、悩みの早期解決を図るとともに、他機関との連携を基にした相談体制の充実を図る。				
取組内容・実績	臨床心理士や相談員が、児童生徒やその保護者に対して、一人一人に応じたきめ細かな相談支援を行った。面談相談は、135人に対して延べ574回実施した。小・中学生の軽度発達障がい児を対象にしたソーシャルスキルトレーニングを計15回延べ33人に実施した。				
成 果	相談者に対する専門的なカウンセリングを行うことによって、不登校の長期化予防、発達障がいの二次障がいの防止につながることができた。				
課題・今後の方向性	相談内容が多様化、複雑化しており、学校や関係機関との情報共有・連携を密にして、相談支援を行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 子どもを持つ喜びが感じられる環境を整備する

事務事業名	かしわざきこども大学事業			決算書 掲載ページ	236
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	学校教育課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,306		3,147	0	1,159
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	3,147	0
目 的	かしわざきこども大学として、おおむね18歳未満の子どもを対象にした全7事業を行う。地域団体や大学などと連携し、学校や家庭だけでは体験できない様々な学びの場を提供し、子どもたちの生きる力を育む。				
取組内容・実績	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、自然体験コース・ドリームコースを中止したが、キャリア教育コースやこどもの笑顔創造プロジェクトなど5事業を実施し、地域住民を含めて8,336名が参加した。				
成 果	感染症対策を講じながら、地域団体や大学などと連携し学校や家庭だけでは体験できない様々な活動の場を提供し、子どもたちの生きる力を育むことができた。				
課題・今後の方向性	財源であるかしわざき子ども育成基金の残高が減少していることから、こども大学の在り方や同様な事業との統合などを検討し、スリムな事業展開を図る必要がある。				

事務事業名	ひとり親家庭等医療費助成事業			決算書 掲載ページ	238
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	福祉課	
目	02	母子福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	30,183		26,135	0	4,048
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	12,236		0	0	13,899
目 的	ひとり親家庭等の保健の向上、福祉の増進、医療費に対する経済的負担の軽減を図る。				
取組内容・実績	受給者数1,257人に対し、11,266件（医療費助成総額2,375万1,043円）の助成を行った。				
成 果	ひとり親家庭等の保健の向上、福祉の増進及び医療費に対する経済的負担の軽減が図られ、児童の健全な育成に寄与した。				
課題・今後の方向性	新潟県ひとり親家庭等医療費助成事業実施要領等に基づく事業であり、今後も継続する。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業費			決算書 掲載ページ	238
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	福祉課	
目	02	母子福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	94,900		88,860	0	6,040
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	88,860		0	0	0
目 的	新型コロナウイルス感染症の影響によるひとり親世帯の子育て負担の増加や収入の減少に対する支援を行うため、給付金の支給を行う。				
取組内容・実績	ひとり親家庭等に対し、基本給付は1世帯5万円、第2子以降は3万円、追加給付は1世帯5万円を臨時特別給付金として支給した。また、令和2(2020)年12月には、基本給付の受給者に対し、基本給付と同額を再支給した。支給件数は、基本給付575世帯、再支給575世帯、追加給付272世帯であった。				
成 果	給付金の支給により、新型コロナウイルス感染症の影響を受けているひとり親世帯の生活を支援することができた。				
課題・今後の方向性	目的達成のため、令和2(2020)年度で終了する。				

事務事業名	母子家庭等自立支援教育訓練給付金事業			決算書 掲載ページ	240
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	02	母子福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	132		29	0	103
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	22		0	0	7
目 的	ひとり親家庭の母又は父が、就業するために必要な技術や資格を取得するため、雇用保険制度の教育訓練給付に指定された講座を受講する場合の費用を一部助成し、就業の促進と自立を支援する。				
取組内容・実績	受給対象者1人に対して、雇用保険制度の教育給付に指定された講座を受講する場合の費用を一部助成し、就業の促進と自立を図った。				
成 果	ひとり親家庭の母又は父の就業に向けた資格取得等に関係する受講経費を一部助成することにより、経済的負担を軽減し、自立した生活の確立に寄与した。				
課題・今後の方向性	就業に向けた資格取得は、ひとり親家庭における経済的な自立に有効であることから、今後も継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	高等職業訓練促進給付金等事業			決算書 掲載ページ	240
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	02	母子福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,296		2,389	0	907
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,534		0	0	855
目 的	ひとり親家庭の母又は父が専門的な資格を取得するための訓練促進費などを支給することにより、経済的負担を軽減するとともに、就業と自立の促進を図る。				
取組内容・実績	受給対象者2人に対して、専門的な資格取得のための訓練促進費を支給した。				
成 果	ひとり親家庭の母又は父の就業に向けた資格取得等に関する受講経費を一部助成することで、経済的負担を軽減し、自立した生活の確立に寄与した。				
課題・今後の方向性	就業に向けた資格取得は、ひとり親家庭における経済的な自立に有効であることから、今後も継続する必要がある。				

事務事業名	保育園新型コロナウイルス感染症対策事業			決算書 掲載ページ	244
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,000		5,906	0	2,094
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	5,897		0	0	9
目 的	公立保育園の保育環境の改善を図り、子どもを安心して育てることができる体制整備を行う。				
取組内容・実績	新型コロナウイルス感染症対策を実施するため、公立保育園の消耗品及び備品を購入した。				
成 果	公立保育園の保育環境を改善し、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止することができた。				
課題・今後の方向性	新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するための対策を継続的に講じる必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	私立保育園運営経費			決算書 掲載ページ	244
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1, 213, 780		1, 172, 678	0	41, 102
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	756, 211		0	116, 774	299, 693
目 的	健全な保育園運営の確立を支援し、安定した児童の受入体制を整える。				
取組内容・実績	私立保育園12園に施設型給付費を支出するとともに、運営に係る経費を補助した。				
成 果	私立保育園に施設型給付費及び運営費補助金を交付することにより、健全な保育を実施することができた。				
課題・今後の方向性	健全な施設運営を支援するために、補助したことによる経営状況の検証を継続する必要がある。				

事務事業名	私立保育園特別保育事業補助金			決算書 掲載ページ	244
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	98, 853		92, 630	0	6, 223
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	41, 443		0	0	51, 187
目 的	地域のニーズを踏まえて、地域の子育てを総合的に支援し、保育を必要とする乳幼児の福祉の向上を図る。				
取組内容・実績	特別保育事業（未満児保育事業12園、障害児保育事業12園、交流保育事業1園）を実施した私立保育園に補助金を交付した。				
成 果	子育てにおける負担の軽減や仕事と子育ての両立支援など、安心して子育てができる環境づくりを総合的に支援することができた。				
課題・今後の方向性	多様化する保育ニーズに対応するため、補助事業の有効性を検証する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	私立保育園建設費補助金			決算書 掲載ページ	244
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	164,625		163,939	0	686
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	109,293		0	0	54,646
目 的	私立保育園の施設整備に要する経費の一部を補助することにより、子どもを安心して育てることができる体制を整備する。				
取組内容・実績	私立保育園（1園）の建替えに係る工事費の一部を補助した。				
成 果	補助金の交付により、施設を整備することができ、子どもを安心して保育することが可能になった。				
課題・今後の方向性	施設の老朽化に対応する整備計画を各私立保育園で検討するよう働きかける必要がある。				

事務事業名	私立保育園地域子ども・子育て支援事業			決算書 掲載ページ	244
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	32,155		22,364	0	9,791
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	12,310		0	0	10,054
目 的	子育てにおける負担の軽減や仕事と子育ての両立支援など、安心して子育てができる環境づくりを総合的に支援するため、子ども・子育て支援事業を実施し、児童の福祉の向上を図る。				
取組内容・実績	地域子ども・子育て支援事業（延長保育事業4園、地域子育て支援拠点事業3園、地域子育て支援センター事業4園、一時預かり事業3園）を実施した私立保育園に補助金を交付した。				
成 果	安心して子育てができる環境を整備するとともに、地域の子育て支援機能の充実を図ることができた。				
課題・今後の方向性	多様化する保育ニーズに対応するため、補助事業の有効性を検証する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	私立保育園新型コロナウイルス感染症対策事業			決算書 掲載ページ	246
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,000		6,000	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	6,000		0	0	0
目 的	私立保育園の保育環境の改善を図り、子どもを安心して育てることができる体制整備を行う。				
取組内容・実績	新型コロナウイルス感染症対策を実施する私立保育園（12園）に対し、補助金を交付した。				
成 果	私立保育園の保育環境を改善し、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止することができた。				
課題・今後の方向性	私立保育園が行う新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するための対策を支援する必要がある。				

事務事業名	保育園整備事業			決算書 掲載ページ	246
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	237,924		222,506	0	15,418
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	210,000		0	0	12,506
目 的	公立保育園として必要な施設の整備を行い、市民の保育ニーズに応える。				
取組内容・実績	鯖石小学校を改修し、中鯖石保育園と南鯖石保育園を統合して、鯖石保育園を開園した。				
成 果	公立保育園を整備することにより、子どもを安心して育てる環境を充実させることができた。				
課題・今後の方向性	公立保育園の老朽化が進んでいるため、個別施設計画を基本とした施設整備を推進する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	私立認定こども園等建設費補助金			決算書 掲載ページ	246
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,957		3,918	0	39
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,612		0	0	1,306
目 的	施設整備に要する費用の一部を補助することにより、子どもを安心して育てることができる環境を整える。				
取組内容・実績	外構工事を実施した私立認定こども園（1園）に補助金を交付した。				
成 果	施設整備に係る経費を補助することにより、子どもを安心して育てる環境を充実させることができた。				
課題・今後の方向性	老朽化する私立認定こども園等の施設整備を中長期的な計画の中で支援する必要がある。				

事務事業名	施設等利用費給付事業			決算書 掲載ページ	248
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,959		5,842	0	5,117
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,685		0	0	2,157
目 的	幼児教育・保育無償化対象の子どもが利用する預かり保育事業や認可外保育施設等の利用費を給付することにより、子育てを行う家庭の経済的負担の軽減を図る。				
取組内容・実績	施設等利用費給付の対象事業（預かり保育事業1，102件、認可外保育48件、一時預かり事業2件）を利用した子どもの保護者に利用費を償還払いにより給付した。				
成 果	施設等利用費の給付を行うことにより、子育てを行う家庭の経済的負担を軽減することができた。				
課題・今後の方向性	引き続き、施設等利用給付認定を受けた子どもが対象施設を利用した際に係る費用を支給することにより、子育てを行う家庭の経済的負担を軽減する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	子供の遊び場施設整備補助金			決算書 掲載ページ	248
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	04	児童福祉施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,027		1,727	0	300
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,727
目 的	健全な遊び場の整備を促進することにより、子どもの路上遊びの防止と遊び場環境の改善を図る。				
取組内容・実績	町内会などが管理する公園の整備8件に補助金を交付した。				
成 果	遊具の更新・修繕、花壇の設置、砂場の砂の入替えなど、安全に配慮した子どもの遊び場の環境整備に寄与した。				
課題・今後の方向性	町内会などからの要望もあり、より身近な公園整備が促進されるように制度の拡充が必要である。				

事務事業名	病児保育事業			決算書 掲載ページ	248
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	04	児童福祉施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	14,676		12,606	0	2,070
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	7,684		0	0	4,922
目 的	保育所入所児童等が発病した際に、児童を預けることができる病児保育室を開設することにより、働きながら安心して子育てのできる環境を整備する。				
取組内容・実績	病児保育室「ムーミンハウス」の運営業務を国立病院機構新潟病院に委託した。161人の利用登録があり、延べ171人が利用した。				
成 果	保護者の子育てと就労の両立の支援、児童の健全な発達を促進することができた。				
課題・今後の方向性	病児保育のニーズが多いことから、病児保育の充実について利用者ニーズを確認しながら、病児保育事業実施主体等と協議・検討を行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

事務事業名	被保護者就労支援事業			決算書 掲載ページ	250
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	03	生活保護費	担 当	福祉課	
目	01	生活保護総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,476		4,235	0	241
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,230		0	11	994
目 的	就労支援専門員を配置し、生活保護を受給する方の就労自立に向けた支援を行う。				
取組内容・実績	ハローワークと連携し、就労支援プログラムに基づき44名の就労支援を行った。22名が就労し、そのうち9世帯が就労収入の増加により、生活保護廃止となった。				
成 果	生活保護を受給する方の就労自立に寄与した。				
課題・今後の方向性	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、就労機会の確保が困難な状況が続くことが予想されるため、ハローワークと緊密に連携し、就労支援を行う必要がある。				

事務事業名	生活保護費			決算書 掲載ページ	252
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	03	生活保護費	担 当	福祉課	
目	02	扶助費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	893,791		852,937	0	40,854
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	685,799		0	0	167,138
目 的	生活保護を受給する方に生活保護費を支給し、最低生活の維持と自立を支援する。また、対象となる方に中国残留邦人等支援給付費等を支給し、安定した生活の維持を支援する。				
取組内容・実績	対象となる方に生活保護費及び中国残留邦人等支援給付費等を支給した。 令和3(2021)年3月現在、生活保護受給世帯472世帯(受給者574名)、中国残留邦人等支援給付費等受給世帯3世帯(受給者5名)				
成 果	生活保護を受給する方及び中国残留邦人等支援給付費等を受給する方の生活維持と自立を図ることができた。				
課題・今後の方向性	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、生活に困窮する方の増加が予想されるため、生活困窮者自立支援制度と連携しながら、適正に生活保護制度の実施に取り組む必要がある。				

4 款 衛生費

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 健康を守る基盤を堅持する

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 健康を守る基盤を堅持する

事務事業名	病院群輪番制病院運営費			決算書 掲載ページ	254
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	40,275		40,176	0	99
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	3,688	36,488
目 的	病院群輪番制により、休日又は夜間における地域住民の医療の確保など、救急医療の確保を図る。				
取組内容・実績	柏崎・刈羽地域で輪番制により二次救急医療を担う病院（柏崎総合医療センター、新潟病院、柏崎中央病院）に対して、輪番制病院の運営に必要な費用を補助した。				
成 果	地域医療を支える病院の円滑な運営に資するとともに、休日又は夜間における二次救急医療体制の確保を図ることができた。				
課題・今後の方向性	地域における救急医療体制を確保するため、継続して実施する必要がある。				

事務事業名	病院群輪番制病院設備整備補助事業			決算書 掲載ページ	254
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	36,135		35,627	0	508
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	23,712		0	617	11,298
目 的	輪番制病院の施設等の整備を支援することにより、休日又は夜間における救急医療の確保・充実を図る。				
取組内容・実績	柏崎・刈羽地域で輪番制により二次救急医療を担う病院（柏崎総合医療センター、新潟病院、柏崎中央病院）に対して救急医療に必要な医療設備の整備費を補助した。 ・柏崎総合医療センター：超音波診断装置、LED无影灯及び電動油圧式手術台 ・新潟病院：一般撮影装置 ・柏崎中央病院：キヤノン動画ネットワークシステム				
成 果	柏崎地域の休日又は夜間における診療体制の確保・推進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	地域における救急医療体制の確保、機能の充実を図るため、継続して実施する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 健康を守る基盤を堅持する

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 健康を守る基盤を堅持する

事務事業名	地域医療推進事業			決算書 掲載ページ	254
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	16,816		14,976	0	1,840
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	14,976
目 的	地域医療に関する情報提供や啓発活動を実施することにより、受診行動の向上や地域医療の確保を推進するとともに、AEDの適切な管理による地域救急医療の充実を図る。				
取組内容・実績	医療・介護ガイドブック（改訂版）の全世帯配布を行い、医療機関への受診行動の改善などの啓発活動を行った。また、市内の小学校5校、中学校4校に対し、医師の講話を行った。AEDの適正配置による、地域救急医療の充実を図った。				
成 果	医療機関への受診行動の改善や地域医療を支える市民活動を促進することができた。				
課題・今後の方向性	今後も継続して、医療機関への受診行動の改善や地域医療を支える市民活動を促進することにより、地元出身の医療従事者の増加を図る必要がある。				

事務事業名	看護師就職支援事業			決算書 掲載ページ	254
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	20,600		19,700	0	900
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	1,309	18,391
目 的	市内の病院、訪問看護ステーション、介護施設等に勤務する看護師等を確保し、医療体制の維持・充実を図る。				
取組内容・実績	市内の病院等に就職した看護師74人に対し、就職助成金を交付した。また、市内への転入者には助成金を加算した。				
成 果	看護師に助成金を交付することにより、病院等の看護師の確保を図ることができた。また、市内への転入者に助成金を加算することにより、転入の促進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	今後も継続して事業を行うことで、病院等の体制確保を支援する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 健康を守る基盤を堅持する

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 健康を守る基盤を堅持する

事務事業名	勤務医・看護師子育てサポート事業			決算書 掲載ページ	254
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,825		1,222	0	1,603
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,222
目 的	病院が実施する院内託児施設運営に要する経費の一部を支援することにより、市内の医療従事者の離職防止及び再就職を促す。				
取組内容・実績	柏崎総合医療センター内の保育施設の運営費に対し補助金を交付した。 ・院内託児所利用実績 1か所 利用職員数9人 延べ児童数1,240人				
成 果	出産・育児による離職防止や在宅看護師の再就職促進を図り、医療従事者の確保及び地域医療体制の充実を図ることができた。				
課題・今後の方向性	今後も継続して、病院に勤務する医療従事者の子育て支援することにより、出産・育児による離職防止や在宅看護師の再就職促進を図る必要がある。				

事務事業名	キャリアアップ支援事業			決算書 掲載ページ	256
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,260		1,091	0	169
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,091
目 的	認定看護師資格取得支援の充実を図ることにより、キャリアアップを目指す看護職員の就職先としての病院の魅力を向上させ、市内の病院への就業促進と定着を図る。				
取組内容・実績	新潟病院に対し、認定看護師資格取得のための補助金を1名分交付した。				
成 果	認定看護師資格取得を推進する病院に対し補助金を交付することで、キャリアアップを目指す看護職員の就職先としての病院の魅力を向上させ、市内病院への就職促進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	今後も継続して、認定看護師資格取得支援の充実を図ることにより、キャリアアップを目指す看護職員の就職先としての病院の魅力を向上させ、市内病院への就職促進を図る必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 健康を守る基盤を堅持する

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 健康を守る基盤を堅持する

事務事業名	公的病院運営支援事業			決算書 掲載ページ	256
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	60,843		60,843	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	32,612		0	0	28,231
目 的	地域の医療の中核を担う公的病院に対し、特別交付税を活用して運営を支援することにより、地域医療の確保及び充実を図る。				
取組内容・実績	救急医療を要する傷病者のための専用病床数が9床、小児医療のための専用病床数が10床であり、救急専用病床を1,721名、小児専用病床を18名が利用した。				
成 果	柏崎地域の公的病院である柏崎総合医療センターに対し、運営費を補助し、地域医療の確保及び充実を図ることができた。				
課題・今後の方向性	今後も継続して、柏崎地域の公的病院である柏崎総合医療センターに対し運営費を補助することで、地域医療の確保及び充実を図る必要がある。				

事務事業名	新型コロナウイルス感染拡大防止対策事業費			決算書 掲載ページ	256
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	155,100		154,690	0	410
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	153,003		0	0	1,687
目 的	市内での新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図る。				
取組内容・実績	PCR検査センターを5月18日から11月30日まで開設し、298検体を検査した。また、新潟県から新型コロナウイルス感染症患者受入協力医療機関として指定された病院（柏崎総合医療センター、新潟病院、柏崎中央病院）に対し、院内感染を防止するための設備整備補助を行った。				
成 果	新型コロナウイルス感染者を早期に発見することができた。また、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れる病院に対し、院内感染防止対策に対して補助することにより、院内感染のリスクを軽減することができた。				
課題・今後の方向性	目的達成のため、令和2（2020）年度で終了する。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1 心と体の健康づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1 心と体の健康づくりを進める

事務事業名	保健福祉相談支援事業			決算書 掲載ページ	262
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	健康推進課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,938		5,901	0	3,037
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	14	5,887
目 的	メンタルヘルス不調や精神的な疾患・障がい悩む人が、早期から適切な医療や制度につながるように支援し、市民の精神保健福祉の向上を図る。				
取組内容・実績	専門的な相談に対応する精神保健相談員を配置し、保健師と共に、電話、来所面談、訪問等により、メンタルヘルス不調など精神保健福祉に関する相談（延べ1,331人）に対応した。				
成 果	相談者の不安の軽減、受診、就労、福祉サービスの利用など個々に合わせた専門的な助言指導、必要な支援につなぐことにより、こころの健康の保持増進、日常生活の維持、改善を図ることができた。				
課題・今後の方向性	健康問題だけではなく、就労・経済・家庭問題など相談が複雑化、多様化しており、関係機関と連携した支援が必要である。引き続き、関係機関との連携の下、市民の相談に適切に対応し、保健福祉の向上を図る。				

事務事業名	自殺予防対策事業			決算書 掲載ページ	262
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	健康推進課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	940		672	0	268
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	538		0	0	134
目 的	市民一人一人の気付きと見守りを促し、心の健康づくりを推進する。また、自殺対策行動計画（改訂版）に沿った取組を推進し、自殺率（人口10万人当たりの自殺者数）の低下を目指す。				
取組内容・実績	市民、高校生、教職員等を対象に、こころのゲートキーパー養成研修（基礎編6回（延べ348名）、実践編1回（7名））を実施した。また、市内中学校5校、市内小学校1校、特別支援学校1校の児童・生徒（延べ633名）を対象に、SOSの出し方教育を実施した。				
成 果	研修会等では、自殺の現状や相談窓口を周知することで、早期相談の大切さ等を参加者に考えていただく機会となった。また、SOSの出し方教育を通して、学校との連携体制が強化され、早期に相談につながるケースが増加した。				
課題・今後の方向性	高校生や大学生、働き盛り及び高齢者世代へのゲートキーパー養成研修、小・中学生へのSOSの出し方教育を実施し、自殺予防のための普及啓発活動を更に推進する必要がある。研修を通し、引き続き自殺対策の中心的役割を果たす人材の資質向上を目指す。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1心と体の健康づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	ひきこもり支援事業			決算書 掲載ページ	262
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	健康推進課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	12,645		11,056	0	1,589
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	28	11,028
目 的	学齢期から成人まで切れ目のない一貫した支援を展開することにより、ひきこもり当事者の自立を促し、その家族の安心感を向上させる。				
取組内容・実績	利用者66人（新規12人、継続54人）の相談（電話相談、来所相談、訪問相談等）延べ1,345件に対応した。あわせて、当事者交流会（4回）、家族の会（6回）、居場所支援（16回）を実施した。そのほか、柏崎市外を含む20件の継続支援に至らない電話相談に対応した。				
成 果	医療、福祉、介護、就労等の関係機関と連携しながら、個々の利用者に合わせた支援を実施した。また、関係機関や地域住民の協力を得て、ひきこもり相談の窓口としての周知に力を入れたことで、積極的に相談を希望される方が増加した。				
課題・今後の方向性	39歳までの利用者が約74%を占めており、今後は、40代以上の方への相談の周知、対応を強化する必要がある。引き続き、関係機関や地域と連携し、支援に当たる。また、関係部署と連携して、学齢期からの途切れない支援に取り組む。				

事務事業名	母子保健相談事業			決算書 掲載ページ	264
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	子育て支援課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	903		506	0	397
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	506
目 的	安全安心な妊娠期・出産と、子どもの成長・発達に応じた育児に関して必要な指導や助言、保健指導を行い、健やかな妊娠・出産・子育て支援を図る。				
取組内容・実績	出産前のパパママセミナーを開催し、妻の参加は203人（参加率：21.6%）、夫の参加は117人（参加率：12.5%）だった。また、すくすく広場では417人（参加率：38.0%）が参加し、2歳児子育てと歯科相談では、参加者62人（参加率：15.0%）だった。				
成 果	妊娠期から出産・育児についての指導や子どもの成長に合わせた、健康教育や健康相談を実施することで、夫婦で子育てを考えるきっかけとなり、子育ての不安軽減に効果的だった。				
課題・今後の方向性	すくすくネットを活用して事業内容の一部を紹介し、参加につなげるとともに、参加できない方にも情報発信を行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 子どもを持つ喜びが感じられる環境を整備する

事務事業名	歯科保健事業			決算書 掲載ページ	264
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	子育て支援課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,549		2,948	0	601
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	2,948
目 的	乳幼児歯科健診、保健指導、歯科保健に関する研修、啓発活動を推進する。				
取組内容・実績	妊娠前から乳幼児期までのライフステージに対応した健診や講座を実施し、歯科衛生の向上に取り組んだ。出産前のパパママセミナーの参加者は67人（参加率19.5%）、1歳6か月児歯科健診の受診者は533人（受診率97.3%）、2歳歯科相談の参加者は62人（参加率15.0%）、3歳児歯科健診の受診者は483人（受診率97.6%）、フッ化物歯面塗布率（対象者に対し）は、1歳6か月児で94.0%、3歳児で86.2%となった。				
成 果	1歳6か月、3歳児歯科健診時に、フッ化物塗布を行うことで、効率的な塗布の機会を確保し、むし歯予防に効果的だった。				
課題・今後の方向性	現在、1歳6か月児歯科健診は、歯科の単独実施で3歳児健診（内科、歯科同日実施）と比較して受診率が低いため、受診率向上を目的として内科健診と同日実施を検討する必要がある。				

事務事業名	未熟児養育事業			決算書 掲載ページ	264
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	子育て支援課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,755		3,296	0	459
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,086		0	533	677
目 的	養育医療指定医療機関において入院養育を必要と認めた場合に医療費の一部を助成することにより、経済的負担の軽減を行う。				
取組内容・実績	出生児体重が2,000g以下又は医師の診断により、養育医療指定医療機関（未熟児等の集中治療室のある病院）において入院療養が必要と認められた受給者14人の入院医療費の一部を助成した。				
成 果	医療費助成をきっかけに、入院中から情報交換会を行うことで、退院後も切れ目ない支援を継続することができた。				
課題・今後の方向性	未熟児は、正常児と比べて様々な発育不良などがあり、疾病にかかりやすく、その死亡率は極めて高いものとなっている。また、心身の障がいを残すことも多いため、出生後に速やかに適切な医療処置などを行う必要があることから、事業を継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 子どもを持つ喜びが感じられる環境を整備する

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 子どもを持つ喜びが感じられる環境を整備する

事務事業名	妊産婦医療費助成事業			決算書 掲載ページ	264
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	子育て支援課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	12,082		10,055	0	2,027
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	1,000	9,055
目 的	妊産婦の医療費を助成し、経済的負担を軽減する。また、妊産婦の疾病の早期発見と早期治療を促進し、安心して子どもを産み育てることができる環境をつくる。				
取組内容・実績	令和2（2020）年4月診療分以降、医療費助成額を1/2から全額（一部負担金を除く。）に拡充した。また、令和3（2021）年2月診療分以降、現物給付を開始し、利便性の向上を図った。 受給者証を408件交付し、2,007件、745万444円分の医療費を助成した。				
成 果	妊産婦の経済的負担を軽減するとともに、受診の促進を図り、疾病の早期発見と早期治療に寄与した。				
課題・今後の方向性	子どもを安心して産み育てられるように、医療費を助成するなど、引き続き、経済的負担を軽減する必要がある。				

事務事業名	不妊治療助成事業			決算書 掲載ページ	266
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	子育て支援課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,000		3,410	0	1,590
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	3,410
目 的	妊娠を望む夫婦に対する不妊治療費を助成することにより、経済的な負担の軽減を図る。				
取組内容・実績	医療保険が適用されず、高額な医療費がかかる配偶者間の特定不妊治療（県知事が指定した医療機関での体外受精・顕微授精）を必要とする49組に対して、費用の一部を助成（74件）した。				
成 果	不妊治療を行う夫婦の経済的な支援につなげることができた。				
課題・今後の方向性	妊娠を望む夫婦に対する不妊治療費を助成し、引き続き、経済的負担を軽減する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1 心と体の健康づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1 心と体の健康づくりを進める

事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業			決算書 掲載ページ	268
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	健康推進課	
目	02	予防費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,667		6,638	0	29
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	6,638		0	0	0
目 的	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う衛生資材を備蓄し、資材を必要とする医療現場へ適切に配布することにより、医療崩壊などの危機を回避する。				
取組内容・実績	マスク、消毒液、防護服、フェイスシールド、グローブ等を備蓄し、医療・介護施設及び指定避難所等に配布した。				
成 果	医療現場が必要とする衛生資材を配布することで、医療行為を継続するための一助となった。				
課題・今後の方向性	新型コロナウイルス感染症を始めとした感染症の拡大により、市場でのマスクや消毒液の流通が滞り医療や介護の現場で確保が困難となった場合などに備え、速やかに適切な配布を行えるよう今後も備蓄品の補充を行う。				

事務事業名	新型コロナウイルスワクチン接種事業			決算書 掲載ページ	268
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	健康推進課	
目	02	予防費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	553,630		10,939	542,691	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	10,939		0	0	0
目 的	国が示す新型コロナウイルスワクチンの無料接種を行うことにより、感染者の重症化リスクを減らし、感染拡大を抑制する。				
取組内容・実績	新型コロナウイルスワクチン接種の予約システムの導入及び接種状況を管理する予防接種台帳システムの改修並びにワクチンを管理する超低温冷蔵庫などを配備した。				
成 果	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向け、ワクチン接種に係る体制を整備できた。				
課題・今後の方向性	ワクチン供給量をにらみ、重症化リスクの高い年代からワクチン接種を希望する方が接種できるよう体制を整える。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1 心と体の健康づくりを進める

事務事業名	予防接種事業			決算書 掲載ページ	268
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	子育て支援課	
目	02	予防費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	145,467		117,752	0	27,715
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	117,752
目 的	予防接種の実施により、感染症の発生やまん延、り患した場合の重症化を防止し、公衆衛生の向上と市民の健康保持を図る。				
取組内容・実績	予防接種法に基づく乳幼児の定期予防接種について、委託医療機関において個別接種を実施した。接種率の向上と感染症予防のため、個人通知を行い、未接種者には接種勧奨を行った。 BCG、四種混合など12種類の予防接種に対して、延べ12,668人の接種を実施した。				
成 果	コロナ禍ではあったが、定期の予防接種はおおむね順調に進められ、公衆衛生の向上と市民の健康保持に寄与した。				
課題・今後の方向性	今後も定期予防接種の実施により、感染症の流行を防止する必要がある。				

事務事業名	がん検診費			決算書 掲載ページ	270
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	健康推進課	
目	03	健康増進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	101,875		94,223	0	7,652
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	180		0	4,497	89,546
目 的	死亡原因1位である「がん」の早期発見、早期治療につなげ、正しい知識の普及と健康水準の向上を目指す。新たなステージに入ったがん検診総合支援事業では、乳がん・子宮頸がんの対象年齢の方に検診の無料クーポン券を発行し、受診率の向上を図る。				
取組内容・実績	6月から11月まで（乳がん検診・子宮頸がん検診は1月まで）実施した。 肺がん検診は11,281人、胃がん検診は3,660人、大腸がん検診は6,958人、乳がん検診は2,228人、子宮頸がん検診は2,001人、前立腺がん検診は2,081人が受診した。無料クーポン券での受診者は、乳がん検診が114人、子宮頸がん検診が32人だった。				
成 果	肺がん検診で11人、胃がん検診で13人、大腸がん検診で24人、乳がん検診で10人、前立腺がん検診で11人にがんが見つかり、早期発見、早期治療につなげることができた。				
課題・今後の方向性	新型コロナウイルス感染症による受診控えで受診者数が減少した。受診者数を回復させるため、感染症対策を行っていることと検診の重要性を更に周知する。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1心と体の健康づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1心と体の健康づくりを進める

事務事業名	健康増進事業			決算書 掲載ページ	272
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	健康推進課	
目	03	健康増進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,923		1,372	0	551
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	178		0	0	1,194
目 的	第二次健康増進計画に基づき、健康教育、健康相談を行い、健康づくりの推進を図る。特に青壮年期の市民に対しては、職場を通じて健康づくり実践のきっかけづくりを図る。64歳以下の方のコツコツ貯筋体操への継続参加を促進する。				
取組内容・実績	集団健康教育を130回、延べ1,685人、健康相談を125回、延べ3,768人に実施した。中でも企業向けの出前講座は、9事業所に18回実施し、223人が参加した。また、健康づくり宣言事業には22事業所・団体が参加した。64歳以下の骨筋ポイント事業の申請者は34人だった。				
成 果	各年代や対象に合わせた健康教育、健康相談を実施することにより、健康づくりのきっかけとなり、生活習慣の改善、継続的な取組につなげることができた。また、事業の実施に当たり、地域や職域等の関係機関と連携を図ることができた。				
課題・今後の方向性	新型コロナウイルス感染症の影響により、健康教育、健康相談の実施回数が減少したため、感染予防対策に配慮し、働きかけの強化が必要である。また、職場を通じた健康づくりを更に推進するため、関係機関と連携して事業を周知する必要がある。				

事務事業名	歯科保健事業			決算書 掲載ページ	272
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	健康推進課	
目	03	健康増進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,906		6,873	0	1,033
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	18		0	325	6,530
目 的	青壮年期、高齢期に対する歯周病予防と子ども達に対するむし歯予防の推進を図る。				
取組内容・実績	歯科健康相談を8回実施し、17人が参加した。歯周病検診は、個別検診1,187人、集団検診267人の合計1,454人が受診した。20歳、30歳、40歳、50歳、60歳を対象に無料クーポンを配布し、受診を促した。フッ化物洗口について、保育園・学校関係者や保護者に対し、情報提供を行った。				
成 果	令和2(2020)年度から新規に節目年齢の対象者に歯周病検診の無料クーポン券を配布したことにより、新規の受診者が増加した。フッ化物洗口についての情報提供を行うことにより、理解の促進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	歯科健康相談の参加者が少ないため、実施回数の検討が必要である。歯周病検診は、集団検診の受診者減少のため、引き続き受診しやすい体制づくりを行う。節目年齢の無料クーポン券配布を継続し、歯科健診の重要性について啓発する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-3 美しい自然を守る

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-1 地球温暖化対策を進める

事務事業名	地盤沈下対策事業			決算書 掲載ページ	274
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	環境課	
目	04	環境衛生費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,336		1,312	0	24
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,312
目 的	地盤沈下及び地下水位の監視を行い、地下水の過剰なくみ上げによる地盤沈下を防止する。				
取組内容・実績	新橋、総合高校、駅裏及び東部公園観測所の4か所で地盤沈下、地下水水位等の監視を実施した。				
成 果	過剰なくみ上げによる地盤沈下の抑制を行い、地盤の沈下状況を把握することで、生活環境の保全を図ることができた。				
課題・今後の方向性	設置されている機器等の経年劣化等が生じている観測所があり、今後、正確な計測を実施するため、機器の更新を検討する。				

事務事業名	地球温暖化対策推進事業			決算書 掲載ページ	274
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	環境課	
目	04	環境衛生費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,035		894	0	141
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	894
目 的	地球温暖化対策実行計画に掲げる温室効果ガス排出量削減目標に向けて、市民の環境行動による削減を目的に、地球温暖化対策の意識啓発及び取組誘導を行う。				
取組内容・実績	小・中学校向けの環境教育プログラムを8校227人、保育園向けのエコ教室を3園182人、クリーンセンター見学時の講話を22団体744人に実施した。ノーマイカーウィーク&エコドライブモニターは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止したが、緑のカーテンには57件の参加があった。				
成 果	啓発活動等により、市民一人一人が地球温暖化に対して問題意識を持ち、持続可能な環境づくりに向け、自分でできる環境対策を考え、実践する意識付けを行うことができた。				
課題・今後の方向性	温暖化対策は事業所、家庭、一人一人が自分事として捉え、実践することが大切であり、温暖化による影響や対策の重要性を啓発する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-1 地球温暖化対策を進める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-1 地球温暖化対策を進める

事務事業名	ECO2プロジェクト事業			決算書 掲載ページ	274
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	環境課	
目	04	環境衛生費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,614		782	0	832
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	782
目 的	事業者が行う環境活動をポイント制による補助金で支援することにより、本市の地球温暖化対策や環境保全の組織的な活性化を図る。				
取組内容・実績	市内232事業者が参加登録し、緑のカーテン57社、省エネモニター7社、環境活動報告1社などのポイント対象行動が実施された。18件の環境対策設備等の導入に対して、723、283ポイント分の補助金を交付した。				
成 果	補助金の交付により、市内事業者が環境対策に理解を示しながら、組織的に環境活動を活性化することができた。				
課題・今後の方向性	新規登録事業者の掘り起こしや対象環境活動、申請手続等の見直しを検討する。				

事務事業名	低炭素型設備機器導入補助事業			決算書 掲載ページ	274
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	環境課	
目	04	環境衛生費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,701		5,606	0	95
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	5,606
目 的	温室効果ガス排出量削減に有効な設備機器の導入を支援し、普及を図る。				
取組内容・実績	低炭素型創エネ・省エネ機器導入については、27件（燃料電池設備12件、太陽光発電+HEMS+蓄電池6件、HEMS+蓄電池5件、木質バイオマスストーブ4件）、電気自動車等の購入については、2件に補助金を交付した。				
成 果	補助金の交付により、市内の家庭及び事業所に省エネ設備機器設備を普及することができ、市域の温室効果ガス排出量の削減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	再生可能エネルギーや省エネの更なる普及を後押しするように補助金制度を継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-1 地球温暖化対策を進める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1 『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 健康を守る基盤を堅持する

事務事業名	急速充電器整備事業			決算書 掲載ページ	276
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	環境課	
目	04	環境衛生費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,720		3,719	0	1
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	3,719
目 的	急速充電器を整備することで、地球温暖化防止に寄与する。				
取組内容・実績	新庁舎駐車場に3台の急速充電器を整備した。				
成 果	充電ポイントを整備し、電気自動車を利用しやすい環境を整備し、更なる普及を図ることで、地球温暖化防止に寄与した。				
課題・今後の方向性	目的達成のため、令和2（2020）年度で終了する。				

事務事業名	休日急患診療所管理運営費			決算書 掲載ページ	280
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	06	休日急患診療所費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,880		6,594	0	286
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	1,199	5,395
目 的	休日における歯科診療の機会を確保することにより、市民の健康維持、増進を図る。				
取組内容・実績	柏崎・刈羽地域の歯科救急医療施設として日曜・祝日など、歯科休日急患診療所を開設（69日）し、95名（うち健診14名）が受診した。				
成 果	柏崎・刈羽地域の休日の歯科救急医療体制を整備することにより、市民の健康増進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	今後も継続して、柏崎・刈羽地域の歯科救急医療施設として日曜・祝日などに歯科休日急患診療所を開設する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 健康を守る基盤を堅持する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-2 資源を有効活用する

事務事業名	休日・夜間急患センター運営費			決算書 掲載ページ	280
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	06	休日急患診療所費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	38,979		38,617	0	362
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	3,657	34,960
目 的	休日・夜間の医療体制の整備を図り、市民の健康維持、増進を図る。				
取組内容・実績	休日・夜間急患センターは、延べ702名（315日開設）、院外薬局は、延べ509名（312日開設）が利用した。				
成 果	休日・夜間急患センターと休日・夜間急患センター院外薬局の運営費を補助し、休日・夜間の初期救急医療体制を確保した。				
課題・今後の方向性	柏崎・刈羽地域の休日・夜間の救急医療体制として、今後も継続して休日・夜間急患センター及び休日・夜間急患センター院外薬局に対して補助金を交付する必要がある。				

事務事業名	ごみ減量化・リサイクル対策費			決算書 掲載ページ	282
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	01	清掃総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	38,558		35,524	0	3,034
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	35,524
目 的	循環型社会への移行を実現するため、ごみの発生抑制、資源の再使用と再生利用により、資源の有効活用を総合的に進め、3R（スリーアール）を推進する。				
取組内容・実績	柏崎市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画を改定した。 新たに使用済インクカートリッジを加え、資源物の分別収集を行いリサイクル処理した。 ごみの総排出量は、26,777tで1,082t減少、資源物の収集量は、5,309tで89t増加し、リサイクル率は、前年度比1.1%増加の19.8%となった。 有価物の売却額は、11,461千円となり、令和元（2019）年度に比べ、18,134千円の減少となった。				
成 果	令和7（2025）年度までの計画を策定した。 廃棄物の適切な排出と処理を推進し、ごみの総排出量の減量を行うことができた。また、資源物の収集を行い、再生利用事業者へ引き渡し、資源化することができた。				
課題・今後の方向性	資源化率の横ばい状態が続いていることから、食品ロスの削減等によるごみの発生抑制に取り組んでいく必要がある。また、資源物として収集する品目の追加を検討する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-3 美しい自然を守る

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-3 美しい自然を守る

事務事業名	海岸清掃費			決算書 掲載ページ	284
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	01	清掃総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	16,131	15,053	0	1,078	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	9,130	0	0	5,923	
目 的	海岸線の環境保全、美観保持を推進する。				
取組内容・実績	<p>事業者に委託し、人力及びビーチクリーナーにより海岸の清掃を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人力による作業：延べ80日間、収集量155,310kg ・ビーチクリーナーによる作業：延べ114日間、収集量12,190kg 				
成 果	海洋プラスチックごみの削減を含めた海岸の美化と環境の保全に寄与した。				
課題・今後の方向性	海岸漂着物対策は、広域的な問題であり、国県と連携し、地元町内会や企業等によるボランティア清掃活動と重複しないよう調整を図りながら、引き続き、清掃と美化に努める。				

事務事業名	クリーンデー柏崎事業			決算書 掲載ページ	284
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	01	清掃総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	1,890	1,861	0	29	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	1,861	
目 的	地域の環境美化と美化意識を高める。				
取組内容・実績	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、全市一斉のクリーンデー柏崎は中止とし、町内会が独自で実施する清掃活動を支援した。				
成 果	町内会独自の清掃活動を支援することにより、地域の環境美化と美化意識を高めることができた。				
課題・今後の方向性	コロナ禍においても、クリーンデー柏崎が安心して実施できるよう、市民に対し、感染症予防対策を周知し、引き続き、地域の環境美化と美化意識を高める必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-2 資源を有効活用する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-2 資源を有効活用する

事務事業名	ごみ減量・リサイクル対策補助事業			決算書 掲載ページ	284
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	01	清掃総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	200		50	0	150
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	50	0
目 的	廃棄物の適切な分別のために町内会資源物ステーションの設置を補助し、市民が自ら分別処理を行うことにより、廃棄物の減量及び資源の有効利用を推進する。				
取組内容・実績	町内会の資源物ステーション設置補助として、1町内会に50,000円を補助した。				
成 果	町内会の資源物ステーション設置費用を補助することにより、資源物回収活動の円滑化を図ることができた。				
課題・今後の方向性	補助金制度の更なる周知により、利用を促進する必要がある。				

事務事業名	ごみ収集委託費			決算書 掲載ページ	286
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	02	塵芥処理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	202,126		202,081	0	45
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	58,994	143,087
目 的	廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、一般廃棄物の処理は市の責務とされており、家庭から排出される廃棄物を適正に収集・運搬する。				
取組内容・実績	収集業務を委託し、燃やすごみ11,844t、燃やさないごみ463t及び資源物3,730tを収集した。				
成 果	家庭から排出された資源物及びごみを適正に収集運搬することにより、地域の環境保全を図ることができた。				
課題・今後の方向性	一般廃棄物（ごみ）処理基本計画に基づき、適正な収集体制を維持するための方策を検討する。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-2 資源を有効活用する

事務事業名	ごみ処理施設整備事業			決算書 掲載ページ	286
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	02	塵芥処理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	165,000		149,710	0	15,290
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	140,000		0	4,970	4,740
目 的	ごみ処理施設及び粗大ごみ処理施設の能力維持のため、定期的なオーバーホールを行う。				
取組内容・実績	ごみ処理施設及び粗大ごみ処理施設のオーバーホールを実施した。				
成 果	オーバーホールにより、ごみ処理施設及び粗大ごみ処理施設の機能を維持することができた。				
課題・今後の方向性	施設の老朽化に伴い、より適切な維持管理が必要となる。				

事務事業名	ごみ収集事業			決算書 掲載ページ	288
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	02	塵芥処理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	42,812		41,457	0	1,355
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	40,207	1,250
目 的	ごみ・粗大ごみの収集運搬に係る業務を実施する。				
取組内容・実績	ごみの指定袋及び粗大ごみ処理券を作成した。 ごみの収集計画を立て、ごみ収集カレンダーを作成し、全世帯に配布した。				
成 果	ごみの指定袋及び粗大ごみ処理券を作成することにより、収集業務を円滑に実施することができた。また、ごみ収集カレンダーを全世帯に配布し、資源物・ごみの収集を滞りなく実施することができた。				
課題・今後の方向性	一般廃棄物（ごみ）処理基本計画に基づき、収集業務を適切に管理する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-2 資源を有効活用する

事務事業名	ごみ処理施設建設事業			決算書 掲載ページ	288
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	02	塵芥処理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	13,776		12,653	0	1,123
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,899		0	384	8,370
目 的	一般廃棄物の適正処理を行うため、新ごみ処理施設を建設する。				
取組内容・実績	新ごみ処理施設の建設事業を推進するため、建設用地の測量、地歴調査及び新ごみ処理場のPFI等可能性調査を実施した。				
成 果	測量により、敷地周辺の境界を確認し、縦横断面図を作成した。地歴調査により、土壌汚染状況調査は不要であることを確認した。PFI等可能性調査により、新ごみ処理場の事業方式は、DBO方式（行政が資金調達を負担し、設計・建設・運営を民間に委託する方式）が優位であることを確認した。				
課題・今後の方向性	新ごみ処理施設の建設のため、施設の仕様や運営方法について決定する必要がある。				

事務事業名	ごみ最終処分事業			決算書 掲載ページ	288
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	02	塵芥処理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	57,449		54,205	0	3,244
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	19,470	34,735
目 的	一般廃棄物最終処分場の適正管理を図る。				
取組内容・実績	一般廃棄物2,434t(2,198㎡)の最終処分を行った。				
成 果	一般廃棄物最終処分場を適正管理し、中間処理施設から排出された埋設物2,434tを最終処分することができた。				
課題・今後の方向性	埋立量が減少傾向の中、現在埋立中の2号ピットと今後埋立てを開始する1号ピットの効率的な利用を検討する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

事務事業名	ごみ最終処分場整備事業			決算書 掲載ページ	290
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	02	塵芥処理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,979		2,068	0	911
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	63	2,005
目 的	一般廃棄物の適正処理を行うため、最終処分場の維持管理と施設の延命化を図る。				
取組内容・実績	水処理で発生した汚泥を処理する脱水機のオーバーホールを実施したほか、一般廃棄物最終処分場維持管理補修整備計画を策定した。				
成 果	オーバーホールにより、経年劣化した設備を更新し、一般廃棄物を適正に処理することができた。一般廃棄物最終処分場維持管理補修整備計画策定により、将来的な補修整備スケジュール及び補修整備に係る概算費用を確認した。				
課題・今後の方向性	施設の延命化と安定処理を図るため、上部ピットと下部ピットを効率的に埋め立てる必要がある。				

事務事業名	し尿処理施設整備事業			決算書 掲載ページ	292
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	03	し尿処理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	118,100		117,535	0	565
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	17,796	99,739
目 的	し尿処理施設の能力維持のため、定期的なオーバーホールを行う。				
取組内容・実績	オーバーホールを実施するとともに、計装設備の修繕を行った。				
成 果	オーバーホールの実施及び計装設備の修繕により、施設の機能維持及び延命化を図ることができた。				
課題・今後の方向性	し尿処理場の整備方針として、自然環境浄化センター敷地内に、し尿受入施設を新設することが決定しているが、施設が稼働するまでの間、現し尿処理場の機能維持に努める必要がある。				

5 款 労働費

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

事務事業名	雇用促進事業			決算書 掲載ページ	296
款	05	労働費	会 計	一般会計	
項	01	労働諸費	担 当	商業観光課	
目	01	労働諸費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	3,999	2,637	0	1,362	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	2,637	
目 的	柏崎職安管内の労働力の確保と定着及び労働者の福祉の向上を図る。				
取組内容・実績	柏崎職安管内雇用促進協議会の事業費の一部を負担し、管内企業説明会（7月：高校3年生、3月：大学生等）やコロナ禍におけるオンラインツールの活用に向けたセミナーを3テーマに分け実施した（延べ45名参加）。また、市内中小企業者等に対し、就職情報ポータルサイトでの情報発信に係る経費を助成した（助成事業所数：1社）。				
成 果	柏崎職安管内企業と高校生、大学生等の面談の機会をそれぞれ設けること及び企業の情報発信を促進することにより、地元企業への就職を促進することができた。				
課題・今後の方向性	少子高齢化や人口減少とともに若者の市外流出が顕著となる中、若年者の地元定着とU・Iターンを促進するため、本事業を継続する。特に、人材確保を目指す事業者に向けた支援を実施する。				

事務事業名	若年者就労支援事業			決算書 掲載ページ	296
款	05	労働費	会 計	一般会計	
項	01	労働諸費	担 当	商業観光課	
目	01	労働諸費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	9,322	9,215	0	107	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	9,215	
目 的	対象者の職業マッチングを支援し、就労促進と雇用の安定化を図る。				
取組内容・実績	ハローワーク柏崎と連携し、まちなかに就労ワンストップ窓口「ワークサポート柏崎」を設置した。職業相談員を配置し、求人情報の提供、就職サポート相談、職業適性検査、就職支援セミナー等の就労支援を行った。 職業相談件数：1, 186件、セミナー回数：18回、57名参加				
成 果	専門知識を有する相談員の配置や、就職支援セミナーを実施することにより、26名の相談者を就職につなげることができた。				
課題・今後の方向性	相談実施の後、求人への応募活動まで至らない利用者も一定数いることから、セミナーの実施や他機関との連携を図りながら、利用者に合わせた支援を実施する。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-2 大学を活かし『柏崎らしさ』をはぐくむ
	⑤-2-1 地（知）の拠点を活かした取組を進める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

事務事業名	大学生就職促進事業			決算書 掲載ページ	296
款	05	労働費	会 計	一般会計	
項	01	労働諸費	担 当	商業観光課	
目	01	労働諸費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,000		2,730	0	1,270
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	2,730
目 的	市内2大学を卒業する学生の就職率の向上を図るとともに、地元企業への就職を促す。				
取組内容・実績	市内2大学において、市内企業等への求人開拓及び学生に対する就職相談などを行う就職支援相談員を雇用するための経費や学生の市内就職を促す事業に要した費用の3分の2（上限200万円）を補助した。				
成 果	市内2大学から17人が柏崎刈羽地区に就職し、若者の地元定着を図ることができた。				
課題・今後の方向性	当事業により、学生への就職支援の基盤づくり（就職支援員の配置等）ができたため、令和2（2020）年度で終了する。				

事務事業名	女性活躍推進事業			決算書 掲載ページ	296
款	05	労働費	会 計	一般会計	
項	01	労働諸費	担 当	商業観光課	
目	01	労働諸費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,000		130	0	1,870
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	130
目 的	女性が働きやすい職場づくりを促進することにより、女性の活躍推進を図る。				
取組内容・実績	企業が実施するソフト・ハード事業に対して助成金を1件交付したほか、企業訪問を行い、助成金の周知を行った。				
成 果	女性用制服購入への補助により、女性が働きやすい職場環境の整備を促進することができた。				
課題・今後の方向性	制度の利用が数件にとどまっているため、引き続き制度の周知に努めるほか、制度を活用しやすくできるように内容を検討、変更する。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

事務事業名	障がい者活躍推進事業			決算書 掲載ページ	296
款	05	労働費	会 計	一般会計	
項	01	労働諸費	担 当	商業観光課	
目	01	労働諸費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	3,121	2,931	0	190	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	2,931	
目 的	企業における障がい者雇用の経験やノウハウを活用して、障がい者雇用に取り組もうとする事業者への支援を行う。				
取組内容・実績	障がい者雇用の啓発・促進を目的としたセミナーの開催や事業所からの障がい者雇用に関する相談に対応する障がい者活躍推進アドバイザーの派遣（8件）を委託実施した。また、国の障害者トライアル雇用助成金を利用し、障がい者を雇用した市内事業所に対し、補助金を交付した（交付事業所数：延べ7事業所）。				
成 果	セミナーでは、事業者の障がい者雇用に対する意識を高めることができた。また、助成金の交付により、障がい者雇用を促進することができた。				
課題・今後の方向性	引き続き、事業者に対し、障がい者雇用への取組を働きかけるとともに、アドバイザーの利用促進を図る。				

事務事業名	職場環境づくり推進事業			決算書 掲載ページ	296
款	05	労働費	会 計	一般会計	
項	01	労働諸費	担 当	商業観光課	
目	01	労働諸費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	2,900	2,800	0	100	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	2,800	
目 的	仕事と家庭の両立を支援し、職場環境を整備した上で優秀な人材を確保する。				
取組内容・実績	仕事と家庭の両立支援奨励金を11件交付した。また、令和元（2019）年度で終了し経過措置中の育児休業代替要員確保事業補助金を2件交付した。				
成 果	仕事と家庭の両立を支援することにより、働きやすい職場環境づくりを図ることができた。				
課題・今後の方向性	引き続き、仕事と家庭の両立を支援することにより、男性の育児休業や介護休業等取得しやすい職場環境の整備を促進する。				

6 款 農林水産業費

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	緊急雇用対策事業			決算書 掲載ページ	298
款	05	労働費	会 計	一般会計	
項	01	労働諸費	担 当	商業観光課	
目	01	労働諸費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	15,000	11,500	0	3,500	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	11,500	0	0	0	
目 的	ハローワーク柏崎管内の労働力の確保を図るため、新型コロナウイルス感染症の影響により雇用調整助成金の申請を行う事業者に対し、給付金を支給する。				
取組内容・実績	230件の事業所に対し、給付金を支給することができた。				
成 果	ハローワーク柏崎管内の雇用維持を図ることができた。				
課題・今後の方向性	新型コロナウイルス感染症による雇用情勢の影響について、引き続き注視する必要がある。				

事務事業名	水田農業推進事業			決算書 掲載ページ	304
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	02	農業総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	7,031	7,031	0	0	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	0	0	0	7,031	
目 的	循環型農業を推進するため、生産者が有機100%肥料やたい肥を使って取り組む土づくりの費用を支援する。				
取組内容・実績	農家・農業法人が施用した有機100%肥料の購入費の一部について、66件、700万円補助した。				
成 果	循環型農業推進事業補助金の交付により、環境負荷が少ない循環型農業の推進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	消費者の農作物への安全性に対する関心は高く、引き続き循環型農業への取組を推進する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	環境保全型農業直接支払交付金事業			決算書 掲載ページ	304
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	02	農業総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	15,472		11,199	0	4,273
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	11,147		0	0	52
目 的	地球温暖化対策や生物多様性保全などに効果の高い営農活動に取り組む農業者を支援する。				
取組内容・実績	環境保全型農業直接支払交付金を活用し、48の農業者が224haの農地で、循環型農業に取り組んだ。				
成 果	環境負荷が少ない農業に取り組むことで、消費者が求める食の安全につながったことに加え、農業者の環境保全に対する意識醸成を図ることができた。				
課題・今後の方向性	環境保全型農業はSDGsの観点からも積極的に取り組む必要があり、農作物の収量などとの関連性を検証しながら、取組農業者数の増加に努めなければならない。				

事務事業名	柏崎産米ブランド化推進事業			決算書 掲載ページ	304
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	02	農業総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	15,015		10,163	0	4,852
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,133		0	6,000	2,030
目 的	柏崎市認証米「米山プリンセス」のブランド力を高め、有利販売に向けた販売戦略強化を図る。あわせて、栽培に取り組む農家の農業所得の向上を目指す。				
取組内容・実績	27の農業者が、83.9haの農地で柏崎市認証米「米山プリンセス」の生産に取り組んだ。このうち、5者、7tが令和2(2020)年産米山プリンセスに認証された。また、消費者の客観的な評価を得るために市場調査を行った。				
成 果	高価格米市場において、一定の需要があることが見込まれ、首都圏のアンテナショップや飲食店で取り扱っていただいた。また、認証者への直接注文もあり、ブランド米として有利販売につなげることができた。				
課題・今後の方向性	その年の気候条件などにより、米の品質が左右されるため、栽培技術の情報共有が必要である。また、高価格米市場は全国各地のブランド米による販売競争が激化していることから、確固たるブランド力の向上と周知を図る必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	柏崎市地域農業再生協議会支援事業			決算書 掲載ページ	304
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	02	農業総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,577		5,577	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	5,577
目 的	経営所得安定対策の推進と、これを円滑に実施するための柏崎市地域農業再生協議会を支援して、地域農業の振興を図る。				
取組内容・実績	柏崎市地域農業再生協議会へ負担金を支出することで、対象作物の生産数量目標の設定、病虫害防除等の活動を円滑に進めることができた。				
成 果	柏崎市地域農業再生協議会が中心となり、農業者へ需要に応じた米作りの指導や申請事務等支援を行うことで、経営所得安定対策が円滑に実施された。				
課題・今後の方向性	米の需給見通しが不透明にある中、国の米政策や米価の情報を収集し、農業者へ周知や指導を行う必要がある。また、ほ場の作付面積の整合性を調査することが課題となっている。				

事務事業名	経営所得安定対策推進事業			決算書 掲載ページ	304
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	02	農業総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,527		7,562	0	965
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	7,562		0	0	0
目 的	経営所得安定対策の周知や申請事務等の農家支援により、加入者の促進、戦略作物の生産振興を図る。				
取組内容・実績	柏崎市地域農業再生協議会が実施する経営所得安定対策事業に係る経費を補助した。				
成 果	経営所得安定対策事業を実施することにより、主食用米の需給に応じた生産調整を図るとともに、非主食用米や園芸戦略作物への作付転換を斡旋し、農業者の所得安定を図ることができた。				
課題・今後の方向性	米づくりの全国的な状況を見極め、適正な戦略作物の導入・栽培に取り組み、申請事務を円滑にして、農家の所得向上につなげる必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	中核後継者育成対策事業			決算書 掲載ページ	308
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	170		50	0	120
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	50
目 的	農業の担い手が組織する柏崎市認定農業者連絡協議会の自立を支援して、担い手農業者を育成する。				
取組内容・実績	協議会に所属する139の個人農家・農業法人が、研修会などを通じて経営の効率化や栽培技術の向上に取り組んだ。				
成 果	柏崎市認定農業者連絡協議会の活動経費を助成し、研修会の開催や作物の栽培技術などの最新情報を周知して、担い手農業者を育成した。				
課題・今後の方向性	協議会の会員数が、ここ数年伸びていないため、協議会活動の検証を行い、農家にとって有益な研修会などを企画する必要がある。				

事務事業名	農林水産業総合振興事業			決算書 掲載ページ	308
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	14,507		13,231	0	1,276
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	13,231		0	0	0
目 的	農業者や農業法人が、規模拡大等に必要な施設・機械整備を行う場合に、費用の一部を助成し、支援する。				
取組内容・実績	新潟県農林水産業総合振興事業費補助金を活用し、2つの農業法人等に対し、田植え機、トラクター及びコンバインなどの農業機械購入費用を補助した。				
成 果	農業機械導入による作業効率向上と継続的な営農体制の構築が図ることができた。				
課題・今後の方向性	農地集積や規模拡大を目指す農業者ニーズに対応した事業展開を行い、作業の省力化を図るほか、持続的な農業基盤の構築に努める必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	鳥獣被害対策事業			決算書 掲載ページ	308
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,725		5,415	0	310
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	49		0	0	5,366
目 的	有害鳥獣による農業被害と生活被害の防止を図る。				
取組内容・実績	柏崎市有害鳥獣被害対策協議会では、市や関係団体からの負担金や国の補助金を活用し、防護用電気柵を新規に27か所46,830m整備した。また、当該協議会事業や狩猟等を含めイノシシを440頭捕獲した。4名に対し、第1種銃猟狩猟免許等の取得に係る支援を行った。				
成 果	駆除・啓発・防止活動を行う柏崎市有害鳥獣被害対策協議会に対して、運営経費を負担し支援することで、イノシシ等による農作物被害を軽減することができた。				
課題・今後の方向性	急増する有害鳥獣に対し農作物被害や生活被害を軽減するため、対策の強化が急務である。今後も引き続き防護柵整備による防護対策と捕獲による個体数管理、生活圏に野生鳥獣を寄せ付けないための環境整備を進め、総合的に有害鳥獣対策を図る必要がある。				

事務事業名	人・農地プラン推進事業			決算書 掲載ページ	308
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	358		299	0	59
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	299		0	0	0
目 的	地域農業の在り方や今後の地域の中心となる経営体を定めた人・農地プランの作成と見直しを行う。				
取組内容・実績	203集落が含まれた12の人・農地プランを作成した。				
成 果	アンケート調査を行い、集落の農地の活用と担い手への集積を進めるためのプランを作成することにより、集落内農業の見える化が進んだ。				
課題・今後の方向性	作成したプランが効果的に運用されるよう、農業関連機関が連携し、集落・担い手を支援する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	食の地産地消推進事業			決算書 掲載ページ	310
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,116		1,982	0	134
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	5	1,977
目 的	食の地産地消を推進することにより、食の安全・安心を求める消費者ニーズに応え、また生産者の所得向上を目指し、地域農業の発展につなげる。				
取組内容・実績	柏崎市食の地産地消推進条例に基づく「令和2（2020）年度柏崎市食の地産地消推進会議」を開催し、食の地産地消推進計画の進捗状況を調査審議した。				
成 果	食の地産地消推進会議委員から、学校給食を主とする食育の重要性や地場産品の利用促進に関する意見をいただき、地産地消をより推進すべく実効性のある施策を検討していくことになった。				
課題・今後の方向性	市内の農林水産業の状況や農畜産物・海産物を効果的に周知し、市民の食への関心を高めることが必要となる。				

事務事業名	食の地産地消啓発事業			決算書 掲載ページ	310
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	528		498	0	30
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	498
目 的	食の地産地消を広く市民に周知し、理解を深めてもらうため、イベントを開催して地元食材の良さをPRする。また、地場産食材の消費拡大につなげる場とする。				
取組内容・実績	食の地産地消推進店に新規の登録が1件あった。農業体験イベントを2回開催し、延べ43人の参加があった。				
成 果	秋の収穫祭は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったが、地場産品を取り扱うJA柏崎愛菜館などの売上高は増加しており、市民の地場産食材への関心が高まった。				
課題・今後の方向性	イベント、体験会の開催については、新型コロナウイルス感染症の動向を見据え、その予防対策を講じた上で、実施に向けた検討を行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	機構集積協力金交付事業			決算書 掲載ページ	310
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	9,751		8,094	0	1,657
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	6,542		0	1,552	0
目 的	農地中間管理機構を活用して、人・農地プランに位置付けられた地域の中心となる経営体に、農地が集積・連担化された場合に、協力金を交付する。				
取組内容・実績	人・農地プランにより位置付けられた地域及び中心経営体の支援を行うため、農地中間管理機構を活用して農地を貸し付けた地域及び個人に対して、次のとおり協力金を交付した。 経営転換協力金 24件 2,112千円 地域集積協力金 2件 4,401千円 県へ返還した交付金 7件 1,552千円				
成 果	担い手農家に、農地集積による経費の節減と、農業所得の向上に寄与した。				
課題・今後の方向性	担い手への農地の集積を進め、関連する支援事業との連携をする必要がある。				

事務事業名	地域営農支援事業			決算書 掲載ページ	310
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,325		5,336	0	989
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	5,336
目 的	農家の複合経営を推進するため、営農組織の設立や設備整備のための補助金を交付する。				
取組内容・実績	農家・農業法人に対して、園芸振興施設整備として7件、六次産業化支援として1件補助金を交付して支援した。				
成 果	補助事業で園芸用ハウスが建設されたことにより、園芸振興と農家の複合経営を図ることができた。				
課題・今後の方向性	農家・農業法人が適正な規模拡大ができるように、関係機関と連携し、慎重に施設整備や機械導入の計画審査と指導をする必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

事務事業名	青年就農支援事業			決算書 掲載ページ	310
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	12,000		9,000	0	3,000
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	9,000		0	0	0
目 的	独立経営を開始した農業者の経営が安定するまでの期間として、最大5年間支援することにより、青年の就農意欲の喚起と、就農後の定着を図る。				
取組内容・実績	今後の地域の中心となる満50歳未満の6人の独立就農者に対して、活動資金を交付した。				
成 果	年間最大150万円の活動資金を交付することにより、就農者の営農活動が活性化した。				
課題・今後の方向性	対象者に活動資金だけでなく、他の補助事業などを周知し、より安定した経営ができるように、関係機関と連携し指導する必要がある。				

事務事業名	新規就農者育成支援事業			決算書 掲載ページ	310
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,720		450	0	2,270
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	450
目 的	農業生産技術や経営のノウハウなど、就農に必要な技術を取得するための研修費を助成することにより、新規就農者の育成支援を図る。				
取組内容・実績	農業法人等が新規就農者を新たに雇用して実施する就農に必要な技術を習得するための研修事業1件に対し、その費用の一部を助成した。				
成 果	市内の農業法人が取り組んだ研修事業への助成により、新規就農者の技術向上に寄与した。				
課題・今後の方向性	新規就農者に対し、関係機関と連携し指導と支援をする必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	U・Iターン者新規就農支援事業			決算書 掲載ページ	310
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	900	570	0	330	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	570	
目 的	新規就農希望者の確保と移住・定住を促進させるため、必要経費を補助する。				
取組内容・実績	2件の新規就農者に、農業機械の導入費用を補助した。				
成 果	市外から市内に移住してきた新規就農者に対して、農機具・農地の購入費や借地料などを補助することにより、経営が安定して定着につながった。				
課題・今後の方向性	新規就農者の自立に必要な機械、設備、農地などの取得について、関係機関と連携し指導する必要がある。				

事務事業名	農業施設改修事業			決算書 掲載ページ	314
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	69,459	65,540	0	3,919	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	65,540	
目 的	集落で管理している農道、水路などの施設について、集落で行う修繕工事費用の一部を負担することにより、農業生産基盤の確保を図る。				
取組内容・実績	農家組合等の団体が実施した29件の修繕工事に対し、費用の一部を負担した。				
成 果	修繕工事費用の一部負担を行ったことにより、農家組合等の団体の費用負担を軽減し、農業基盤の確保に寄与した。				
課題・今後の方向性	集落における世帯数の減少が予想されるため、適正な維持管理を継続していくための検討が必要である。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	一般団体営土地改良事業			決算書 掲載ページ	316
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	20,000		19,934	0	66
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	19,934
目 的	農業団体が行う土地改良事業の負担軽減と農業経営の安定化を図る。				
取組内容・実績	地元農業団体が実施した軽微な用排水路や農道等の修繕30件に補助金を交付した。				
成 果	農業生産基盤の整備、改修及び修繕に要する経費を補助することで、経費負担の軽減と農業経営の安定化に寄与した。				
課題・今後の方向性	農管用施設の老朽化が進んでいるため、多くの事業要望があり、事業の導入に際しては、優先順位を付けて、事業を実施する必要がある。				

事務事業名	農用地高度化事業			決算書 掲載ページ	316
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	11,518		8,045	2,959	514
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	8,045
目 的	ほ場整備事業が実施されない地域における意欲ある農業者を支援し、担い手の確保と地域農業の維持を図る。				
取組内容・実績	農地区画の拡大集積や附帯施設の改良等の事業4件に補助金を交付した。				
成 果	農用地の小規模な基盤整備等により、生産性の高い農用地が拡大し、作業の効率化や農業経営の安定化を図ることができた。				
課題・今後の方向性	事業の導入に際しては、ほ場整備事業導入の可能性について検討の上、ほ場整備事業の補完を前提として適用する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	農村振興総合整備事業－上条			決算書 掲載ページ	316
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	134,590		103,721	24,335	6,534
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	69,120		19,300	0	15,301
目 的	上条地区の各種農業用施設を整備することにより、農業生産基盤及び農村生活環境の改善・向上を図る。				
取組内容・実績	<p>【現年度予算】 排水路1路線の用地測量業務委託を実施した。また、集落道3路線の用地買収、物件補償を実施し、集落道3路線と排水路1路線の工事に着手した。</p> <p>【繰越明許予算】 集落道1路線、排水路1路線の用地買収を実施した。また、集落道1路線の物件補償を実施した。</p>				
成 果	業務委託、用地買収及び物件補償の実施により、集落道3路線と排水路1路線の改良工事に着手し、次年度以降の事業進捗に寄与した。				
課題・今後の方向性	上条地区の農村生活環境を早期に改善するため、関係機関と連携を図りながら、各種整備事業の進捗を図る必要がある。				

事務事業名	農村整備事業			決算書 掲載ページ	318
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,800		6,743	0	57
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,205		3,600	0	938
目 的	農業用施設の改修工事を行うことにより、施設の機能を維持し農業生産基盤及び農業生活環境の改善・向上を図る。				
取組内容・実績	農免農道西中通線の舗装改修（L＝190.0m）を実施した。				
成 果	舗装改修により、農業生活環境の改善を図ることができた。				
課題・今後の方向性	交通量の増加や経年劣化による道路の損傷が進んでいることから、継続的な補修を計画的に実施する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	農業基盤整備事業			決算書 掲載ページ	318
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,500		5,411	0	89
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,000		0	0	3,411
目 的	土砂崩落箇所の地すべり対策を行うことにより、下流域への被害を防止する。				
取組内容・実績	西長島地区の土砂崩落箇所において、地すべり防止工事を実施した。				
成 果	地すべり防止の実施により、下流域のJR信越本線及び宅地の安全性を確保することができた。				
課題・今後の方向性	目的達成のため、令和2（2020）年度で終了する。				

事務事業名	土地改良施設維持管理適正化事業			決算書 掲載ページ	318
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	44,591		43,926	0	665
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	23,400	20,526
目 的	基幹農業水利施設の改修・補修により、施設機能を維持するとともに、耐用年数の延伸を図る。				
取組内容・実績	長嶺排水機場の除塵機の改修を実施した。				
成 果	施設改修の実施により、排水機場機能・能力を維持することができた。				
課題・今後の方向性	基幹農業水利施設の改修・補修により施設機能を維持するために、計画的に事業導入を検討する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業			決算書 掲載ページ	318
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	16,368		15,874	0	494
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	11,280		0	0	4,594
目 的	農業用排水路における水難事故への対策を行うことにより、農業用施設の減災対策の推進を図る。また、豪雨などでため池が決壊した場合に人的被害のおそれがある防災重点ため池は、速やかにハザードマップを作成し、地域に応じた防災・減災対策を進める。				
取組内容・実績	新道排水路脇の安全施設（転落防護柵L＝206.0m）を改修した。防災重点ため池においては、5か所のハザードマップを作成した。				
成 果	防護柵を設置したことにより、農業用排水路の水難事故防止対策を図ることができた。また、ハザードマップを作成し、周辺住民に周知したことにより、地域における防災・減災についての啓発を進めることができた。				
課題・今後の方向性	農業用排水路において、防護柵の未設置区間が多数あるため、国の補助制度を利用し、優先度を決め計画的に行う必要がある。ハザードマップにおいては、今後も新潟県と合同で調査を行い、防災重点ため池の選定を行う必要がある。				

事務事業名	団体営ストックマネジメント事業			決算書 掲載ページ	318
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	156,965		93,801	62,013	1,151
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	65,877		16,500	0	11,424
目 的	基幹農業水利施設の機能・能力の確保・維持と、耐用年数の延伸を図る。				
取組内容・実績	<p>【現年度予算】</p> <p>春日排水機場の電気設備更新のため、変圧盤の製作を行った。また、宮場排水機場の電気設備を更新するための電気設備改修設計業務委託を実施した。</p> <p>【繰越明許予算】</p> <p>春日排水機場の電気設備更新のため、受電盤製作を実施した。また、宮場排水機場の1号ポンプ改修を実施した。</p>				
成 果	施設の改修により、排水機場の機能・能力を維持することができた。				
課題・今後の方向性	基幹農業水利施設の機能を維持するために、計画的に長寿命化対策の事業導入を検討する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	農村地域防災減災事業			決算書 掲載ページ	318
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	20,760		20,638	0	122
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	16,000		0	0	4,638
目 的	湛水対策として、現地の調査及び計画設計を実施することにより、事業採択に向けた資料を作成する。				
取組内容・実績	中鯖石地区湛水対策事業における調査及び計画設計を実施した。				
成 果	調査及び計画設計を実施し、事業化されることにより、将来的な農地や住宅への被害の軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	目的達成のため、令和2（2020）年度で終了する。				

事務事業名	農業水利施設安全対策推進事業			決算書 掲載ページ	318
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	30,900		25,622	0	5,278
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	25,200		0	0	422
目 的	農業用排水路における水難事故への対策を行うことにより、農業用施設の減災対策の推進を図る。				
取組内容・実績	県との合同調査により、安全施設の設置が必要と認められた農業用排水路に転落防護柵を設置した（春日排水路L=345.0m、新道排水路L=163.0m、土合新田排水路L=68.0m）。				
成 果	安全施設が未整備の農業用排水路に転落防止柵を設置したことにより、水難事故への減災対策が推進された。				
課題・今後の方向性	目的達成のため、令和2（2020）年度で終了する。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	多面的機能支払交付金事業			決算書 掲載ページ	320
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	239,842		217,937	0	21,905
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	161,918		0	5	56,014
目 的	地域の農地・農業用水等の資源の保全管理や農村環境の保全と水路・農道等の農業施設の長寿命化を図る。				
取組内容・実績	97の活動組織(123集落)に農地・農業用施設及び農村環境の保全活動、水路・農道等の長寿命化の活動支援として交付金を交付した。 農地維持支払交付金 97組織 91,336千円 資源向上支払交付金 93組織 124,556千円				
成 果	多面的機能支払交付金の交付により、3,065ヘクタールの農地と周辺の農道・農業用水などが保全管理された。				
課題・今後の方向性	草刈りなどの保全活動に参加する担い手を確保することにより、今後も事業を継続し、農村環境の保全をする必要がある。				

事務事業名	中山間地域等直接支払制度事業			決算書 掲載ページ	322
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	06	中山間地域振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	130,987		127,853	0	3,134
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	85,281		0	0	42,572
目 的	担い手の高齢化、減少により耕作放棄地が増加することにより、多面的機能の低下が懸念されているため、補助金を交付し、農業生産条件の不利を補正する。				
取組内容・実績	26の集落協定により、56集落で751haの農地が管理された。				
成 果	農家等への補助金により、農業生産活動の維持を通じて、耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保した。				
課題・今後の方向性	担い手の減少と高齢化により、協定に参加する関係者が減少していることから、非農家を含め、新たな参加者の掘り起こしが必要である。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	森林病虫害防除事業			決算書 掲載ページ	326
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	02	林業費	担 当	農林水産課	
目	02	林業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,146		5,934	0	1,212
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,341		0	0	2,593
目 的	保安林の松くい虫の防除を実施して、被害の抑制を図る。				
取組内容・実績	無人ヘリコプター薬剤散布、地上薬剤散布業務33.5ha及び松くい虫被害木の伐倒駆除を55.8㎡実施した。				
成 果	保安林の松くい虫防除を実施して、被害の抑制を図ることができた。				
課題・今後の方向性	松くい虫の被害を抑制するためにも、継続的に実施する必要がある。				

事務事業名	森林整備地域活動支援交付金事業			決算書 掲載ページ	326
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	02	林業費	担 当	農林水産課	
目	02	林業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,160		1,556	0	604
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,167		0	0	389
目 的	間伐等の森林整備を推進するため、整備に必要な森林経営計画作成等の活動を助成し促進を図る。				
取組内容・実績	間伐等の森林整備を推進するために必要な森林経営計画作成等の活動経費を県からの補助金を含めて市が助成した。				
成 果	森林経営計画が作成され、間伐等の森林整備の推進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	更なる森林整備の推進のため、引き続き森林経営計画作成等の活動経費を助成する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	林道整備事業			決算書 掲載ページ	326
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	02	林業費	担 当	農林水産課	
目	02	林業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	21,320		14,034	4,024	3,262
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	5,697		0	0	8,337
目 的	林道を整備することにより、通行の安全を確保し、林業振興及び林道の利活用の推進を図る。				
取組内容・実績	県単補助事業を活用し、林道水上線、林道程平線、林道石曾根線の改良工事を実施した。				
成 果	林道の整備を実施することにより、林業従事者の走行の安全を確保し、木材運搬等の作業効率の向上に寄与した。				
課題・今後の方向性	林道の老朽化や天災による被害などにより、改良・補修工事が必要な路線が多いため、計画的に整備をする必要がある。				

事務事業名	市有林造林事業			決算書 掲載ページ	326
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	02	林業費	担 当	農林水産課	
目	02	林業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,355		2,821	0	534
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,477		0	0	344
目 的	市有林の造林事業を行い、市民の財産として森林整備を推進する。				
取組内容・実績	市有林において、下刈り1,28ha、間伐3,04haの施業を実施した。また、林内での作業を実施するため、作業道L=500mを造設した。				
成 果	森林整備を推進することにより、市民に森林整備の啓発を行うとともに、森林が持つ多面的機能の質的な向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	市有林のうち、主伐に適した林齢50年生以上の人工林が60%以上を占めており、今後計画的に主伐や間伐を進める必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	造林事業補助金			決算書 掲載ページ	326
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	02	林業費	担 当	農林水産課	
目	02	林業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,287		6,469	0	818
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	6,469
目 的	民有林の造林事業による森林整備を推進する。				
取組内容・実績	柏崎地域森林組合が行う民有林の造林事業に対して、県の補助に加えて市も補助金を交付し、市内の民有林47.60haの施業を実施した。				
成 果	民有林の下刈り、間伐等の造林事業への助成により、森林整備の推進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	今後とも、造林事業の集約化を図り、森林整備を推進する必要がある。				

事務事業名	水産資源保護培養事業			決算書 掲載ページ	328
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	03	水産業費	担 当	農林水産課	
目	02	水産振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,808		1,807	0	1
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,807
目 的	海面漁業の生産増大と内水面の水産資源の維持を図り、水産資源の保護培養を推進する。				
取組内容・実績	ヒラメの稚魚1万9千匹、アワビの稚貝2万3千個、アユの稚魚2万9千匹を購入し、放流した。				
成 果	海面において、各魚種とも安定した水揚げがあった。内水面においては、多くの釣り人が市内外から訪れた。				
課題・今後の方向性	県全体の取組のため、今後も活動を継続し、資源管理を行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	柏崎産ヒゲソリダイ養殖支援事業			決算書 掲載ページ	330
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	03	水産業費	担 当	農林水産課	
目	02	水産振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	782		672	0	110
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	672
目 的	ヒゲソリダイについて認知度向上を図るとともに、養殖の実現化を図る。				
取組内容・実績	養殖ヒゲソリダイを多くの市民から知ってもらうため、試食会を兼ねた講演会を実施した。				
成 果	あまり知られていなかったヒゲソリダイの認知度を向上することができた。				
課題・今後の方向性	更なる認知度向上のため、ヒゲソリダイの出荷量を増やす取組が必要である。				

事務事業名	漁業就業者支援事業			決算書 掲載ページ	330
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	03	水産業費	担 当	農林水産課	
目	02	水産振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,400		1,200	0	1,200
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,200
目 的	新規就業者に支援金を支給することで就業直後の収入の安定を図るとともに、漁船購入者に対して支援金を補助することで、経営の安定を図る。				
取組内容・実績	漁船を購入する漁師2人に支援金を支給した。				
成 果	支援金を支給することにより経営の安定化、就業の持続化につながった。				
課題・今後の方向性	新規就業者の増加を図るため、漁協と協力して支援事業のPRを行う。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	漁港整備補助事業			決算書 掲載ページ	332
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	03	水産業費	担 当	農林水産課	
目	04	漁港建設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	13,200		13,011	0	189
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	6,500		5,800	0	711
目 的	海岸の背後にある住宅を波の被害から守るため、海岸保全施設の老朽化対策工事を行い、施設の長寿命化を図る。				
取組内容・実績	高浜漁港海岸の護岸改修をL=5.3m実施し、石地漁港海岸の護岸改修の実施設計を行った。				
成 果	補助金の活用により、計画どおりの工事を実施し、施設の老朽化対策を図ることができた。				
課題・今後の方向性	今後、老朽化した施設が増加するため、優先順位を決定し、計画的に事業に取り組んでいく必要がある。				

事務事業名	漁港整備市費事業			決算書 掲載ページ	332
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	03	水産業費	担 当	農林水産課	
目	04	漁港建設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	25,382		25,315	0	67
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		18,800	5	6,510
目 的	漁港施設等の整備により、労働環境の改善など、漁業活動の向上を推進する。				
取組内容・実績	荒浜漁港の堆砂が進まないように浚渫工事V=6,850m ³ を行い、冬季の風浪による飛砂を防止するため海岸の緑化L=50mを実施した。				
成 果	漁業者の水揚げ作業の負担を軽減するため、漁港施設等を適正に維持管理し、作業効率が向上した。				
課題・今後の方向性	荒浜漁港の水域長寿命化計画に基づき、定期的に浚渫することによるライフサイクルコストの縮減、海岸の緑化工法を施工することによる堆砂除去費の軽減を図る必要がある。				

7款 商工費

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	地方産業育成資金貸付金			決算書 掲載ページ	336
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,800		1,800	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	900		0	900	0
目 的	市内中小企業者の資金調達を円滑にすることにより、中小企業の振興を図る。				
取組内容・実績	県や金融機関とともに、中小企業者への協調融資を行った。 ・令和3（2021）年3月末貸付残高 3件 8,239千円				
成 果	運転資金等に必要な融資を行うことで、中小企業の振興を図ることができた。				
課題・今後の方向性	今後も、中小企業者の資金需要に応えるため、継続する必要がある。				

事務事業名	中小企業等融資事業			決算書 掲載ページ	336
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,121,600		645,900	0	475,700
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	645,900	0
目 的	市内中小企業者などの資金需要に対応し、資金調達の円滑化と設備投資の促進を図る。				
取組内容・実績	中小企業者等の資金繰り需要に対応し、金融機関と協調融資を実施した。 ・新規借入実績 10件 116,100千円 ・令和3（2021）年3月末貸付残高 193件 950,233千円				
成 果	中小企業者などの資金調達を円滑にし、産業の振興を図ることができた。				
課題・今後の方向性	市内事業者の資金繰りを最優先に捉え、中小企業の存続、発展のため、現行の制度融資を継続して実施する必要がある。また、経済状況に即した適正利率を導入すべきか検討する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	県信用保証協会負担金			決算書 掲載ページ	336
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	132,000		33,327	0	98,673
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	33,327
目 的	資金借入時に係る負担を軽減することにより、中小企業者の資金繰りの安定と利便性を図る。				
取組内容・実績	市制度融資や県制度融資を借り入れる際の信用保証料の一部又は全部の補給を実施した。 ・補給実施件数 118件				
成 果	県制度融資の新型コロナウイルス感染症対策特別融資について、全額補給をすることで、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中小企業者の資金繰り支援を行うことができた。				
課題・今後の方向性	今後も、新型コロナウイルス感染症関連融資について、継続して補給を行う。また、設備投資促進資金等、その他の融資についても中小企業者の資金繰り安定のため、適宜内容を見直しながら継続する必要がある。				

事務事業名	制度融資利子補給金補助金			決算書 掲載ページ	336
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,301		5,948	0	353
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	5,948
目 的	中小企業者の資金調達に係る利子の負担を軽減することにより、資金繰りの安定と設備投資の促進を図る。				
取組内容・実績	意欲ある創業者や積極的な設備投資を図る中小企業又は新型コロナウイルス感染症の影響により、経営に支障を来している中小企業に対し、融資に係る利子の一部を補給した。 ・県セーフティネット資金（新型コロナウイルス感染症対策特別融資）利子補給 94件 3,130千円 ・創業資金利子補給 40件 1,142千円 ・設備投資促進資金利子補給 29件 1,676千円				
成 果	中小企業者の資金調達に係る負担を軽減し、資金繰りの安定を図ることができた。				
課題・今後の方向性	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、創業者や中小企業者等に対し、引き続き資金繰りの支援を行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-1 商業の魅力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-1 商業の魅力を高める

事務事業名	商業活性化推進事業			決算書 掲載ページ	336
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,400		7,206	0	3,194
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	7,206
目 的	商店街や商業団体の集客イベント事業、クーポン券事業及び創業者等の空き店舗等利活用を支援し、販売促進と商店街、商業の活性化を図る。				
取組内容・実績	<p>あきんど協議会負担金及び商業活性化イベント補助金を支出し、中心商店街のイベントや新規需要創出を目的とした販売促進事業、空き店舗を利活用する創業者等の支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はなまるクーポン事業 206店参加 ・空き店舗活用創業等支援事業 3店 ・あきんど支援事業 2団体 ・需要創出支援事業 1団体 ・WEB情報発信ツール個別相談会 9店 など 				
成 果	はなまるクーポンなど事業者及び市民にメリットのある企画により、市内商業の活性化を図ることができた。あわせて、創業者支援や事業者のスキルアップにつながった。				
課題・今後の方向性	事業者及び商店街の活性化を継続するために、負担金や補助金の現状維持が必要である。また、インターネットの普及等による消費行動の変化やキャッシュレス化、IT普及に対応した商業環境の構築など、変化に対応した新たな商業振興策を検討する必要がある。				

事務事業名	商工団体支援事業			決算書 掲載ページ	338
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	9,447		9,447	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	9,447
目 的	中小企業・小規模事業者の伴走型経営支援を行う商工団体へ、その業界支援に資する事業に対し、補助する。				
取組内容・実績	柏崎商工会議所及び市内4商工会（西山町、高柳町、北条、黒姫）が独自に実施する商工業者振興事業を支援した。				
成 果	商工団体の事業実施を支援することで、柏崎市の商工業等の振興に寄与した。				
課題・今後の方向性	商工業者の持続的な事業継続のために、地域生活に密着している商工団体への支援継続が必要となっている。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-2 起業・創業を支援する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-1 商業の魅力を高める

事務事業名	創業支援事業			決算書 掲載ページ	338
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,211		3,179	0	3,032
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	3,179
目 的	創業や経営について学ぶ機会を設けることにより、創業率と事業継続性の向上を図る。 また、補助事業により、創業時の負担を減らし、創業しやすい環境を整える。				
取組内容・実績	創業塾（柏崎・社長のたまご塾）や創業経営相談事業などの運営費補助を行った。創業塾の前期は新型コロナウイルス感染症の影響で中止になったが、後期は14名が入塾した。また、柏崎商工会議所の創業相談の利用者は、年間16人だった。他にも、創業者を対象とした広告宣伝費や改装費の補助は9件、事務所の家賃補助は4件の利用があった。				
成 果	創業塾や相談事業、創業者への補助を行うことで、創業の機運を高めることができた。				
課題・今後の方向性	創業者にアンケートをとるなど創業後のフォローアップ体制をより拡充し、創業初期の事業継続性を高める必要がある。				

事務事業名	モーリエ駐車場整備事業			決算書 掲載ページ	338
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	72,120		63,161	0	8,959
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	63,161
目 的	改修工事を実施することにより、施設の適切な維持管理と駐車場利用者の安全確保を図る。				
取組内容・実績	経年劣化の激しい外壁の南面改修工事と、モーリエA1棟-A3棟を結ぶ連絡通路の改修工事を行った。				
成 果	施設の適切な維持管理と駐車場利用者の安全確保に寄与した。				
課題・今後の方向性	利用者の安全確保のため、優先度の高いものから順次改修工事を行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-2 起業・創業を支援する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	事業承継支援事業			決算書 掲載ページ	338
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	264		26	0	238
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	26
目 的	中小企業が培った経営資源を保全し、地域経済の持続性を高めるため、事業承継の重要性に対する経営者の意識を醸成するとともに、関係機関との連携による相談体制を確立する。				
取組内容・実績	事業承継に関する困りごとに対応するため、事業引継ぎ個別相談会を開催した（2名参加）。				
成 果	事業承継に関する経営者の意識を高めることができた。				
課題・今後の方向性	市内中小企業の経営資源を保全し、地域経済の持続性を高めるため、補助制度を創設し、事業承継を促す。				

事務事業名	地域ブランドづくり支援事業			決算書 掲載ページ	338
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,000		2,000	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	2,000
目 的	地場产品及び特産品の開発力強化並びに販路拡大に取り組む中小企業者等に対し、商品の開発から販売までを総合的に支援し、地域ブランドづくりを促進する。				
取組内容・実績	かしわざき広域ビジネスネットワークが「N I I G A T A 未来プロジェクト」と連携して実施する地域ブランドづくり支援事業へ補助金の交付を行った。当事業への応募は3件で、うち2件を採択した。				
成 果	令和2（2020）年度は、「露地栽培いちじく」や「西山コシヒカリビール」のロゴデザイン等を支援し、市内事業者の商品ブランド化に寄与した。				
課題・今後の方向性	当事業への活用を促進し、シティセールスにつなげていくため、事業展開に積極的な事業者に対してPRを着実に行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-1 商業の魅力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-1 商業の魅力を高める

事務事業名	消費動向調査費			決算書 掲載ページ	338
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	917		853	0	64
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	853
目 的	地域ごとの購買活動の強弱を把握するために、消費動向調査を行う。				
取組内容・実績	市内消費者にアンケートを送付し消費動向を追うことで、地元購買率（63.3%）を算出した（調査対象者：2,400人、回答数：827人）。				
成 果	地元購買率を算出し、今後の商業振興施策の検討へつなげることができた。				
課題・今後の方向性	消費動向調査の結果に基づき、必要な施策を打ち出す必要がある。				

事務事業名	緊急景気対策事業			決算書 掲載ページ	338
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	580,000		468,288	39,984	71,728
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	468,288		0	0	0
目 的	新型コロナウイルス感染症により、マイナス影響を受けている市内事業者を支援するため、消費喚起策及び各種補助を実施する。				
取組内容・実績	小規模事業者経営支援補助金として、売上減少額により10万円又は20万円を交付した（延べ1,909件、337,900千円の交付）。また、小規模事業者経営継続支援補助金として、10万円又は20万円（飲食サービス事業者）を交付した（延べ468件、63,800千円の交付）。 さらに、元気発信プロジェクト事業として、第1弾スタンプラリー（参加店舗数387店）、第2弾はなまるクーポン（209店）、第3弾スーパーGOTOイートキャンペーン（168店）を行った。				
成 果	マイナス影響を受けている市内事業者の経営継続につなげることができた。				
課題・今後の方向性	新型コロナウイルス感染症のマイナス影響に、引き続き注視する必要がある。				

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	工業振興事業			決算書 掲載ページ	340
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	24,324		9,928	0	14,396
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	9,928
目 的	基幹産業であるものづくり産業の生産性向上、受注開拓、人材確保を支援し、地域経済の拡大や好循環を図る。				
取組内容・実績	企業振興条例に基づき、27社に総額1億1,821万200円の固定資産税を軽減し、4社に総額272万4,000円の奨励金を交付した。また、生産性向上特別措置法に基づく固定資産税の特例は、15社による先端設備等導入計画を認定するなど、新たな設備投資を支援した。さらに、各地で出展された見本市への出展企業7社に対して出展費用を助成した。大学生に対する企業見学会に16社・67人が参加した。				
成 果	先端設備等の導入促進による生産性向上とともに、固定資産税の軽減措置や各種助成金の交付により、事業者の負担軽減を図ることができた。大学生に対する企業見学会は、市内企業に目を向けた進路を考える気付きを与えることができた。				
課題・今後の方向性	既存事業にとどまることなく、新たな技術を取り入れ、生産性を向上し、自ら提案できる企業への変革が求められている。引き続き、先端設備の導入、新たな販路開拓やDXの推進などにより、経営基盤の強化に積極的に取り組む企業を支援する。				

事務事業名	産学連携支援事業			決算書 掲載ページ	340
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,180		797	0	383
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	797
目 的	製造業における産学共同研究や開発マインドの醸成を図るほか、建設業における継続的な能力開発や技術力向上につなげる。				
取組内容・実績	「3D(3次元)CADを学ぶ!<入門編>」をテーマにものづくり開発塾を開催し、受講者4人に対して非対面講座を含めた全6回の講座を実施した。また、建設技術研修会(全9回)には、延べ197人が受講した。なお、建設技術研修会は、日本建築士連合会や全国土木施工管理技士会連合会から継続能力開発研修の認定を受け、延べ160人に対して受講証明を発給した。				
成 果	建設業従事者の技術力強化を図ることができたほか、製造事業者の生産性向上や高付加価値化に資するデジタル技術に対する意識を高めることができた。				
課題・今後の方向性	技術系大学の立地は、新たな製品や技術開発に向けた共同研究のほか、従業員のリカレント教育や職業能力の再開発を推進する上で、存在意義は大きいと言える。引き続き、産学連携を通じた新事業の創出や能力開発を支援する。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	人材育成支援事業			決算書 掲載ページ	340
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,750		6,958	0	3,792
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	2,370	4,588
目 的	若者の地元企業への就職率や定着率を高め、産業界で力を発揮できる若手技能者の育成とものづくり技術の継承を推進する。				
取組内容・実績	コロナ禍によって機械金属加工系の前期技能検定試験が中止となり、検定合格者は年間で機械検査2級の1人とどまったが、次年度の検定合格を目指し、第15期ものづくりマイスターカレッジを開講し、22人が参加した。柏崎工業高校2年生によるインターンシップは、感染症拡大防止の観点から実施を見合わせた。資格取得費や研修受講料を助成する高度技術者育成推進助成金は、13社、52人に対して交付した。				
成 果	人材育成事業の実施により、若手技能者の育成と技術の向上を図ることができた。また、資格取得に向けた助成金の交付により、職業能力やモチベーションを高め、生産性の向上や高付加価値化に取り組む市内事業者の積極的な人材育成を後押しした。				
課題・今後の方向性	ものづくりマイスターカレッジによる技術指導や資格免許の取得を推奨し、優れたものづくり技術の継承を推進する。また、インターンシップや企業見学会を通じて若者や女性の理解促進を図り、将来のものづくり産業を担う人材の育成・確保に取り組む。				

事務事業名	新技術・新製品研究開発支援事業			決算書 掲載ページ	342
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	9,950		3,913	0	6,037
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	3,913
目 的	個々の技術に磨きを掛け、更に付加価値の高い製品づくりに向けて新たな事業展開に積極的に取り組む中小製造事業者を支援する。				
取組内容・実績	知的財産権取得支援助成金を3社、延べ13件に対して交付したほか、国際規格認証取得支援助成金を1社に対して交付した。また、柏崎技術開発振興協会が実施するものづくりチャレンジ支援事業を支援し、新製品開発を2件採択した。				
成 果	知的財産の保護や権利化による競争力の強化のほか、国際規格の認証取得を通じ、経営基盤の強化や新たな産業分野への参入を目指す中小企業の成長を支援することができた。				
課題・今後の方向性	異なるヒト、モノやコトの融合により新たなアイデアやチャレンジが生まれる。量から質、多様化の時代の今、新たな価値創造の追求が必要である。産学官金との連携を通じ、成長産業への参入や技術の高度化を支援するとともに、知的財産戦略を推進する。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	情報産業育成振興事業			決算書 掲載ページ	344
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	12,565		4,103	0	8,462
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	4,103	0
目 的	新商品開発や人材育成などへの支援を行い、情報関連産業売上規模70億円の実現を目指す。				
取組内容・実績	知的財産権取得支援助成金を1社、4件に対して交付したほか、新たなサービスやビジネスの創出、異業種交流や起業・創業、多様な働き方を促進するコワーキングスペースを「イノベーション促進施設」と位置づけ、その運営に取り組む情報産業事業者に対し、補助金を1件交付した。				
成 果	市場のシェア獲得や拡大を目指す情報産業事業者の競争力強化を支援することができた。コワーキングスペースは、新型コロナウイルス感染症の影響により利用や交流が制限されるなど、施設が持つ有機的な機能を十分に活用することができなかった。				
課題・今後の方向性	IT人材の不足は本市も例外ではなく、持続的な成長にはIT人材の確保・育成が極めて重要である。また、地域産業のDX推進には、IT事業者による導入支援が必要と考える。これらの課題認識の下、若者や女性の雇用創出、経営相談や商品開発に取り組む。				

事務事業名	廃炉産業調査研究事業			決算書 掲載ページ	344
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,248		1	0	1,247
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1
目 的	既設炉の段階的な廃止措置が見込まれる中、廃炉を新たな産業として捉え、市内事業者が参入できる可能性を探る。				
取組内容・実績	将来的な原子力発電所の廃炉を見据え、廃炉産業創出に関する勉強会を2回開催した。しかし、廃炉が進む原子力発電所の視察は、コロナ禍を受け、実施できなかった。				
成 果	日本における廃止措置の状況や海外事例、福島第二原子力発電所廃止計画認可申請書の概要などについて、現状把握と情報共有を行った。				
課題・今後の方向性	廃炉産業の創出は、原発立地地域が抱える固有の政策課題として、他地域に遅れることのないよう市、地元企業、電力会社がそれぞれの立場で主体的な取組を進める必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	I o T推進事業			決算書 掲載ページ	344
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,637		3,501	0	136
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	3,500	1
目 的	産学官金で構成する柏崎市I o T推進ラボにおいて、ものづくり産業へのI o T・A I技術の導入支援やデジタル人材の育成を推進する。				
取組内容・実績	柏崎市I o T推進ラボ協議会の運営を新潟工科大学と連携して行い、地元のI T専門家派遣を5社に対して延べ6件実施し、そのうち4件は推進ラボの補助事業であるI o Tステップアップ事業を活用した。また、I Tパスポート試験対策講座(全10回)をオンラインで開催し、35人の参加者のうち2人が国家資格を取得した。				
成 果	個別相談や補助金の活用を通じ、製造現場におけるI o Tの実装を実現することができた。また、デジタル人材の育成を目的とした社会人のリカレント教育や職業能力の再開発に取り組み、スキルアップやI Tリテラシーの向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	デジタル技術を活用した高付加価値化の取組は、一部の企業の部分的な活用にとどまっているため、広く理解促進を図り、困難意識を払しょくする必要がある。市内企業による取組事例を公開しながら、製造業のデジタル化を後押しする。				

事務事業名	緊急経済対策事業			決算書 掲載ページ	344
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	151,000		134,732	10,000	6,268
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	134,732		0	0	0
目 的	新型コロナウイルス感染症により、マイナスの影響を受けている中小企業の事業継続、雇用維持や事業再構築を後押しする。				
取組内容・実績	事業継続のほか、国が交付する一定の補助金の採択を受け、雇用の維持や新型コロナウイルス感染症の影響を乗り越えるために前向きな投資を行った延べ173社に対して総額1億3,473万1,631円の補助金を交付した。また、経済産業省関東経済産業局、新潟県、にいがた産業創造機構、新潟県中小企業団体中央会、柏崎商工会議所が行う緊急経済対策や支援に関する説明会を開催した。				
成 果	コロナ禍により経済活動が停滞する中、人件費を始めとした固定費の負担軽減を図ることができた。また、国の補助金に上乘せ交付することで、事業者負担の更なる軽減により思い切った設備投資を可能とし、事業者の変革を後押しすることができた。				
課題・今後の方向性	時代の変化に適応し、新たな事業展開に前向きに取り組む企業を支援し、地域経済の好循環につなげるとともに、中小企業のアフターコロナに向けた事業構造の転換・強化を後押しする必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-3 企業誘致を進める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	企業立地事業			決算書 掲載ページ	344
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	49,697		34,316	0	15,381
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	34,316
目 的	企業誘致により、雇用機会や税収の確保、地域産業の活性化による本市経済の持続的な発展を目指す。				
取組内容・実績	前年度からの交渉案件を中心に誘致活動を行い、3社に対して7区画を分譲した。				
成 果	これにより、柏崎フロンティアパークの分譲用地は、残り1区画となった。				
課題・今後の方向性	柏崎フロンティアパークの完売が見通せる状況にあることから、企業誘致の方策について検討が必要である。今後は、市所有の未利用施設や遊休地の転用・活用を検討し、本市特有の優遇制度をセールスポイントとした誘致活動に引き続き取り組む。				

事務事業名	誘客宣伝事業（高柳町）			決算書 掲載ページ	346
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	高柳町事務所	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,107		2,626	0	481
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	1,040	1,586
目 的	高柳町地域の交流観光情報や魅力を適時・適切に発信するとともに、高柳町地域にある資源（観光施設、自然、景観、産業、イベント等）をいかした交流観光事業に取り組むことにより誘客を図り、高柳町地域の振興及び活性化を総合的に展開する。				
取組内容・実績	市内外の団体等の交流事業は中止になったが、市ホームページや各種メディア等を通じて高柳町地域の観光情報や地域の魅力を発信し、コロナ禍に対応した交流観光を推進した。				
成 果	コロナ禍において全国的に観光入込客数が減少する中、高柳町地域の魅力や観光情報の発信・支援に取り組み、高柳町地域での観光入込客数87,118人につながった。				
課題・今後の方向性	事業の見直しにより、交流観光関係については地域活性化イベント支援事業に集約するとともに、交流観光以外の事業は関連する部署へ移管し、誘客宣伝事業（高柳町）は令和2（2020）年度で終了する。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	じよんのび村整備費			決算書 掲載ページ	346
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	高柳町事務所	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	1,191	1,191	0	0	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	1,191	
目 的	来訪者の安全を確保するとともに、施設利用の快適性を高め、満足度を向上させることにより、入込客数の増加を図る。				
取組内容・実績	じよんのび村施設（萬歳楽、銀兵衛）におけるワーケーション事業の実施に必要な通信環境の整備を行うため、LAN配線工事及び無線アクセスポイント8か所を新規に設置した。				
成 果	館内全体でWi-Fiネットワークが使用可能になった。				
課題・今後の方向性	施設の利用ニーズに合わせた改修について検討する必要がある。				

事務事業名	地域おこし企業人事業			決算書 掲載ページ	348
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	高柳町事務所	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	11,391	11,200	0	191	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	11,200	
目 的	民間企業が持つ観光、地域振興に関する知識と経験、様々なノウハウを活用して、高柳町地域にある多様な文化・歴史・風土・観光資源の有機的な連携を図るとともに、魅力の再発見、新たな地域資源の再発掘、効果的な情報発信等により、観光客の誘客促進と関係人口の創出を図る。				
取組内容・実績	総務省が推奨する「地域おこし企業人交流プログラム」を活用し、株式会社温泉道場から職員2名を受け入れ、そのノウハウや知見をいかし、地域独自の魅力や価値の向上に取り組んだ。				
成 果	じよんのび村を核とした効率的、効果的な交流観光事業の構築と誘客促進についてのノウハウを得ることができた。				
課題・今後の方向性	事業の見直しにより、じよんのび村関係の事業については関連する部署へ移管し、新しい観光・地域ブランディングに取り組むため、令和2（2020）年度で終了する。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	旧石地フィッシングセンター解体事業			決算書 掲載ページ	348
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	西山町事務所	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	38,386		22,350	15,750	286
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		21,200	0	1,150
目 的	石地海水浴場の安全を確保するため、石地フィッシングセンターの解体撤去を行う。				
取組内容・実績	令和2（2020）年度から2か年の継続事業として、解体撤去工事を実施した。				
成 果	令和2（2020）年度末で全体の16%の解体が完了した。				
課題・今後の方向性	引き続き、安全な解体撤去工事を実施する必要がある。				

事務事業名	地域活性化イベント支援事業			決算書 掲載ページ	350
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,600		1,600	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,600
目 的	「かしわざき風の陣」及び「どんGALA！祭り」の両イベントの支援を行うことにより、海の柏崎のPR、中心市街地への活性化を図る。				
取組内容・実績	両イベントとも新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントの開催を中止としたが、イベント準備に係る経費に対して、かしわざき風の陣実行委員会に1,400千円、どんGALA！祭り実行委員会に200千円の補助金を交付した。				
成 果	両イベントとも中止となったが、柏崎を代表する両イベントの次年度の開催に向け、イベントの周知と実行委員会の体制確保につながった。				
課題・今後の方向性	市内外に認知されている両イベントは、今後も地域振興に資する事業であると考えますが、実行委員会の経済的な問題やマンパワーの低下が課題となっている。組織体制の強化や自己資金の確保に向け、実行委員会と協議を進める。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	海水浴場安全対策費			決算書 掲載ページ	350
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	14,554		13,558	0	996
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	13,558
目 的	海水浴場内にライフセーバーを配置することにより、海水浴場内の事故を防止し、また、事故発生時に速やかに初期対応を行うことで、海水浴場の安全を確保する。				
取組内容・実績	市内15の海水浴場に巡回も含めライフセーバーによる監視を実施した。海水浴客数185,810人のうち、重傷事故2件（遊泳中の体調不良による事故）であった。				
成 果	海水浴中の溺水、軽傷等に速やかに対応して、重大な事故を未然に防ぐことができた。				
課題・今後の方向性	これまでライフセーバーと築き上げてきた柏崎の安全な海を守るため、人材が不足するライフセーバーの確保が重要である。ライフセーバーの確保に向け、環境整備に加え、市外への営業活動を実施する必要がある。				

事務事業名	海水浴場環境整備費			決算書 掲載ページ	350
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,771		7,503	0	268
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	7,503
目 的	海水浴場利用者の利便性向上と安全の確保を図る。				
取組内容・実績	海岸清掃の実施や海水浴場内に仮設トイレを10基設置するなど環境整備を実施した。新型コロナウイルス感染症対策として、トイレ等に消毒液及び石鹸の設置、注意喚起看板の設置をし、対策の徹底を呼びかけた。令和2（2020）年度の海水浴場の入込客数は、185,810人（前年度573,660人）だった。				
成 果	海水浴場内の清掃、管理を行うことで、来場者が安心・安全に楽しめる環境を整備することができた。コロナ禍の中、消毒作業や規制看板による周知の効果もあり、海水浴場における感染はなかった。				
課題・今後の方向性	海水浴離れが進む中、改めて柏崎の海の魅力を市民に伝え、海に興味を持っていただく取組を進めていく。また、15の海水浴場それぞれの「特色」や「売り」を作り、柏崎の海の魅力を伝えるプロモーションを行っていく。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	誘客宣伝事業			決算書 掲載ページ	352
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	5,641	1,732	0	3,909	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	1,732	
目 的	柏崎への誘客促進により、市内の観光産業を含めた地域振興を推進する。				
取組内容・実績	柏崎駅及び青海川駅に掲示する観光PR幕、インターネット上で広く発信する海のPR動画を製作した。 北陸エリアの道の駅に設置されるフリーペーパーで松雲山荘ライトアップを、新潟空港の大型スクリーンで花火大会をPRした。				
成 果	観光回復期に備えて、PR媒体を整備することができた。 道の駅や新潟空港に訪れた方にPRし、認知を獲得することができた。				
課題・今後の方向性	継続的な取組に加え、新たなPRを展開することにより、観光誘客の回復を図る。				

事務事業名	観光振興経費			決算書 掲載ページ	352
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	37,668	35,663	0	2,005	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	14	35,649	
目 的	柏崎市への誘客・宣伝活動のため、観光関連団体への負担金を通じ、観光誘客を促進する。				
取組内容・実績	観光関連団体に対し負担金を支出し、連携を図りながら、誘客・宣伝活動を行った。				
成 果	関係団体との連携により、誘客活動を行ったことで、観光産業の活性化に寄与した。				
課題・今後の方向性	観光分野の一層の振興を図るため、行政と関係団体の連携の在り方役割分担を検討する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	広域観光推進事業			決算書 掲載ページ	352
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	12,000		11,978	0	22
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	5,973		0	0	6,005
目 的	観光コンテンツの連携により周遊観光の促進を図り、交流人口の拡大につなげる。				
取組内容・実績	首都圏及び柏崎市を中心に海の大花火を活用した本市の魅力発信を実施したほか、市内業者と連携し柏崎を代表する三庭園をめぐる観光ルートを開発した。				
成 果	首都圏や柏崎を訪れた方に対し、柏崎の魅力を伝えることができた。				
課題・今後の方向性	現時点では、新型コロナウイルス感染症の影響により人の往来が難しいが、収束後に柏崎を選んでいただくため、効果的な情報発信に取り組んでいく。				

事務事業名	柏崎元気発信応援事業			決算書 掲載ページ	352
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,200		2,462	0	738
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,462		0	0	0
目 的	新型コロナウイルス感染症の拡大で5月連休中の帰省を自粛している学生や、県外に居住する柏崎出身者、柏崎ファンクラブ県外会員に対して、応援メッセージと柏崎の名産品を届ける。				
取組内容・実績	県外学生693人に、お菓子の詰め合わせを送付した。学生や保護者から、ふるさとに対するメッセージが388件あり、柏崎ファンクラブ県外会員424人から、特産品セットを合計611セットを注文していただいた。				
成 果	帰省や観光、交流などの機会が減少する中、県外学生や柏崎ファンクラブ県外会員とのきずなを深めることができた。				
課題・今後の方向性	交流などの機会が少しずつ回復してきているため、令和2(2020)年度で終了する。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	宿泊事業者緊急支援事業			決算書 掲載ページ	352
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	29,490		29,490	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	29,490		0	0	0
目 的	新型コロナウイルス感染症の拡大によって観光客が減少し、売上が著しく減少した市内宿泊事業者等の事業継続を支援する。				
取組内容・実績	21事業者に29,490千円の補助金を交付した。				
成 果	補助金を交付することで、市内宿泊事業者等の事業継続を支援することができた。				
課題・今後の方向性	緊急支援として実施した補助金のため、令和2(2020)年度で終了する。				

事務事業名	ぎおん柏崎まつり事業			決算書 掲載ページ	354
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	13,870		13,800	0	70
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	13,800
目 的	柏崎市最大のイベントであるぎおん柏崎まつり、越後三大花火として、全国的にも知名度がある海の大花火大会を安全かつ盛大に開催する。				
取組内容・実績	ぎおん柏崎まつりは中止となったが、花火大会の花火打上業者への花火玉の製作費用等として、ぎおん柏崎まつり協賛会に対し負担金13,800千円を支出した。実行委員会事務局にて、ぎおん柏崎まつりの今後の運営方法等について協議した。				
成 果	ぎおん柏崎まつりは中止となったが、次年度の開催に向け、関係機関とぎおん柏崎まつりの現状と課題、今後の運営方法等について協議できた。				
課題・今後の方向性	ぎおん柏崎まつりを運営する組織のマンパワー低下により、企画や準備対応が困難になってきているため、アウトソーシングも含めて検討する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	えんま市花市運営事業			決算書 掲載ページ	354
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	442		391	0	51
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	2	389
目 的	200年以上の歴史を有し伝統的な催しであるえんま市及び花市の来場者及び出店者の安全確保や利便性の向上を図る。				
取組内容・実績	えんま市は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としたが、花市は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で実施し、250人（前年度810人）の来場者があった。				
成 果	花市については、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として入場制限等を設けて実施したため、感染者や事故等の発生はなく、来場者が安心して楽しむことができた。				
課題・今後の方向性	来場者の安全確保や満足度向上のため、会場設営や警備体制等の強化に努める必要がある。				

事務事業名	松雲山荘整備費			決算書 掲載ページ	356
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	20,731		20,422	0	309
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	10,123		0	0	10,299
目 的	松雲山荘の安全管理と長寿命化により、観光スポットとしての価値を高める。				
取組内容・実績	松雲山荘庭園内のアカマツなどを50本伐採し、モミジ及びアカマツを94本植栽した。中庭にある池など流路の浚渫 ^{しゅんせつ} 工事を実施した。				
成 果	倒木の恐れのある危険な樹木の伐採により、来場者の安全を確保できた。日照の妨げになる樹木の伐採、樹木の植栽により、樹木の樹勢の確保や長寿命化を図ることができた。				
課題・今後の方向性	倒木のおそれのある危険な樹木がまだ残っていることから、引き続き来場者の安全の確保のため樹木の伐採を行う必要がある。また、色付き不良の原因を特定するため、樹木の調査を実施する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	松雲山荘ライトアップ事業			決算書 掲載ページ	356
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,100		5,100	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	5,100
目 的	例年、期間中市内外から2万5千人程度の来場があり、当市の秋観光の代表的な名所になっている。このため、当該負担金を交付して環境整備・安全対策等を実施し、来場者の満足度を高めるとともに、来場者数の増加を図る。				
取組内容・実績	松雲山荘ライトアップ実行委員会に負担金5,100千円を支出した。庭園内にライトを設置し、幻想的な空間の演出及び来場者の確保を図った。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、入場口を1か所としたほか、手指消毒及び物産販売所の入場制限をした。 松雲山荘ライトアップ来場者数：26,304人				
成 果	令和元（2019）年度来場者数24,498人から1,806人上回り、柏崎市の秋の観光の柱として、誘客促進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	松雲山荘単体では、新たな来場者の確保は困難であると考えられるため、松雲山荘と「食」などの観光資源を掛け合わせ、魅力的な新たな価値を創出し、更なる誘客を進めていく。				

事務事業名	風土食普及拡大・販売促進事業			決算書 掲載ページ	356
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	500		500	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	500
目 的	柏崎産食材と郷土食の普及及び柏崎の「食と体験」を組み合わせた商品で、観光客誘客促進を図る。				
取組内容・実績	柏崎の「食」や「食の魅力」を発信するための事業費として、かしわざき味堪能事業実行委員会に対して負担金500千円を支出した。松雲山荘ライトアップの際に、菓子和咲スイーツ紅葉物語を実施し、上生菓子200セット、菓子組合9店舗の銘菓販売を実施した。				
成 果	柏崎の食の魅力を市内外の方から堪能していただくことができた。				
課題・今後の方向性	新たな商品開発だけでなく、既存の食の魅力を発信する必要があるため、今後、柏崎観光誘客促進実行委員会において、柏崎の食の魅力を発信していく取組を検討する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	かしわざき魅力再発見・誘客推進事業			決算書 掲載ページ	356
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	174		60	0	114
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	60
目 的	柏崎を訪れる観光客の満足度向上、市内観光資源の魅力発信に努めるとともに、ガイドを務める市民が柏崎の魅力を再発見する機会を創出する。				
取組内容・実績	松雲山荘ボランティアガイド養成講座を計4回実施し、新規受講者（5名）と既存ガイド（22名）のスキルアップを図る事ができた。また、新規受講者のうち4名からボランティアガイドに登録していただき、増員を図ることができた。				
成 果	ボランティアガイドについて、利用者からは好評であり、観光客の満足度向上を図ることができた。新規に4名がボランティアガイド登録を行い、市民が柏崎の魅力に触れる機会を増やすことができた。				
課題・今後の方向性	引き続き、ボランティアガイドの人員の確保に加え、観光客の満足度を更に向上させるため、ボランティアガイドのスキルアップを目指す必要がある。				

事務事業名	海の柏崎PR事業			決算書 掲載ページ	358
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	13,691		13,661	0	30
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	5,500	8,161
目 的	海辺でのバーベキューやキャンプ、マリンスポーツ、ビーチスポーツ、海生物観察が楽しめる環境を整備し、海水浴を中心とした夏季の観光からの転換を図る。				
取組内容・実績	かしわざきセントラルビーチは1,729人、番神自然水族館は420人（前年度比98.1%）の利用があった。				
成 果	多くの市民及び観光客に海辺でのキャンプ等を楽しんでいただき、これまでになかった体験を提供することができた。また、柏崎の海は美しく、多様な生物が息していることを知ってもらう機会とすることができた。				
課題・今後の方向性	大切な海や公園を守りながら活用し続けていくための課題やアウトドアレジャー需要の検証を進めていく。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	番神自然水族館整備事業			決算書 掲載ページ	358
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	3,000	1,219	0	1,781	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	1,219	
目 的	番神自然水族館利用者及び旧自然水族館跡での磯遊び体験者の安全を確保する。				
取組内容・実績	旧自然水族館跡地までの仮設の連絡通路の設置を検討し、設計業務委託を実施した。検証の結果、監視員不在時の安全管理体制の確保が困難なため、ハード施設の整備を実施しない方針とした。				
成 果	旧自然水族館までの連絡通路設置は断念したが、番神エリアのにぎわいの創出のため、低コストで対応できる方法を継続的に検討することとした。				
課題・今後の方向性	監視員不在時の安全管理に課題があるため、監視員を配置した上での番神エリアで、にぎわいの創出及び滞在時間を延ばす取組を検討する必要がある。				

事務事業名	観光ビジョン策定経費			決算書 掲載ページ	358
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	320	27	0	293	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	27	
目 的	市民や事業者、団体、地域、行政などの多様な主体が、常に観光に対する意識を持って取り組んでいくこと、市内事業者の観光を柏崎の力にしていく機運を高めていくことを目指す。				
取組内容・実績	観光ビジョンの骨子を作成し、諸課題の整理、将来の目標及び基本戦略並びに今後の進むべき方向性をまとめた。				
成 果	柏崎の観光の今後進むべき方向性や目標を明確にすることができた。				
課題・今後の方向性	目標達成に向け、リーディングプロジェクト及び各事業を進めていく。				

8款 土木費

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-2 自然災害に備えた対策を進める

事務事業名	空き家対策事業			決算書 掲載ページ	366
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	01	土木管理費	担 当	建築住宅課	
目	02	建築費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	7,135	4,419	0	2,716	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	939	0	62	3,418	
目 的	空き家の所有者に行政指導を行うことにより、市民の良好な生活環境の保全を図る。また、空き家バンク事業を行うことにより、空き家の活用を促し、管理不全な空き家の発生を防止する。				
取組内容・実績	特定空家の適正管理を促す指導・助言39件、勧告24件及び略式代執行1件を行い、12件の特定空家を削減できた。また、活用事業として空き家バンクの新規登録件数は14件で、15件の成約があった。				
成 果	行政指導により管理不全な空き家を削減し、良好な生活環境を保全することができた。また、空き家バンクの成果により空き家を利活用することができた。				
課題・今後の方向性	所有者に行政指導を継続して行い、特定空家の削減を図るとともに、空き家バンクによる利活用を推進する。また、所有者の管理者意識を醸成するために、適切な情報提供や広報活動を行う必要がある。				

事務事業名	木造住宅耐震改修費補助金交付事業			決算書 掲載ページ	368
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	01	土木管理費	担 当	建築住宅課	
目	02	建築費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	3,000	2,000	0	1,000	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	1,150	0	0	850	
目 的	住宅の耐震改修を行う人を支援し、地震に強いまちづくりを推進する。				
取組内容・実績	木造住宅の耐震改修を実施した2件に補助金を交付した。				
成 果	耐震改修を実施することで、地震に強いまちづくりを進めることができた。				
課題・今後の方向性	将来を見越して耐震改修をする人が少なくなっている状況である。耐震改修の重要性の啓発と補助事業の周知方法を検討し、耐震化を進める必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-2 自然災害に備えた対策を進める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

事務事業名	木造住宅耐震診断費補助金交付事業			決算書 掲載ページ	368
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	01	土木管理費	担 当	建築住宅課	
目	02	建築費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,100		280	0	1,820
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	172		0	0	108
目 的	住宅の耐震診断を行う方を支援し、地震に強いまちづくりを推進する。				
取組内容・実績	耐震の重要性と制度の周知のため、地域を限定して戸別訪問を行い、木造住宅の耐震診断を実施した4件に補助金を交付した。				
成 果	耐震診断を実施することで所有者への意識啓発が行われ、地震に強いまちづくりを進めることができた。				
課題・今後の方向性	将来を見越して耐震改修をする人が少なくなっている状況である。耐震診断の重要性の啓発と補助事業の周知方法を検討し、耐震化を進める必要がある。				

事務事業名	住まい快適リフォーム事業			決算書 掲載ページ	368
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	01	土木管理費	担 当	建築住宅課	
目	02	建築費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	53,600		52,899	0	701
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	52,899
目 的	快適に安心して暮らせる居住環境の向上と空き家の有効利用による移住の促進を図る。				
取組内容・実績	住宅のリフォームを実施した298件（うち子育て世帯分28件、二世帯分27件）に補助金を交付した。また、空き家のリフォームを実施した12件に補助金を交付した。				
成 果	個人住宅のリフォームを行うことにより、市民の居住環境の向上及び空き家を有効活用して移住を促進することができた。				
課題・今後の方向性	需要に見合った事業費が確保されているか、予算規模について検討する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

事務事業名	克雪すまいづくり支援事業			決算書 掲載ページ	368
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	01	土木管理費	担 当	建築住宅課	
目	02	建築費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,100		330	0	770
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	165		0	0	165
目 的	屋根雪の処理をしなくてもよい家づくりを支援することにより、積雪期における安心で安全なまちづくりを推進する。				
取組内容・実績	落雪式の屋根へ改修した1件に補助金を交付した。				
成 果	屋根雪の処理をしなくてもよい家づくりを支援することで、積雪期における安心で安全なまちづくりを進めることができた。				
課題・今後の方向性	積雪期の安全確保及び除排雪時の負担を軽減するため、屋根雪処理の不要な住宅への改修を進める必要がある。また、屋根雪処理が必要な住宅に対しては、雪下ろし時における転落事故を未然に防止するための設備の設置を支援する必要がある。				

事務事業名	道路管理費			決算書 掲載ページ	372
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	162,043		148,086	0	13,957
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	522	147,564
目 的	道路施設の適切な管理により、安全で安心な道路交通を確保する。				
取組内容・実績	実延長1,167kmの市道を管理するため、道路施設の光熱水費や補修に必要な原材料費等を支出した。また、年間を通じた民間業者への業務委託による補修作業を実施した。				
成 果	道路施設の適切な管理により、安全で安心な道路交通が確保された。				
課題・今後の方向性	安全で安心な道路交通を確保するために、今後も適正な管理を継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

事務事業名	道路修繕事業			決算書 掲載ページ	372
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	315,226		301,812	6,000	7,415
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	30,000	271,812
目 的	道路施設の修繕により機能を維持し、安全な道路網を確保する。				
取組内容・実績	道路補修工事を26件、舗装補修工事を21件、側溝補修工事を73件実施した。				
成 果	道路施設の修繕により機能が維持され、安全な道路網が確保された。				
課題・今後の方向性	今後も安全な道路網を確保するために、道路施設の修繕を継続する必要がある。				

事務事業名	消融雪施設整備事業（社会資本整備総合交付金事業）			決算書 掲載ページ	376
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	188,250		177,499	0	10,751
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	104,045		64,200	0	9,254
目 的	冬期間も安全で安定して利用できる生活道路を確保する。				
取組内容・実績	消雪パイプ用の井戸の掘換工事を5件、消雪パイプの打換工事を3件実施した。				
成 果	消融雪施設の更新により、冬期間も安全で安定して利用できる生活道路が確保された。				
課題・今後の方向性	今後も冬期間の安全で安定した生活道路を確保するために、老朽化した消融雪施設の更新を継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

事務事業名	小型除雪機購入費補助金			決算書 掲載ページ	376
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,500		3,925	0	575
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	3,925
目 的	道路の幅が狭いために除雪車が進入できない市道などを除雪するため、小型除雪機械の購入費用を補助する。				
取組内容・実績	小型除雪機械の購入8件に補助した。				
成 果	補助金の交付により整備した小型除雪機械で、狭い市道などを地域住民で除雪したことにより、冬期間の道路交通を維持することができた。				
課題・今後の方向性	冬期間の道路交通を確保するために、今後も小型除雪機械の購入費用に対する補助を継続する必要がある。				

事務事業名	冬期集落安全・安心確保対策事業（ソフト事業）			決算書 掲載ページ	376
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,300		4,019	0	1,281
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,970		0	0	2,049
目 的	過疎化、高齢化が進行している山間部の町内会に対して、高齢者世帯の除雪などを委託して、冬期における安全を確保する。				
取組内容・実績	11町内会と委託契約を締結し、高齢者世帯の除雪などを実施した。				
成 果	山間部の高齢者世帯の冬期における安全を確保することができた。				
課題・今後の方向性	冬期間における山間部の高齢者世帯の安全確保のために、今後も除雪活動を継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-2 自然災害に備えた対策を進める

事務事業名	交通安全施設修繕事業			決算書 掲載ページ	376
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	70,500		68,373	0	2,127
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		24,400	0	43,973
目 的	道路に附帯する交通安全施設を修繕し、道路の安全性能を確保する。				
取組内容・実績	区画線設置工事を5件、照明設置工事を20件、防護柵設置工事を8件、路肩拡幅工事を2件実施した。				
成 果	交通安全施設の整備により、道路の安全性能を確保することができた。				
課題・今後の方向性	今後も道路の安全性能を確保するために、交通安全施設を整備する必要がある。				

事務事業名	道路防災対策事業（社会資本整備総合交付金事業）			決算書 掲載ページ	378
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	51,000		5,291	45,000	709
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,860		0	0	2,431
目 的	集中豪雨や地震による被害を未然に防止し、災害時の避難路を確保する。				
取組内容・実績	城山トンネルの点検を実施した。				
成 果	点検の実施により、施設の健全性を確認することができた。				
課題・今後の方向性	増加する災害に備えて、今後も道路防災施設の整備を継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-1 社会基盤を機能的に整備する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-1 社会基盤を機能的に整備する

事務事業名	道路新設改良市費事業			決算書 掲載ページ	378
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路河川課	
目	03	道路新設改良費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	53,442		43,853	0	9,589
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	14	43,839
目 的	比較的延長が短い集落内の生活道路の改良事業を行うための調査・測量設計を行い、生活環境の整備や交通の安全対策を推進する。				
取組内容・実績	次の事業を実施した。 ・市道柏崎7-9号線ほか12路線の測量設計調査 ・市道柏崎8-10号線ほか2路線の土地調査測量 ・市道柏崎9-55号線ほか2路線の物件調査算定 ・市道柏崎7-240号線ほか3路線の道路工事				
成 果	改良予定路線の調査・測量を行うことにより、沿線住民の利便性の向上と安全性の確保を推進することができた。				
課題・今後の方向性	未改良の道路が多く残っていることから、今後も計画的に事業を継続する必要がある。				

事務事業名	道路新設改良地方道路等整備事業			決算書 掲載ページ	378
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路河川課	
目	03	道路新設改良費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	281,750		212,245	66,900	2,605
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	50,000		46,000	0	116,245
目 的	地域住民の日常生活に利用する道路の拡幅工事を行い、生活環境と交通の安全性を向上させる。				
取組内容・実績	次の事業を実施した。 ・市道柏崎18-117号線ほか4路線の道路拡幅工事				
成 果	道路を整備したことで、道路の利便性と安全性が向上した。				
課題・今後の方向性	未改良の道路が多く残っていることから、今後も計画的に事業を継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-1 社会基盤を機能的に整備する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

事務事業名	道路新設改良電源立地地域対策交付金事業			決算書 掲載ページ	378
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路河川課	
目	03	道路新設改良費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	206,748		161,142	43,950	1,656
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	100,000		0	257	60,885
目 的	国の交付金を活用し、集落と集落を結ぶ道路の拡幅や道路の新設を行い、生活環境と交通の安全性を向上させる。				
取組内容・実績	次の事業を実施した。 ・市道柏崎7-8号線ほか1路線の道路拡幅工事				
成 果	道路を整備したことにより、幹線道路のネットワークの整備が進み、道路の利便性と安全性が向上した。				
課題・今後の方向性	未改良の道路が多く残っていることから、今後も計画的に事業を継続する必要がある。				

事務事業名	橋りょう修繕事業			決算書 掲載ページ	380
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	04	橋りょう維持費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	303,869		222,539	77,000	4,329
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	103,669		56,800	0	62,070
目 的	柏崎市橋梁長寿命化修繕計画に基づいて橋りょうの延命化を図り、安全な道路網を確保する。				
取組内容・実績	10橋の修繕工事、4橋の設計委託、117橋の点検委託を実施した。				
成 果	橋りょうの延命化により、安全な道路網を確保することができた。				
課題・今後の方向性	今後も安全な道路網を確保するために、市道橋を5年の周期で計画的に点検し、その結果に応じた修繕を行い、施設の機能を維持する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-2 自然災害に備えた対策を進める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

事務事業名	河川改修市費事業			決算書 掲載ページ	382
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	03	河川費	担 当	道路河川課	
目	03	河川改修費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	118,917		117,633	0	1,284
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	64,000		0	0	53,633
目 的	河川の幅が狭く、流下能力の低い箇所を改修を行うことにより、浸水被害の軽減を図る。				
取組内容・実績	<p>次の事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下野川ほか3河川の河川改修工事 ・豊田川河川測量業務委託 ・茨川内水対策施設に関連する物件補償、用地取得 				
成 果	河川改修により、浸水被害の軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	浸水被害の軽減を図るためには、今後も計画的に事業を継続する必要がある。				

事務事業名	都市公園管理事業			決算書 掲載ページ	388
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	05	都市計画費	担 当	都市計画課	
目	04	公園管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	64,422		61,115	0	3,307
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	98	61,017
目 的	公園の機能を健全に保ち、安全で安心して利用できる憩いの場を確保する。				
取組内容・実績	25か所の都市公園を町内会等に業務を委託し、清掃や除草、設備の保守等を行った。				
成 果	公園施設の維持管理を行い、安全かつ安心して利用できる公園を提供できた。				
課題・今後の方向性	憩いの場を提供するため、業務委託により公園を維持管理する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-1『柏崎らしい』個性をはぐくむ
	⑤-1-1 柏崎の魅力を高め、良さを伝える

事務事業名	都市公園整備事業			決算書 掲載ページ	390
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	05	都市計画費	担 当	都市計画課	
目	04	公園管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	146,300		105,075	39,600	1,625
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	58,600		25,500	0	20,975
目 的	都市公園施設を計画的に改築更新することにより、利用者の安全性の確保と利便性の向上を図る。				
取組内容・実績	白竜公園・赤坂山公園の再整備工事、海岸公園ほか4公園の遊具改修工事、八坂公園ほか2公園の施設改修工事、赤坂山公園の照明設備改修工事、赤坂山公園の流路浚 ^{しゅんせつ} 濬 ^{しゅんせつ} 工事を実施した。				
成 果	柏崎市都市公園施設長寿命化計画に基づき、計画的に改築更新を行い、公園施設の安全性確保と利便性向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	都市公園施設は、建設後40年を経過し、老朽化が進んでいる施設もあるため、今後も計画的な施設の維持修繕、改築更新を行う必要がある。				

事務事業名	中心市街地活性化推進費			決算書 掲載ページ	392
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	05	都市計画費	担 当	都市計画課	
目	07	中心市街地活性化推進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,698		9,492	0	1,206
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	4,713		0	0	4,779
目 的	コンパクトなまちづくりを進め、将来にわたって持続可能なまちを目指す。また、旧市役所庁舎跡地などの大規模公有地を活用し、中心市街地の活性化と魅力づくりを推進する。				
取組内容・実績	持続可能でコンパクトな都市を目指すための立地適正化計画の策定を進めた。また、市役所移転後の旧庁舎跡地利活用は、サウンディング型市場調査で民間事業者からの提案や参入の可能性を確認し、基本コンセプトと整備する公共施設を決定した。				
成 果	立地適正化計画の策定に着手し、将来にわたって持続可能なコンパクトなまちづくりを推進した。また、中心市街地の活性化と魅力づくりのために旧市役所庁舎跡地の利活用方策の検討を推進した。				
課題・今後の方向性	コンパクトで持続可能な都市を目指すため、引き続き立地適正化計画の策定に取り組む。また、にぎわいを創出し、中心市街地の魅力を高めるために、旧庁舎跡地の利活用の検討を推進する。				

9款 消防費

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	分団活動費			決算書 掲載ページ	402
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	消防総務課	
目	02	非常備消防費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	10,101	8,211	0	1,890	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	8,211	
目 的	柏崎市消防団を構成する団本部、ラッパ隊、女性消防隊、学生消防隊、方面隊、分団などが、それぞれの立場で独自の防火広報活動などを行うことにより、地域の安全安心に貢献する。				
取組内容・実績	分団運営に係る経費を執行し、それぞれの分団や隊が独自の防火広報活動などを行った。				
成 果	柏崎市消防団を構成するラッパ隊、女性消防隊、6方面隊及び19の分団がそれぞれの立場で活動することができ、地域の安全・安心に貢献することができた。				
課題・今後の方向性	今後も、それぞれが独自の活動を通じて地域の安全安心に貢献するため、支援を続ける必要がある。				

事務事業名	消防機械器具整備事業			決算書 掲載ページ	404
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	消防総務課	
目	03	消防施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	4,504	4,002	0	502	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	207	0	0	3,795	
目 的	老朽化した資機材の更新や必要な資機材の整備により、災害への対応が可能となり、市民の安全安心に寄与する。				
取組内容・実績	発電機4台、投光器3台、背負式簡易消火用具20基などの資機材を配備した。また、消防用ホース50本を更新した。				
成 果	資機材を配備することにより、消防団が災害に対応できる態勢を整備することができた。				
課題・今後の方向性	背負式簡易消火用具など全分団に配備が終わっていない資機材を順次配備する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	消防団車両整備事業			決算書 掲載ページ	404
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	消防総務課	
目	03	消防施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	19,140		18,942	0	198
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		13,000	0	5,942
目 的	<p>配備から20年を経過した車両のうち、老朽化したものから更新する。車両の更新に合わせて、小型動力ポンプも更新することにより、火災などへの対応力を向上させる。</p>				
取組内容・実績	<p>消防団積載車3台を軽車両に更新した。あわせて、小型動力ポンプも更新した。</p>				
成 果	<p>新しい車両と小型動力ポンプを配備することにより、火災などへの対応力が向上し、地域の安全安心に貢献した。</p>				
課題・今後の方向性	<p>老朽化した車両や小型動力ポンプを順次更新する必要がある。</p>				

事務事業名	防火水槽整備事業			決算書 掲載ページ	404
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	消防総務課	
目	03	消防施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	48,013		47,287	0	726
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		45,300	0	1,987
目 的	<p>水道管の敷設脆弱な地区を含め、地震時に対応可能な耐震性の防火水槽を計画的に設置することにより、住民へ安心感を与えとともに、消防団を含めた消防機関の強固な火災防ぎょ体制を構築する。</p>				
取組内容・実績	<p>耐震型防火水槽新設2か所（米山台西100㎡、春日三丁目40㎡）、ボーリング調査2か所（田塚、北園町）、防火水槽撤去2か所（大角間、桜木町）を実施した。</p>				
成 果	<p>耐震型防火水槽を設置することにより、大規模災害における火災発生時、水道管の破裂等による消火栓使用不能時に、住民を火災被害から保護することが可能になった。</p>				
課題・今後の方向性	<p>今後、住宅が密集していない地域等であっても、消防水利を整備し、地域の実情に応じた適正な水利を配置する必要がある。</p>				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	消火栓整備事業			決算書 掲載ページ	404
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	消防総務課	
目	03	消防施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	22,242		19,369	0	2,873
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		12,500	0	6,869
目 的	消火栓を計画的に設置し、維持管理することにより、住民に安心感を与えるとともに、強固な火災防ぎよ体制を構築する。				
取組内容・実績	消火栓新設5か所（山室、大沢、西山町礼拝、西山町下山田、西山町鎌田）、消火栓改良9か所（西本町一丁目他）、消火栓修繕30か所（城東二丁目他）を実施した。				
成 果	消防力の整備指針、消防水利の基準に基づき、消防水利が不足している箇所へ消火栓を設置することにより、住民に安心感を与えるとともに、強固な火災防ぎよ体制を構築することができた。				
課題・今後の方向性	今後、住宅が密集していない地域等であっても、消防水利を整備し、地域の実情に応じた適正な水利を配置する必要がある。				

事務事業名	常備消防施設整備事業			決算書 掲載ページ	404
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	消防総務課	
目	03	消防施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	25,104		24,303	0	801
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,100		0	4,445	17,758
目 的	災害対策拠点施設を整備することにより消防力を充実させ、多様化する住民のニーズに対応できる体制を整備する。				
取組内容・実績	老朽化し危険性のある訓練塔の改修を行った。また、消防本部に導入する地中熱を利用した空調設備の設計を行った。				
成 果	老朽化し危険性のある訓練塔の改修を行い、安全に多角的な訓練をすることにより、消防技術の向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	今年度行った設計を基に、令和3（2021）年度に消防本部に地中熱を利用した空調設備を新設する。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	常備消防車両整備事業			決算書 掲載ページ	404
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	消防総務課	
目	03	消防施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	77,755		76,780	0	975
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		65,700	1,277	9,803
目 的	各種消防車両の更新整備等消防力の整備・充実により、多種多様な災害への救急・救助活動体制の確保につなげ、消防水利の基準に伴う充足率が低い地域、消防水利が不足している地域における消防力の強化・充実を図る。				
取組内容・実績	水槽付き消防ポンプ自動車1台を更新した。				
成 果	更新前の水槽付き消防ポンプ自動車は2㎡の水を積載していたが、更新後の車両は3㎡の水を積載できるようになった。更新により、今まで以上に、消防水利が不足している箇所における消火活動が強固になった。				
課題・今後の方向性	今後も、複雑多様化する災害に効果的かつ効率的に対応できる資機材を装備した車両の高度化を図るため、計画的に整備する必要がある。				

事務事業名	消防施設感染症対策事業			決算書 掲載ページ	404
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	消防総務課	
目	03	消防施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	15,789		14,925	0	864
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	14,925		0	0	0
目 的	新型コロナウイルス感染症の拡大による「新しい生活様式」を踏まえた社会的な環境の整備と救急隊員の感染防止対策を行う。				
取組内容・実績	消防本部でのオンライン会議・研修等の実施に必要な機器及び救急活動時の感染防止策強化に必要な被服等を整備した。				
成 果	新型コロナウイルス感染症の影響で使用頻度が上がったオンライン会議などに対応することができた。また、救急隊員の任務中の感染リスクを低下することができた。				
課題・今後の方向性	今後も新型コロナウイルス感染症を始めとした感染症に対する警戒や感染予防の対応を継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	防災訓練費			決算書 掲載ページ	406
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	141		104	0	37
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	104
目 的	市民一人一人が近年頻発する洪水や土砂災害などの災害時の対応や日頃の備えなど防災活動に関心を持つとともに、新たな洪水浸水想定や土砂災害警戒区域を訓練に併せて周知し、個人の防災意識の向上と地域が主体的に取り組むことで地域防災力の向上を図る。				
取組内容・実績	田尻・北鯖石地区で水害対応総合防災訓練の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を踏まえ、中止とし、次年度に同地区で改めて開催することとした。また、全市一斉地震対応訓練は、その訓練の特性上、それぞれが今いる場所で、1人でできる訓練であることから例年どおり実施し、学校・保育園等から12,984人が参加し幅広い対象者に訓練を実施することができた。				
成 果	今年度の水害対応総合防災訓練は中止となったが、防災訓練については、毎年実施することで、市民の災害への関心を継続して持ってもらう機会となっている。また、災害時に活躍してもらう自主防災会の役員等の交代もあることから、継続開催することで各自主防災会の地域防災力の向上につながっている。				
課題・今後の方向性	地域防災力の向上のために、訓練は継続して実施する必要がある。また、多くの市民参加を求めるところであるが、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら訓練規模を検討する必要がある。				

事務事業名	避難所表示看板整備事業			決算書 掲載ページ	406
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,210		7,801	0	409
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	4,235		0	0	3,566
目 的	自然災害の発生のおそれがある又は発生した際の避難を必要としている市民に対して、避難所表示看板を用いて、指定避難所への適切な誘導を行う。また、原子力災害発生時に、バス避難集会所案内看板を用いて、迅速な市民の集合・避難を行う。				
取組内容・実績	避難所表示看板については、5年計画に基づき、今年度は55か所を設置した。また、原子力災害避難集会所案内看板については、3年計画に基づき、50か所を設置した。				
成 果	指定避難所及び原子力災害時のバス避難集会所に看板を設置したことにより、避難場所に関する市民への周知を図ることができた。				
課題・今後の方向性	避難所表示看板は、指定避難所204か所のうち、平成30(2018)年度から令和2(2020)年度までの3年で137か所を設置した。残りの67か所については、令和3(2021)年度と令和4(2022)年度で設置する予定である。また、原子力災害時避難集会所案内看板は、バス避難集会所102か所のうち、令和2(2020)年度に50か所を設置した。令和3(2021)年度と令和4(2022)年度で残りの52か所に設置する予定である。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	防災ガイドブック作成事業			決算書 掲載ページ	406
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,170		4,895	0	275
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	4,895		0	0	0
目 的	市の地域防災計画や広域避難計画の修正、県の地域防災計画の修正や広域避難計画の策定、国の指針の改正など、最新の知見に基づいた原子力災害時の知識や行動を伝える必要があるため、最新の知見や計画・指針等に基づく内容に見直した防災ガイドブック（原子力災害編）を作成し、全世帯に配布し、原子力防災の意識の向上を図る。				
取組内容・実績	最新の知見や計画・指針等に基づいた内容を分かりやすくまとめた防災ガイドブック（原子力災害編）を作成し、令和3（2021）年2月に全戸配布を行った。				
成 果	令和2（2020）年9月に修正した広域避難計画の修正内容や原子力災害時に取るべき行動など原子力防災に係る知識などを分かりやすくお知らせすることで、広域避難計画の周知を図り、原子力防災知識の普及啓発を行うことができた。				
課題・今後の方向性	全戸配布だけでは、普及啓発が図られるのは一部であることから、作成したガイドブックを活用し、原子力防災知識の普及啓発を図ることが必要である。				

事務事業名	防災体制強化事業			決算書 掲載ページ	408
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,327		6,843	0	484
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	5	6,838
目 的	大規模災害等を想定した平時からの備え及び有事の際の関係機関、外部機関との連携強化が更に求められることから、必要な経費等の負担を行いながら、内部組織及び外部機関との連携について体制を強化する。				
取組内容・実績	大規模災害等を想定した平時からの備え及び有事の際の関係機関、外部機関との連携強化を図るため、必要な経費等の負担を行った。				
成 果	大規模災害等を想定した平時からの備え及び有事の際の関係機関、外部機関との連携体制を維持することができた。				
課題・今後の方向性	大規模災害等を想定した平時からの備え及び有事の際の関係機関、外部機関との連携体制を今後も適切に維持する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	国道画像伝送路整備事業			決算書 掲載ページ	408
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,975		7,924	0	51
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	6,000		0	0	1,924
目 的	災害発生時における国道に関する情報収集を行う。				
取組内容・実績	国道状況の画像配信を行うため、伝送路を旧庁舎から新庁舎に切り替えた。				
成 果	災害発生時における国道に関する情報収集を行い、住民への周知や必要な対策を行うために活用することができるようになった。				
課題・今後の方向性	災害時において道路状況の把握にいかし、適切に運用する必要がある。				

事務事業名	災害対策本部整備事業			決算書 掲載ページ	408
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	108,071		108,071	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		108,000	0	71
目 的	新庁舎災害対策本部に、情報収集分析、整理集約に必要な設備機器を整備する。				
取組内容・実績	多面マルチモニター、災害情報共有システム、テレビ会議システムなどの機器を導入した。				
成 果	緊急時において情報の収集や共有が効率的に行えるようになり、大規模災害を想定した災害対策本部の運営体制が強化された。				
課題・今後の方向性	保守点検等の維持管理や、より良い運用方法の検討が課題となる。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-1 原子力発電所の安全性向上を追求する

事務事業名	自主防災組織育成事業			決算書 掲載ページ	410
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,926		6,378	0	548
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	633		0	2,000	3,745
目 的	防災の知識を有する防災士を育成し、地域防災力を高める。また、資格取得者に対し、その後のフォローアップを行うことにより、地域防災活動を行える人材の育成を行う。あわせて、自主防災組織が行う防災訓練などに、防災派遣し、市民一人一人及び自主防災組織活動の強化につなげる。				
取組内容・実績	防災の知識を有する防災士を育成する防災士養成講座を開催し、42人が新たに資格を取得した。また、資格取得者に対する防災士フォローアップ研修を2回行い、延べ99人が参加した。あわせて、自主防災組織への活動支援として講師を派遣する、防災出前講座を全33回実施し、延べ652人が参加した。				
成 果	防災士養成講座の開催により、地域防災の中心的な役割を担うリーダーを育成することができた。また、防災出前講座、防災士フォローアップ研修の開催により、防災・減災に関する専門的な知識や技能の更なるスキルを高めることができた。				
課題・今後の方向性	資格取得者の地域での活躍を目指し、防災士フォローアップ研修の継続に加え、新たに防災士の伝える力を育成する事業を開始する。また、資格取得者の防災出前講座や防災教育への参画を促し、平時の防災普及の場から地域内で担い手として活動できる体制づくりを推進する。				

事務事業名	原子力防災対策事業			決算書 掲載ページ	410
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	31,582		27,949	0	3,633
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	21,141		0	0	6,808
目 的	原子力発電所立地自治体として、万一のときの住民の生命、財産を守るために必要な防災体制（計画や資機材など）を整備する。また、原子力防災に関する説明会（町内会等への出前講座等）及び原子力防災訓練等を通じて、住民に災害時の情報伝達の在り方や地域共助などを含め、原子力防災に対する意識付けを行う。				
取組内容・実績	県広域避難計画の修正や施策の進展を反映するため、市広域避難計画の修正を行った。修正内容については、ホームページに公表するとともに印刷製本し、関係機関等へ配布して周知を図った。また、通信機器の維持管理、バス避難集会所で使用している新型コロナウイルス感染症対策の資機材を整備した。				
成 果	市広域避難計画を修正し、施策の進展を反映することができ、それを基にした原子力防災訓練を実施することができた。原子力防災資機材の維持管理を行い、加えて、新型コロナウイルス感染症対策に使用する資機材を整備し、原子力災害時に備えた体制整備を図ることができた。				
課題・今後の方向性	原子力災害に備え、国・県等の法令や計画等の施策の進展に合わせて本市計画に反映し、広域避難計画の実効性を高める必要がある。平時から原子力防災資機材の維持管理を行い、原子力防災体制の整備・充実を図る必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-1 原子力発電所の安全性向上を追求する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	原子力防災研修事業			決算書 掲載ページ	410
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		繰 越 額	不 用 額	
	2,389		2,171	0	218
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,171		0	0	0
目 的	放射線の基礎的知識及び原子力防災に関する正しい知識の習得と原子力災害時における防災活動の普及啓発のための研修会を実施する。また、市職員においては、原子力発電所立地自治体職員としての自覚を再認識し、危機管理体制強化につなげるための研修を行う。また、教職員においては、原子力災害時にどのような行動で児童・生徒を安全に避難又は屋内退避させるかを学習する。				
取組内容・実績	消防団を対象とした原子力地域防災リーダー研修（6回：77人）を開催したほか、採用2年目の市職員を対象とした研修を実施した。				
成 果	研修を通じて、消防団員、市職員が放射線や原子力防災に関する知識を習得することで、原子力防災意識の向上を図り、原子力防災体制の強化を図ることができた。				
課題・今後の方向性	消防団を対象とした地域防災リーダー研修においては、研修内容及び対象者の見直しを図り、更なる地域防災力の向上や要配慮者の避難支援体制の整備が必要である。				

事務事業名	放射線防護施設整備事業			決算書 掲載ページ	410
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		繰 越 額	不 用 額	
	222,801		193,582	0	29,219
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	193,582		0	0	0
目 的	新庁舎の災害対策室に放射線防護設備を整備することで、原子力災害が進展し、周辺が一時移転・避難対象地区となった場合でも、市災害対策本部機能を維持する。				
取組内容・実績	新庁舎の建設に併せて令和元（2019）年度から着手し、災害対策室に放射線防護設備を整備した。				
成 果	放射線防護設備を整備したことにより、原子力災害時に事態が進展し、周辺が一時移転・避難対象地区となった場合でも、市災害対策本部機能を維持することができ、防災対策の強化を図ることができた。				
課題・今後の方向性	放射線防護施設整備事業として目的達成のため、令和2（2020）年度で終了する。ただし、今後原子力災害時に良好な状態で放射線防護設備を稼働できるよう定期的な保守点検やフィルター交換等の維持管理を行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	原子力災害時避難円滑化モデル実証事業			決算書 掲載ページ	410
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	212,343		58,533	124,525	29,285
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	9,790		0	0	48,743
目 的	原子力災害時避難円滑化モデル実証事業に取り組むことにより、原子力防災対策の一層の充実・強化を図る。				
取組内容・実績	監視カメラの映像を災害対策室で一元的に視聴できる監視カメラ映像収集システム構築設計を行った。バス避難における情報集積地へ蓄電池を設置するための実現可能性調査を実施し、設置箇所や必要な蓄電池量などを明らかにした。				
成 果	内閣府のモデル事業に取り組むことにより、原子力災害時の避難を円滑にするための避難経路上の改善や交通誘導対策に着手することができた。				
課題・今後の方向性	3か年事業であることから計画的に事業を実施し、最終年度に事業実施によって円滑化がどのように図られたのかという観点で評価を行う必要がある。				

事務事業名	防災情報通信システム整備事業			決算書 掲載ページ	412
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,053,556		1,029,658	0	23,898
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	981,662		0	0	47,996
目 的	令和3（2021）年度末の完了を目指し、柏崎市防災情報通信システム整備計画に沿った整備を図る。				
取組内容・実績	コミュニティFMを用いた防災情報通信システム整備を構築するため、芋川中継局の整備、屋外拡声子局92か所の入替え、緊急告知ラジオ20,000台の配布を行った。				
成 果	芋川中継局周辺の受信困難地域でFM放送が受信できるようになった。また、緊急告知ラジオは令和元（2019）年度と合わせて約30,000台の配布が終了し、配布進捗率は80%となった。				
課題・今後の方向性	残る受信困難地域の解消に向けて、令和3（2021）年度に石地、笠島、青海川、米山の4地点に受信障害対策中継局（GF）の建設を行う。また、非常時における通信網を強化するため無線中継局の整備を行う。				

10款 教育費

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

事務事業名	奨学金貸付事業			決算書 掲載ページ	416
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	教育総務課	
目	02	教育委員会事務局費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	53,178		46,481	0	6,697
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	45,660	821
目 的	成績優秀な学生で経済的理由により就学が困難な者に対して、奨学金の貸付けを行うことにより、教育の機会均等を図る。				
取組内容・実績	経済的な理由により大学・短期大学・専修学校（専門課程）への就学が困難な学生へ貸付けを行った。令和2（2020）年度における貸付者総数は67人、新規貸付者は11名であった。				
成 果	奨学金を貸付けすることにより、教育の機会均等の向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	長期的な視野に立って、他の奨学金制度と比較検討しながら、制度の在り方を検証する必要がある。				

事務事業名	通級指導教室事業			決算書 掲載ページ	420
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	503		366	0	137
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	366
目 的	言葉、聞こえ、発達、コミュニケーション、認知に課題がある児童生徒が、専門的な指導を受けられるよう通級指導教室の体制作りを行う。				
取組内容・実績	指導に必要な教材や教材研究のための書籍などの購入支援、通級指導教室の環境整備を行い、通級指導教室担当者主催の研修会を1回行った。				
成 果	担当者の資質向上や、教室環境の整備につながり、多様な教育的ニーズのある児童生徒が専門的な指導や支援を受けることができた。				
課題・今後の方向性	通級指導教室を利用する児童生徒は増えており、利用する児童生徒の教育的ニーズも多様化している。そのため、指導のための環境整備や通級指導教室担当者の研修を引き続き行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

事務事業名	特別支援学級介助事業			決算書 掲載ページ	422
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	84,182		82,508	0	1,674
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	50,000		0	211	32,297
目 的	特別な教育的支援を必要とする児童が食事、排せつ、教室移動の自立に向けた身の介助や学習活動の補助を受け、より充実した学校生活を送れるよう介助員を任用する。				
取組内容・実績	小学校13校に、33人の特別支援学級介助員を任用し、特別支援学級に在籍する児童の教育的ニーズに応じた身の介助や学習指導を実施した。				
成 果	特別支援学級に在籍する児童が安心して充実した学校生活を送れる体制を確保することができた。				
課題・今後の方向性	小学校の特別支援学級に在籍する児童数は増えている。介助員の配置は、その学校での特別支援学級在籍児童数の増減と特性を考慮しながら、検討する必要がある。				

事務事業名	特別支援教育推進事業			決算書 掲載ページ	422
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,584		2,282	0	302
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	2,282
目 的	適正な就学判断、決定をするため、調査活動を行い、会議を開催する。また、必要な支援が途切れずに受けられる体制づくりと小中一貫教育の推進を行う。学校現場で必要な支援を検討し実行できるよう、校内支援体制を整えるサポートを行う。				
取組内容・実績	特別支援教育会議では、幼児部会・小中部会合わせて、214件の審議を行った。巡回相談では、小学校で50件、中学校で26件の相談依頼があり専門相談員が対応した。特別支援教育嘱託指導主事も幼児部会を中心に対応した。				
成 果	専門員の丁寧な調査により、就学先判断の保護者理解を得ることができた。巡回相談では、困難ケースを、学校が専門相談員の助言を生かして支援を行うことができた。嘱託指導主事が調査に入ること、専門員の負担軽減につながった。				
課題・今後の方向性	依頼件数の増加、依頼案件の複雑化・多様化に対応できるよう担当者の増員と質の向上を行う必要がある。件数の増加に伴い必要な検査実施など、専門員の負担が増えてきているため、解消する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

事務事業名	キャリア教育推進事業			決算書 掲載ページ	422
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,059		3,902	0	1,157
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	125		0	3,296	481
目 的	各種キャリア教育を行い、ふるさと柏崎に誇りと愛着を持ち、夢と希望に向かってたくましく生き抜く児童生徒を育てる。また、保護者や市内企業関係者が自身の働く姿を子どもに語り、その姿から児童生徒が生き方を学ぶ。				
取組内容・実績	コロナ禍で外部講師を招いての講演会ができない状態が続いたが、小・中学校合わせて延べ37の内容で、44名の講師が講演を行った。中学生キャリア教育体験型プログラムを2校で行った。お仕事体験塾では、「柏崎お仕事ガイドブック」を作成し、市内小・中学校に提供した。あわせて、ホームページの改訂を行った。				
成 果	講演を通して働くことのやりがいや講師の生き方に触れ、今後の自分の在り方を考えることができた。キャリア教育体験型プログラムを行い、児童生徒が社会の仕組みを学び将来に対して積極的に関わる姿勢を育んだ。また、お仕事体験塾における「柏崎お仕事ガイドブック」の提供やホームページの改訂により、児童生徒が柏崎の良さや職業について考えるきっかけの一つとなった。				
課題・今後の方向性	講演を依頼する講師の固定化が見られる。様々な業種、人材から話を聞く必要がある。中学生キャリア教育体験型プログラムを行う学校が固定化してきているため、より多くの学校に周知を図る必要がある。				

事務事業名	英語教育推進事業			決算書 掲載ページ	422
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	29,697		26,087	0	3,610
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	22,684	3,403
目 的	小・中学校の外国語授業で、英語によるコミュニケーション能力を向上させるため、ALT（外国語指導助手）を配置し、交流をとおして異文化理解を深める。				
取組内容・実績	常勤5名（後期は4名）、非常勤2名のALTを配置し、小・中学校の全クラスで月2回以上、外国語活動やチームティーチング授業を行った。				
成 果	ALTとの様々な活動を通して、児童生徒のコミュニケーション能力向上や異文化理解を深めることができた。				
課題・今後の方向性	令和2（2020）年度の新学習指導要領全面実施に伴い、小学校で英語が教科化されたが、現在の授業数を確保するためにALTを増員する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

事務事業名	指導補助事業			決算書 掲載ページ	424
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	114,446		109,173	0	5,273
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	7,418		0	50,266	51,489
目 的	通常学級で支援を必要とする児童生徒に学習指導や生徒指導の補助・支援を行うため指導補助員を配置する。また、日本語指導を必要とする児童生徒の就学体制を整える。さらに、教職員の負担を軽減するため中学校に部活動指導員を配置する。				
取組内容・実績	指導補助員41名を市内の小・中学校24校に配置した。また、日本語指導員3名を任用し、日本語の指導が必要な児童生徒9名に指導を行った。さらに、部活動指導員8名を任用し、市内の中学校6校へ配置した。				
成 果	指導補助員を配置したことにより、より手厚く児童生徒が学習授業に取り組めるようになった。また、日本語指導を行い、対象の児童生徒が授業に取り組みやすくなった。さらに、部活動指導員を配置し、中学校の教職員の負担が軽減された。				
課題・今後の方向性	児童生徒数は減っているが、児童生徒の状態や学習環境は年々変化するため、状況に応じて指導補助員の人数を確保する必要がある。また、学習補助を行う観点からも日本語指導を行う必要がある。さらに、教職員の負担軽減のため、引き続き部活動指導員を任用する必要がある。				

事務事業名	科学技術教育事業			決算書 掲載ページ	426
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	04	教育センター費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,300		7,084	0	1,216
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	1,574	5,510
目 的	柏崎刈羽地区の小・中学校の理科担当教員の指導力向上と児童生徒の適切な科学概念の形成、地域の科学教育振興を図る。				
取組内容・実績	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために中止した研修もあったが、遠隔型の研修により中止講座を最小限にして研修を行った。教職員向けの研修は20回開催し、100名が受講した。学校等要請研修は58回行い、1,642名が受講した。科学教育振興事業は5事業行い、3,780名が参加した。				
成 果	遠隔型や授業ビデオ作成を工夫した研修を行うことで、受講者の満足度が高く分かりやすい研修内容となり、教職員の指導力向上を図ることができた。また、発表会や作品展、Web版科学のえんま市などを行い、児童生徒の科学への興味関心を高めることができた。				
課題・今後の方向性	理科担当教員のさらなる指導力向上のために、参加者のニーズを考慮し、短時間で授業にいかせる研修や教材教具に関する研修、遠隔授業教材の集積を図る必要がある。また、保護者を含めて科学教育を行うための広報を工夫する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	小学校指導書等整備費			決算書 掲載ページ	430
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	学校教育課	
目	01	学校管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	38,635		38,451	0	184
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	38,451
目 的	教師用指導書と教科書を購入し、指導と教科研究を行うことで、教育水準の維持向上を図る。また、児童本人の過失以外（災害、水害など）で亡失した児童の教科書を購入し、教育の保障を行う。				
取組内容・実績	令和元（2019）年度に教科書が採択され、令和2（2020）年度から新教科書を使用しているため、学級編制に基づき教師用の指導書と教科書を新規で購入した。				
成 果	教師用指導書と教科書を購入し、指導と教科研究を行うことで、教育水準の維持向上、教育の機会均等の保障を行うことができた。				
課題・今後の方向性	今後も新規で使う学年分と学級編制で生じる不足分を購入し、教育の機会均等の保障を行うことが必要である。				

事務事業名	G I G Aスクール整備事業			決算書 掲載ページ	432
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	教育総務課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	294,048		239,883	0	54,165
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	203,583		34,600	0	1,700
目 的	全ての子供に学校のICTを活用した学習活動を充実させて、災害や感染症発生等による学校の臨時休業等の緊急時においても、学びを保障できる環境整備を図る。				
取組内容・実績	<p>【現年度予算】</p> <p>ICTを活用した学習活動の充実のため、iPadを小学3生から小学6年生までの児童用として2,544台、教職員用として302台を配付した。また、Wi-Fi環境が整っていない家庭に通信機器を貸与するため、モバイルルータを190台を購入した。</p> <p>【繰越明許予算】</p> <p>市内小学校20校に電源キャビネットを169台、無線用アクセスポイント179か所に設置を行った。</p>				
成 果	国が推進するG I G Aスクール構想を実現するため、学習環境を整備することができた。				
課題・今後の方向性	学習環境の検証を行いながら、児童の学力向上に必要な整備を進める必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

事務事業名	就学援助費			決算書 掲載ページ	432
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	学校教育課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	42,437		34,759	0	7,678
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	7		0	191	34,561
目 的	経済的理由で就学が困難な児童に対し就学援助費を支給することにより、就学環境を保障し義務教育を円滑に行う。				
取組内容・実績	要保護16名、準要保護448名、計464名の小学生の保護者に就学援助費を支給した。				
成 果	就学援助費を支給し、学用品費などの費用を援助したことで、義務教育を円滑に行うことに貢献した。				
課題・今後の方向性	制度の認知を高めるため、周知方法の工夫を検討する。また、令和3(2021)年度から、小学校3年生以上の援助対象者にオンライン学習通信費として、年額1万円を新たに支給する。				

事務事業名	就学奨励費			決算書 掲載ページ	434
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	学校教育課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,754		6,148	0	606
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,604		0	0	4,544
目 的	特別支援学級に在籍する児童と他校の通級指導教室に通う児童に対し就学奨励費を支給することにより、就学環境を保障し特別支援教育の振興を図る。				
取組内容・実績	特別支援学級に在籍する児童161名の保護者に、小学校の必要経費(学用品費、学校給食費など)の一部を支給した。また、令和2(2020)年度から、児童48名の保護者に、他校の通級指導教室へ通う際の交通費を一部支給した。				
成 果	特別支援学級に在籍する児童や、他校の通級指導教室へ通う保護者の経済的な負担を軽減することができた。				
課題・今後の方向性	小学校の在籍児童数は減少しているが、特別支援学級に在籍者と就学奨励費支給対象者は増加しており、今後も対象児童の保護者の経済的負担を軽減し、就学環境を保障する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	学校施設長寿命化事業			決算書 掲載ページ	434
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	教育総務課	
目	03	学校建設費	現年度・繰越の別	現年度予算 ・継続費・通次繰越予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	436,322		295,233	112,300	28,789
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	46,598		140,800	20	107,815
目 的	老朽化部分の改修工事を行うことで、施設の長寿命化を図る。学校施設等長寿命化計画（個別施設計画）の策定により、施設改修が必要となる時期・コスト等を把握し、学校施設整備の中長期的な方向性を明確にする。				
取組内容・実績	半田小学校大規模改修工事を実施するとともに、横原小学校大規模改修・校舎棟増築工事設計業務委託を行った。また、学校施設等長寿命化計画（個別施設計画）を策定した。				
成 果	老朽化部分の改修工事及び長寿命化工事により、利便性及び快適性が向上し、良好な教育環境の整備ができた。また、学校施設等長寿命化計画（個別施設計画）の策定により、計画的な長寿命化改修の方向性を明確にすることができた。				
課題・今後の方向性	学校施設等長寿命化計画（個別施設計画）に基づき、適正な規模での学校配置や財政負担の平準化も考慮し、老朽化した学校施設を計画的に改修等を行う必要がある。				

事務事業名	小学校施設整備事業			決算書 掲載ページ	434
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	教育総務課	
目	03	学校建設費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	93,413		81,140	0	12,273
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	15,309		37,200	0	28,631
目 的	各施設の計画的な整備と維持管理を適切に行うことにより、学校施設利用者の安全性を確保し、健全な学校運営を行う。				
取組内容・実績	【現年度予算】 柏崎小学校屋内体育館西面外壁改修工事、荒浜小学校校舎棟トイレ増築工事、鯖石小学校校舎棟内部改修工事（鯖石保育園移転その他改修工事）を行った。 【繰越明許予算】 鯖石小学校空調設備設置工事、内郷小学校体育館トイレ改修工事を行った。				
成 果	老朽化部分等の改修により、施設の安全性・利便性・快適性が向上し、良好な教育環境の整備ができた。				
課題・今後の方向性	老朽化が進行し、早急な改修を必要とする施設が増加しているため、安全性の確保を優先しながら、良好かつ快適な教育環境の整備を継続して進める必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	日吉小学校体育館等改築事業			決算書 掲載ページ	434
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	教育総務課	
目	03	学校建設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	91,306		73,675	0	17,631
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	26,071		18,700	6	28,898
目 的	児童の安全確保、教育環境の向上を図る。				
取組内容・実績	平成30（2018）年度からの継続事業として、旧体育館棟・旧食堂棟解体工事を行った。また、旧体育館跡地整備測量設計業務を委託し、解体後の跡地に駐車場等を整備するための測量設計を行った。				
成 果	児童の安全・安心を確保し、良好かつ快適な教育環境の整備を進めることができた。				
課題・今後の方向性	測量設計に基づき、旧体育館棟・旧食堂棟跡地に駐車場等を整備するとともに、学校敷地内通路の整備を行い、改築事業が令和3（2021）年度で完了する予定である。				

事務事業名	G I G Aスクール整備事業			決算書 掲載ページ	440
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	教育総務課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	161,931		155,567	0	6,364
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	132,522		22,100	0	945
目 的	全ての子供に学校のICTを活用した学習活動を充実させて、災害や感染症発生等による学校の臨時休業等の緊急時においても、学びを保障できる環境整備を図る。				
取組内容・実績	<p>【現年度予算】</p> <p>ICTを活用した学習活動の充実のため、iPadを中学1年生から中学3年生までの生徒用として1,751台、教職員用として169台を配付した。また、Wi-Fi環境が整っていない家庭に通信機器を貸与するため、モバイルルータを90台を購入した。</p> <p>【繰越明許予算】</p> <p>市内中学校11校に電源キャビネットを70台、無線用アクセスポイント148か所に設置を行った。</p>				
成 果	国が推進するG I G Aスクール構想を実現するため、学習環境を整備することができた。				
課題・今後の方向性	学習環境の検証を行いながら、児童の学力向上に必要な整備を進める必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

事務事業名	就学援助費			決算書 掲載ページ	440
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	学校教育課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	43,116		31,992	0	11,124
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	11		0	119	31,862
目 的	経済的理由で就学が困難な生徒に対し就学援助費を支給することにより、就学環境を保障し義務教育を円滑に行う。				
取組内容・実績	要保護9名、準要保護293名、計302名の中学生の保護者に就学援助費を支給した。				
成 果	就学援助費を支給し、学用品費などの費用を援助したことで、義務教育を円滑に行うことに貢献した。				
課題・今後の方向性	制度の認知を高めるため、制度の更なる周知方法の工夫を検討する。また、令和3（2021）年度から、援助対象者にオンライン学習通信費として、年額1万円を新たに支給する。				

事務事業名	就学奨励費			決算書 掲載ページ	440
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	学校教育課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,258		2,582	0	676
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	688		0	0	1,894
目 的	特別支援学級に在籍する生徒と他校の通級指導教室に通う生徒に対し、就学奨励費を支給することにより、就学環境を保障し特別支援教育の振興を図る。				
取組内容・実績	特別支援学級に在籍する生徒50名の保護者に、中学校の必要経費（学用品費、学校給食費など）の一部を支給した。また、令和2（2020）年度から、生徒8名の保護者に他校の通級指導教室へ通う際の交通費を一部支給した。				
成 果	特別支援学級に在籍する児童や他校の通級指導教室へ通う保護者の経済的な負担を軽減することができた。				
課題・今後の方向性	中学校の在籍生徒数は減っているが、特別支援学級在籍者はほぼ横ばいであり、今後も対象生徒の保護者の経済的負担を軽減し、就学環境を保障する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	心の教室相談員事業			決算書 掲載ページ	440
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	学校教育課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	1,484	1,358	0	126	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	1,358	
目 的	生徒が悩みや不安を気軽に話し、ストレスを和らげることができるように心の教室相談員を配置し、いじめや不登校など生徒指導上の様々な問題の未然防止や素早い対応を行う。				
取組内容・実績	中学校6校に3人の心の教室相談員を配置した。生徒との教育相談や関わりを1,389件行った。				
成 果	学校の実態に応じた、よりきめ細かな相談支援業務を行うことができた。				
課題・今後の方向性	今後も多様なケースへの対応が必要であり、相談員の確保と資質の向上を図ることが必要である。				

事務事業名	中学校施設整備事業			決算書 掲載ページ	442
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	教育総務課	
目	03	学校建設費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	28,830	26,576	0	2,254	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	14,918	7,700	0	3,958	
目 的	各施設の計画的な整備と維持管理を適切に行うことにより、学校施設利用者の安全性を確保し、健全な学校運営を行う。				
取組内容・実績	【現年度予算】 第一中学校屋内体育館南面外壁改修工事を行った。 【繰越明許予算】 西山中学校体育館トイレ改修工事を行った。				
成 果	老朽化部分等の改修により、施設の安全性・利便性・快適性が向上し、良好な教育環境の整備ができた。				
課題・今後の方向性	老朽化が進行し、早急な改修を必要とする施設が増加しているため、安全性の確保を優先しながら、良好かつ快適な教育環境の整備を継続して進める必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	学校施設長寿命化事業			決算書 掲載ページ	442
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	教育総務課	
目	03	学校建設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,880		5,412	0	468
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	5,412
目 的	学校施設等長寿命化計画（個別施設計画）の策定により、施設改修が必要となる時期・コスト等を把握し、学校施設整備の中長期的な方向性を明確にする。				
取組内容・実績	学校施設等長寿命化計画（個別施設計画）を策定した。				
成 果	学校施設等長寿命化計画（個別施設計画）の策定により、計画的な長寿命化改修の方向性を明確にすることができた。				
課題・今後の方向性	学校施設等長寿命化計画（個別施設計画）に基づき、適正な規模での学校配置や財政負担の平準化も考慮し、老朽化した学校施設の改修等を計画的に行う必要がある。				

事務事業名	東中学校改築事業			決算書 掲載ページ	442
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	教育総務課	
目	03	学校建設費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	974,689		163,650	809,672	1,367
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		98,100	0	65,550
目 的	生徒の安全確保、教育環境の改善を図る。				
取組内容・実績	東中学校改築事業基本構想及び基本設計を踏まえて、実施設計を行った。また、令和3（2021）年度からの改築工事に当たり、耐力度調査を実施し、また、駐輪場の移設が必要となったため、仮設駐輪場設置工事を行った。				
成 果	老朽化した校舎・屋内体育館を改築する実施設計が完了し、安全・安心で、かつ、快適で良質な教育環境を整備する改築事業を計画的に進めることができた。				
課題・今後の方向性	実施設計に基づき、令和4（2022）年度の竣 ^{しゅん} 工に向けて改築工事を進めるとともに、令和5（2023）年度に予定する既存校舎・屋内体育館解体工事の設計等を計画的に行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-2 学びを通じて地域の『たくましさ』をはぐくむ
	④-2-2 家庭・地域の教育力を高め、共助社会を形成する

事務事業名	放課後子ども教室推進事業			決算書 掲載ページ	444
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	子育て支援課	
目	01	社会教育総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,443		1,168	0	275
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	717		0	0	451
目 的	放課後の安全・安心な居場所を提供し、地域の方々とともに、子どもたちの安全と健全育成を図る。				
取組内容・実績	コミュニティセンター等を活用し、地域の方々の協力を得て、子どもたちの学習やスポーツ、文化活動等を支援した。 活動日数217日、延べ162人が参加した。				
成 果	地域住民がボランティアとして活動を支援したり、地域に働きかけて地域ぐるみで子どもたちを育てようという雰囲気を広げることで、地域・活動場所が子どもたちの安全・安心で居心地の良い場所になった。				
課題・今後の方向性	地域の子どもの居場所作りに寄与するために、引き続き事業を実施する必要がある。				

事務事業名	市民大学運営事業			決算書 掲載ページ	444
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	文化・生涯学習課	
目	01	社会教育総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,069		492	0	577
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	293	199
目 的	地元大学や地域の人材との連携により、様々な知識を学ぶ機会を市民に提供し、自己実現や豊かな人生の創造を支援する。また、その学習成果が地域づくりに活用され、地域社会の活力につながることを目指す。				
取組内容・実績	地元大学や地域の人材と連携して11講座(延べ31回)を開催し、350人(延べ777人)が受講した。				
成 果	本市の地域振興、高齢者福祉をテーマとしたことにより、市民が地域の実情や課題を知り、地域づくりへの関心を高めることにつながった。また、自身の知識や経験を基に市民自らが講師を務める講座も開催し、学習活動の活性化に資することができた。				
課題・今後の方向性	地域の課題解決などに学習成果が活用されるように、コミュニティセンター等とより一層連携を深め、人材情報の共有などを進める必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-2 学びを通じて地域の『たくましさ』をはぐくむ
	④-2-1 学びの機会を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

事務事業名	新成人フェスティバル運営事業			決算書 掲載ページ	444
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	文化・生涯学習課	
目	01	社会教育総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,666		2,214	0	452
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	2,214
目 的	新成人の門出を祝福し、励ますとともに、成人としての自覚と社会参加を促す機会とする。				
取組内容・実績	全国的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、やむを得ず式典の開催を中止した。なお、代替事業として、お祝いメッセージ動画の配信（投稿動画件数64件、動画視聴回数1万2千回以上）と記念品の贈呈（709件）を行った。				
成 果	代替事業を実施することで、市民を挙げて新成人を祝福することができ、新成人から郷土への愛着や誇りを意識してもらうことがつながった。				
課題・今後の方向性	新型コロナウイルス感染症に対応した開催方法の検討と運営の工夫に取り組む必要がある。				

事務事業名	青少年健全育成事業			決算書 掲載ページ	446
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	文化・生涯学習課	
目	01	社会教育総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,594		4,161	0	433
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	4,161
目 的	関係機関と連携し、青少年の非行・被害の防止を社会全体で取り組み、青少年の健全育成を推進する。				
取組内容・実績	青少年育成委員65名が、柏崎駅や市内中心部での街頭育成活動を実施（年間23回、延べ参加者140人）した。また、各中学校区での地区育成活動を実施（年間10回、延べ参加者数116人）した。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中高生と大人の座談会やえんま市育成活動など中止した事業もあった。				
成 果	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できない事業もあったが、各種育成活動で中高生に挨拶や声掛けを行い、青少年の非行・被害防止、安心・安全の見守りに貢献することができた。				
課題・今後の方向性	これまでの青少年健全育成の取組、少子化や青少年の生活様式等により、非行少年の検挙、補導件数は年々減少してきている。また、各学校やコミュニティセンターなどでもボランティアによる安全・安心を見守る体制の整備が進んでいることから、青少年育成センター及び青少年育成委員は、令和3（2021）年4月1日をもって廃止となった。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-3 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる
	⑤-3-2 市民の主体的な文化活動を支援する

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-3 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる
	⑤-3-2 市民の主体的な文化活動を支援する

事務事業名	市美術展覧会費			決算書 掲載ページ	448
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	文化・生涯学習課	
目	01	社会教育総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,039		1,657	0	382
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	357	1,300
目 的	市民の創作活動の成果を発表する機会を提供するとともに、市民の美術への関心を高める。				
取組内容・実績	市民の日頃の創作活動の成果を発表する機会として、市美術展覧会をWeb上で開催し、202人の方から出品いただき、延べ3,754人のアクセスがあった。 また、アルフォーレマルチホールを会場に入賞作品展を開催し、617人の方が来場した。				
成 果	市民一人一人が芸術活動を身近に感じ、芸術に親しむ機会の充実を図ることができた。				
課題・今後の方向性	60年を超える伝統のある市美術展覧会であり、市民の創作活動の成果を発表する機会を提供するとともに、市民の美術に対する関心を高めるために今後も継続して開催する必要がある。また、今後はWeb展も併用し、アーカイブ化によって過去の入賞作品がインターネットからいつでも鑑賞できるようにしていく。				

事務事業名	文化振興支援事業			決算書 掲載ページ	448
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	文化・生涯学習課	
目	01	社会教育総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,108		800	0	1,308
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	800
目 的	市民一人一人が文化芸術を身近に感じ、親しむことのできる魅力あるまちづくりに取り組む。				
取組内容・実績	古典を活かした柏崎地域活性化事業実行委員会を組織して柏崎古典フェスティバルを実施し、446人が来場した。				
成 果	柏崎古典フェスティバルを実施し、民間が有する創造力と知見を活用しながら、良質な古典の鑑賞機会や文化芸術に親しむ機会を提供することができた。				
課題・今後の方向性	ウィズコロナを視野に入れながら、市民一人一人が文化芸術を身近に感じ、親しむことのできる魅力あるまちづくりを目指すため、今後も新たな文化交流の発展を進めるとともに、市民の関心や理解が深まる文化芸術活動に対し支援する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-3 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる
	⑤-3-1 歴史・文化を保全・活用し、継承する

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-3 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる
	⑤-3-1 歴史・文化を保全・活用し、継承する

事務事業名	綾子舞後継者育成事業			決算書 掲載ページ	450
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	博物館	
目	02	文化財保護費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	1,649	1,368	0	281	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	1,368	
目 的	国指定重要無形民俗文化財綾子舞の後継者を育成することにより、文化財の保存・伝承を図る。				
取組内容・実績	綾子舞伝承学習を伝承地を学区とする南中学校区の小・中学生を対象に実施した。 期間 6月9日～10月30日 延べ7回 参加者数60人(前年度73人) 綾子舞伝承者養成講座を高原田及び下野の2つの座元において実施した。 期間 6月2日～11月24日 延べ36回 参加者数673人(前年度617人)				
成 果	地元小・中学生対象の伝承学習を通じて綾子舞に取り組むきっかけを与え、伝承者養成講座が座元を含む後継者の技量向上の場となり、後継者の育成ができた。				
課題・今後の方向性	少子高齢化が進んでいるが、綾子舞を継承するために伝承学習や養成講座を継続する必要がある。また、参加者数や指導者数の確保が課題となっている。				

事務事業名	綾子舞保存振興事業			決算書 掲載ページ	452
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	博物館	
目	02	文化財保護費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	2,681	1,904	0	777	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	1,904	
目 的	柏崎市綾子舞保存振興会の年間活動費等に対し補助するとともに、広く市民に綾子舞を鑑賞する機会を提供することでその保存伝承活動を充実させる。				
取組内容・実績	綾子舞の保存振興を図ることを目的に組織されている柏崎市綾子舞保存振興会に対して、その活動を支援するため、補助金を交付した。 綾子舞現地公開を9月13日に予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。				
成 果	柏崎市綾子舞保存振興会に補助金を交付することで、同会を中心とした保存伝承活動を円滑に進め、継承の体制を充実させることができた。				
課題・今後の方向性	少子高齢化が進む中、後継者育成を図るためには、今後も同会への支援を継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-2 学びを通じて地域の『たくましさ』をはぐくむ
	④-2-1 学びの機会を充実させる

事務事業名	図書館サービス事業			決算書 掲載ページ	460
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	図書館	
目	04	図書館費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	53,413		52,960	0	453
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	250	52,710
目 的	図書館利用者が快適に資料の貸出しや返却を行えるよう、環境整備を図る。				
取組内容・実績	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館もあったが、図書館の利用環境の整備に取り組み、89,927人に282,791点の資料の貸出しを行った。入館者は、223,655人であった。また、学校読書支援員5人が市内の小学校20校を巡回し、読書支援を行った。				
成 果	レファレンス対応やテーマに沿った資料展示により、引き続き市民の生涯学習の支援を行うことができた。学校読書支援員を1人増員し、学校図書館の整備や読書支援を充実することができた。				
課題・今後の方向性	利用しやすく役に立つ図書館であるために、読書環境を充実させる必要がある。また、学校読書支援を充実させるため、支援の体制や方法を工夫する必要がある。				

事務事業名	イベント・講座開催費			決算書 掲載ページ	460
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	図書館	
目	04	図書館費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,238		1,365	0	873
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,365
目 的	読書に関する講座やイベントを開催することにより、読書活動の普及促進を図る。				
取組内容・実績	真貝新一写真展に4122人の入場があり、Web上での展示には、697人のアクセスがあった。そのほか、絵本ライブ&セミナー(97人参加)を始めとした様々なイベントや講座を実施した。また、ブックスタート絵本を459人に918冊プレゼントした。				
成 果	新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止や変更となったものもあるが、幅広い年代を対象にしたイベントを実施することにより、読書活動を支援することができた。また、ブックスタート絵本で読書のきっかけづくりをすることができた。				
課題・今後の方向性	引き続き、関係機関と連携しながらイベントや講座を行っていくが、図書館の利用や読書活動の推進につながるように工夫する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-2 学びを通じて地域の『たくましさ』をはぐくむ
	④-2-1 学びの機会を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-3 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる
	⑤-3-1 歴史・文化を保全・活用し、継承する

事務事業名	図書館施設整備事業			決算書 掲載ページ	460
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	図書館	
目	04	図書館費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	53,711		53,711	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	47,000		0	0	6,711
目 的	図書館の空調設備の改修を行うことにより、図書館利用者の快適性を確保する。				
取組内容・実績	密閉式冷却塔の部品を入れ替える修繕や図書館内の閉架書庫と音響調光室のパッケージ型空調機器を入れ替える修繕を行った。また、令和3（2021）年度に行う空調設備入替改修工事のため、設計の委託を行った。				
成 果	老朽化していた空調設備の一部を入れ替えたことにより、安定して快適な環境を確保することができた。また、令和3（2021）年度に行う工事に向けた設計を行ったことにより、工事を円滑に進める準備をすることができた。				
課題・今後の方向性	令和3（2021）年度は、設計に基づき安全に空調設備の入替工事を行う必要がある。また、今後も安全に快適に図書館を利用できるように、老朽化した施設や設備を計画的に整備する必要がある。				

事務事業名	WEBミュージアム推進事業			決算書 掲載ページ	464
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	博物館	
目	05	博物館等費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,376		6,763	0	613
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	6,763
目 的	文化的価値のある所蔵品等をデジタルアーカイブ化及びデータベース化し、インターネット上で公開することにより、住民等による生涯学習や地域学習の活動場面の一助とする。				
取組内容・実績	大人向け及び子ども向けのWEBミュージアムの運用を継続するとともに、大人向けのWEBミュージアムでは新たに23件の文化財等を高精細画像で撮影し、公開した。また、システムのバージョンアップも行った。				
成 果	大人向けのWEBミュージアムでは、画像の撮影、公開により、文化財等のデジタル化を推進した。また、子ども向けのWEBミュージアムでは、引き続き地域の文化、風土を学習できるようになった。				
課題・今後の方向性	文化財等の高精細画像撮影費が高額であることから、単年度における新規更新件数は限定的であり、計画的に継続する必要がある。また、GIGAスクール事業により児童生徒のインターネット利用環境が充実したことから、学校でのWEBミュージアム活用促進が求められている。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-3 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる
	⑤-3-1 歴史・文化を保全・活用し、継承する

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-1 スポーツによる地域づくりや生きがいづくりを進める

事務事業名	飯塚邸管理運営費			決算書 掲載ページ	468
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	博物館	
目	07	飯塚邸費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,861		6,616	0	245
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	727	5,889
目 的	本市の指定文化財である史跡・飯塚邸を広く公開するため、効率的な管理運営を行う。				
取組内容・実績	地元町内会と市が施設管理業務委託及び入館料・使用料の収納事務委託契約を締結して管理を行った。 入館者数：1,834人				
成 果	地元町内会と市が連携して施設管理を行い、文化財として維持保存し、施設の魅力を生かした事業を展開することができた。				
課題・今後の方向性	適切な施設管理を行うため、今後も地元町内会と連携する必要がある。				

事務事業名	市民スポーツ大会経費			決算書 掲載ページ	474
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	スポーツ振興課	
目	02	体育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,655		5,173	0	482
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,000		0	5	3,168
目 的	様々なスポーツ大会を企画、開催することにより、市民誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境づくりとスポーツに親しむきっかけづくりの推進を図る。				
取組内容・実績	新型コロナウイルス感染症の影響により、5年に一度の市民大運動会を始めとして、多くの行事が中止となったが、(一財)柏崎市スポーツ協会や企業・地域と連携して小学生競技スポーツ体験会(11競技種目、延べ1,000人以上が体験)を、地区体協と協力しWEB運動会(7地区体協、93人参加)を、それぞれ実施した。				
成 果	感染防止対策を講じながら、ウィズコロナを意識したスポーツ振興を進めることができた。				
課題・今後の方向性	ウィズコロナを見据え、多くの市民が参加する大会の企画や市民がスポーツに親しむための積極的アプローチ等を検討する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-1 スポーツによる地域づくりや生きがいがづくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-2 全国や世界に通用する競技者を育てる

事務事業名	市町村生涯スポーツ振興事業			決算書 掲載ページ	476
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	スポーツ振興課	
目	02	体育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,286		757	0	529
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	60		0	0	697
目 的	地域における競技スポーツ専門指導者を、各市立中学校の部活動の状況に応じて部活動外部指導者として派遣し、地域内の連携を強め、競技力の向上を図るとともに、教員の多忙化解消を進める。				
取組内容・実績	市内中学校6校の運動部活動に専門指導者(スポーツエキスパート)10人を派遣した。				
成 果	中学生に対して、競技の説明や練習方法の指導などを行い、運動部活動を支援することにより、競技力の向上や教員の負担軽減に寄与した。				
課題・今後の方向性	令和5(2023)年度から段階的に実施される中学校部活動の地域移行について、関係各方面と連携しながら対応を進める必要がある。				

事務事業名	スポーツ事業支援経費			決算書 掲載ページ	476
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	スポーツ振興課	
目	02	体育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	22,660		21,236	0	1,424
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	4,000	17,236
目 的	(一財)柏崎市スポーツ協会等と連携し、競技スポーツの選手強化に取り組む。また、多くの市民が気軽に参加できる行事(市民登山、各種市民スポーツ大会など)を開催することにより、運動習慣の定着を図り、健康づくりと生きがいがづくりを進める。				
取組内容・実績	(一財)柏崎市スポーツ協会、地区体育協会に補助金を交付し、市民スポーツの普及、振興を図った。また、市民スポーツ大会の開催を委託し、専門員による適正な大会運営を行った。				
成 果	コロナ禍の厳しい状況であったが、関係団体と連携し、競技スポーツの振興や地域における生涯スポーツ振興、健康・体力づくりの推進に結びつけることができた。				
課題・今後の方向性	ウィズコロナを見据えたスポーツ振興について、関係団体と連携しながら検討を進める必要がある				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-2 全国や世界に通用する競技者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-1 スポーツによる地域づくりや生きがいづくりを進める

事務事業名	選手強化事業			決算書 掲載ページ	476
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	スポーツ振興課	
目	02	体育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,300		3,850	0	1,450
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,451		0	0	2,399
目 的	補助金を交付し、ジュニア世代の競技力向上・選手強化を図る。				
取組内容・実績	県の強化指定を受けている3競技（水球、陸上、ハンドボール）団体に対し、地域ジュニア競技スポーツクラブ育成事業補助金を交付し、小・中・高生の選手強化を図った。				
成 果	新型コロナウイルス感染症の影響で多くの大会・競技会が中止になったが、限られた代替大会で中高生が活躍した。				
課題・今後の方向性	県の強化指定を受けている3競技の活動支援や大会派遣費用の補助を継続し、ジュニア世代の競技力の維持、向上を図る必要がある。				

事務事業名	水球のまち柏崎推進事業			決算書 掲載ページ	476
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	水球のまち推進室	
目	02	体育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,893		8,473	0	2,420
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	5,278	3,195
目 的	水球競技を核として様々なシティセールス活動を推進することにより、アジア圏における水球のトップランナーの地位を確立し、柏崎市のイメージアップ・インバウンド・国際交流拡大につなげ、地域の活性化を図る。				
取組内容・実績	コロナ禍の厳しい状況であったが、台湾からの水球留学生受入れや、セルビア共和国、モンテネグロ両国とは、児童が描いた絵画を用いた相互交流の実施等を通して、文化交流を始めることができた。また、郵便配達車両への水球ステッカー貼付、水球ラッピングポストの設置、駅前バスターミナルの装飾、水球マンホールの設置などを実施したほか、海で水球 in 柏崎を、7/11 笠島漁港、8/1 柏崎港で開催し、合計約600人の来場者が訪れた。				
成 果	コロナ禍で実施できなかった事業があったが、文化交流など新たな事業に着手した。また、水球の認知度向上を図る事業の継続実施により、PR強化を図ることができた。				
課題・今後の方向性	水球の世界的な強豪国であるセルビア共和国、モンテネグロ両国やアジア圏の水球チームとのつながりを更に強め「水球のまち柏崎」の世界的な知名度の向上を図り、国際交流の裾野を一般市民（特に児童、生徒）に広げる必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-2 全国や世界に通用する競技者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-2 全国や世界に通用する競技者を育てる

事務事業名	体育施設管理運営経費			決算書 掲載ページ	478
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	スポーツ振興課	
目	03	体育施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	374,339	367,239	0	7,100	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	83,000	0	7	284,232	
目 的	(公財) かしわざき振興財団が指定管理者として管理する15体育施設及び直営の2施設を適切に管理し、利用者が安全・快適に体育施設を利用できる環境を整備する。				
取組内容・実績	体育施設の維持管理に要する費用(指定管理料など)を支出し、適切な維持管理に努めた。				
成 果	安全・快適な利用環境を提供することができた。				
課題・今後の方向性	安定的な施設運営を継続する必要がある。				

事務事業名	陸上競技場整備事業			決算書 掲載ページ	478
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	スポーツ振興課	
目	03	体育施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	7,000	6,721	0	279	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	6,721	
目 的	5年に一度必要となる日本陸連第2種公認の更新のために必要な改修を実施し、安全・快適な利用環境の整備を行う。				
取組内容・実績	2種公認更新のために必要となる改修工事の設計を行った。				
成 果	改修工事に向けた準備を整えることができた。				
課題・今後の方向性	安全・快適な利用環境を維持するため、必要な改修を実施する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-2 全国や世界に通用する競技者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-2 全国や世界に通用する競技者を育てる

事務事業名	白竜公園テニスコート整備事業			決算書 掲載ページ	478
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	スポーツ振興課	
目	03	体育施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	167,000		164,534	0	2,466
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	110,000		0	0	54,534
目 的	老朽化した施設・設備の更新を行い、安全・快適な利用環境の整備を行う。				
取組内容・実績	人工芝の張替工事及びナイター照明の改修工事（LED化）を行った。				
成 果	施設利用者の利便性向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	安全・快適な利用環境を維持するため、必要な改修を実施する必要がある。				

事務事業名	県立柏崎アクアパーク整備事業			決算書 掲載ページ	480
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	スポーツ振興課	
目	03	体育施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	56,945		56,458	0	487
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	20,625		0	0	35,833
目 的	老朽化した施設・設備の更新を行い、安全・快適な利用環境の整備を行う。				
取組内容・実績	外壁タイルの落下により通行できなくなっていたコリドール（外通路）の修繕、アイスリンクの氷上整備車の更新などを行った。				
成 果	施設利用者の利便性向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	安全・快適な利用環境を維持するため、必要な改修を実施する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

事務事業名	給食施設整備事業			決算書 掲載ページ	482
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	教育総務課	
目	04	学校給食運営費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	43,289	43,288	0	1	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	35,000	0	0	8,288	
目 的	衛生事故を未然に防止するため、学校給食衛生管理基準(文科省)、大量調理マニュアル(厚労省)に沿った調理場施設の整備を行う。また、施設の長寿命化を図るため、調理場適正配置を踏まえた施設の改修を行う。				
取組内容・実績	西部地区調理場調理室のドライ化改修を行った。東部地区調理場洗浄室の空調設置工事を行った。				
成 果	適正な改修により、大量調理のリスクを削減し、児童・生徒に衛生的で安心安全な給食を提供することができた。				
課題・今後の方向性	老朽化した施設の改修を行うとともに、学校の統廃合に合わせて調理場の適正配置を検討する必要がある。				

事務事業名	食育推進活動経費			決算書 掲載ページ	482
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	教育総務課	
目	04	学校給食運営費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	271	174	0	97	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	174	
目 的	「地域の食文化の継承、地産地消の推進」及び「望ましい食生活の確立と実践」のため体験活動の取組を推進し、食や食生活に関心を持つ子供を育む。				
取組内容・実績	柏崎市の御当地グルメである「鯛めし」の材料を購入し、給食で鯛めしを提供した。				
成 果	新型コロナウイルス感染症により調理実習等ができない中、給食で食育活動を実施することができた。				
課題・今後の方向性	令和3(2021)年度から事業所管替えとなるが、更なる食文化の継承や地産地消の推進のため、引き続き食育活動内容を検討する必要がある。				

【国民健康保険事業特別会計事業勘定】

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1心と体の健康づくりを進める

事務事業名	特定健康診査等実施事業			決算書 掲載ページ	519
款	04	保健事業費	会 計	国民健康保険事業 特別会計 事業勘定	
項	01	保健事業費	担 当	健康推進課	
目	01	保健衛生普及費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	71,411		57,618	0	13,793
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	28,062		0	29,556	0
目 的	国民健康保険被保険者を対象に、特定健診と特定保健指導を行うことにより、メタボリックシンドロームを始めとする生活習慣病の予防を図る。また、健診の結果から必要な人に糖負荷試験を行い、糖尿病の早期発見、予防を図る。				
取組内容・実績	国民健康保険加入者の40歳から74歳を対象に、集団健診を51回と医療機関での個別健診を実施し、5,140人が受診した。特定保健指導は、積極的支援対象者66人、動機付け支援対象者344人に初回面接を実施した。健診の結果から糖負荷試験を受けた方は114人だった。				
成 果	受診者の健康管理及び生活習慣の改善、健康増進と医療費抑制に役立てることができた。				
課題・今後の方向性	特定健診受診率、特定保健指導実施率の向上に向けて、効果的な普及啓発を図る必要がある。				

【介護保険特別会計】

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	訪問型サービス事業			決算書 掲載ページ	598
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	01	介護予防・生活支援サービス事業費	担 当	介護高齢課	
目	01	介護予防・生活支援サービス事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	33,603		29,682	0	3,921
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	16,776		0	12,905	1
目 的	要支援認定を受けられた人などに訪問型の介護予防サービスを行う。				
取組内容・実績	訪問型サービス利用件数は、2,153件/年であった(令和2(2020)年4月～令和3(2021)年3月審査分)。訪問型サービスB、Dは、2団体へ補助を行った。				
成 果	介護保険法第115条の45の3の規定にのっとり、正確かつ迅速に事業費の支給を行うことができた。また、2団体の補助事業により、多様なサービスを提供することができた。				
課題・今後の方向性	介護保険法に基づく事業として今後も実施する。また、多様なニーズに対応するため、住民主体のサービスを拡充させる方策を検討する。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	通所型サービス事業			決算書 掲載ページ	598
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	01	介護予防・生活支援サービス事業費	担 当	介護高齢課	
目	01	介護予防・生活支援サービス事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	81,462		70,792	0	10,670
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	40,981		0	29,811	0
目 的	要支援認定を受けられた方などに対して、通所型の介護予防サービスを行う。				
取組内容・実績	通所型サービス利用件数は、4,236件/年であった(令和2(2020)年4月～令和3(2021)年3月審査分)。				
成 果	介護保険法第115条の45の3の規定にのっとり、正確かつ迅速に事業費の支給を行うことができた。				
課題・今後の方向性	介護保険法に基づく事業として今後も実施する。また、多様なニーズに対応するため、住民主体のサービスを拡充させる方策を検討する。				

事務事業名	介護予防教室事業			決算書 掲載ページ	600
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	02	一般介護予防事業費	担 当	介護高齢課	
目	01	一般介護予防事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	13,285		11,254	0	2,031
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	6,348		0	4,907	-1
目 的	要支援・要介護状態になることを防止するために、体力や筋力を向上させ、活発で自立した生活を送ることを目指す。				
取組内容・実績	パワーリハビリを柏崎アクアパーク、特養くじらなみ及びびこつこつ貯筋体操センターの3会場で実施し、408人(延べ10,756人)が参加した。西山いきいき教室を西山町いきいき館で実施し、21人(延べ554人)が参加した。				
成 果	プログラムの利用により、運動機能の向上が図られ、健康の維持や要介護状態への予防に役立てられた。				
課題・今後の方向性	高齢者の加齢に伴う運動機能低下の防止を図るため、引き続き通所形式によるプログラムを実施する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	コツコツ貯筋体操センター事業			決算書 掲載ページ	600
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	02	一般介護予防事業費	担 当	介護高齢課	
目	01	一般介護予防事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	23,759		21,185	0	2,574
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	12,572		0	8,613	0
目 的	高齢者などが、コツコツ貯筋体操を始めとする介護予防活動を通じて、活発でいきいきとした生活を送ることを支援し、要介護状態になることや要介護状態が悪化することを予防する。				
取組内容・実績	開所日数は189日で、554人(延べ6,170人)の利用があった。				
成 果	センターの利用をきっかけに、新規にコツコツ貯筋体操を開始した人は52人で、体操人口の増加につながった。				
課題・今後の方向性	コツコツ貯筋体操センターと地域会場との連携を図り、高齢者が容易に体操にアクセスできる環境整備を進めていく。				

事務事業名	地域活動支援事業			決算書 掲載ページ	602
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	02	一般介護予防事業費	担 当	介護高齢課	
目	01	一般介護予防事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,058		2,176	0	1,882
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	849		0	1,327	0
目 的	コツコツ貯筋体操などを通じ、体を動かすことの楽しさを実感し、足腰の筋力と体力を向上することにより、転倒しにくい体をつくり、自立した生活を送ることを目指す。また、参加者同士が主体的に取り組む体操の場づくりと健康な地域づくりを推進する。				
取組内容・実績	地域のコツコツ貯筋体操は195会場となり、2,928人(延べ71,638人)が参加した。また、体操普及の担い手である高齢者運動サポーターの登録者数は、296人となり、年間7,987回の活動が実践された。				
成 果	市民が主体的に取り組む体操の場を支援するとともに、体操を通じて支え合う地域づくりに寄与した。				
課題・今後の方向性	参加者数が減少している会場や高齢者運動サポーター数が減少している地区に対して、側面的な会場支援を継続するとともに、新規のサポーター養成にも取り組む。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	くらしのサポートセンター事業			決算書 掲載ページ	602
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	02	一般介護予防事業費	担 当	介護高齢課	
目	01	一般介護予防事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	61,059		60,234	0	825
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	34,009		0	26,226	-1
目 的	高齢者が住み慣れた地域や家庭で暮らし続けていけるよう、地域住民が主体となって介護予防のための活動を行う。また、住民ボランティアなどを育成し、地域での支え合い体制をつくる。				
取組内容・実績	市内20地区で実践され、701人(延べ15,180人)の利用があった。また、住民交流や住民ボランティア活動を行う付随事業は、計5地区で実践された。				
成 果	各地区の介護予防の拠点として、高齢者が参加できる地域の居場所を提供できた。また、付随事業の実践地区においては、住民同士の支え合いや高齢者自身が担い手として活躍できる体制づくりが進展した。				
課題・今後の方向性	未設置地区の実施に向けた検討と付随事業の実践地区を増加させるための啓発を継続する必要がある。				

事務事業名	包括的支援事業			決算書 掲載ページ	602
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	03	包括的支援事業・任意事業費	担 当	介護高齢課	
目	01	包括的支援事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	136,574		136,076	0	498
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	78,581		0	57,495	0
目 的	高齢者やその家族に関する困りごとや相談等に対して必要な援助を行うことにより、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する。				
取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・総合相談件数 延べ4,692件 ・権利擁護事業 延べ882件 ・高齢者虐待への対応 延べ434件 ・介護支援専門員への支援 延べ1,286件 (困難事例への支援 延べ434件、相談支援 延べ852件) 				
成 果	高齢者やその家族の相談への対応や高齢者の権利を守るための取組、地域の専門職への支援、ネットワーク構築を行うことにより、地域住民の保健医療の向上と福祉の増進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	問題を家族だけで抱え込み、相談が遅れる状況も見られるため、その要因を分析した上で、効果的な啓発方法を検討し、継続して周知を行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	成年後見制度利用支援事業			決算書 掲載ページ	604
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	03	包括的支援事業・任意事業費	担 当	介護高齢課	
目	02	任意事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,201		1,470	0	1,731
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	849		0	621	0
目 的	認知症等により、判断力が十分でない高齢者が、成年後見制度を利用することについて支援を行い、高齢者の権利を保護する。				
取組内容・実績	成年後見等へ支払う報酬に係る費用に対する助成を行った（後見人制度報酬助成6件）。				
成 果	後見人への報酬の支払いが困難な方への助成を行い、判断能力が不十分な方の財産と権利保護に寄与した。				
課題・今後の方向性	今後も認知症等で判断能力が十分でない高齢者が増えると予想されるため、支援を継続する必要がある。				

事務事業名	在宅医療・介護連携推進事業			決算書 掲載ページ	606
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	03	包括的支援事業・任意事業費	担 当	介護高齢課	
目	03	在宅医療・介護連携推進事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,771		3,726	0	45
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,152		0	1,574	0
目 的	医療と介護が必要となっても、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるように、在宅医療と介護を一体的に提供する。				
取組内容・実績	在宅医療推進センターに医療・介護関係者の相談窓口を常設した（相談件数60件）。また、医療介護関係者の情報共有の支援として、入退院時や日常の療養支援に関する連携シートの活用、ICTの運用に向けた働きかけを行った。				
成 果	在宅医療・介護関係者の相談窓口の設置や在宅医療推進センター、関係機関との円滑な連携ツールの活用に取り組むことで、医療と介護の連携強化を進めることができた。				
課題・今後の方向性	切れ目のない支援体制の構築、医療介護関係者の連携強化に向け、引き続き在宅医療推進センターと協働で事業を進めていくとともに、地域医療や介護への関心を高める市民啓発に取り組んでいく。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	生活支援体制整備事業			決算書 掲載ページ	606
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	03	包括的支援事業・任意事業費	担 当	介護高齢課	
目	04	生活支援体制整備事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	13,063		12,573	0	490
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	7,261		0	5,312	0
目 的	生活支援コーディネーターの配置、協議体（関係者間の連携会議）やくらしのサポートセンターえきまへの設置、地域の担い手育成などを通じて、生活支援サービスの充実や地域の支え合いの体制づくりを推進する。				
取組内容・実績	生活支援コーディネーターを5名配置し、年1,790回の地域活動が実践されたほか、協議体（地域の支え合い推進会議）を5回開催した。くらしのサポートセンターえきまは、延べ2,251人の利用があった。担い手育成では、くらしのサポーター講座を開催し、新規に62人を育成した。				
成 果	生活支援のための体制整備と地域づくりに取り組み、介護サービスに依存しない人の増加、地域の見守り支援体制の強化、担い手となる高齢者の生きがいや介護予防効果につながった。				
課題・今後の方向性	各地域において、具体的な支え合い活動を創出していくために、コミュニティ単位を基本とした住民協議の場を推進する必要がある。				

事務事業名	認知症初期集中支援推進事業			決算書 掲載ページ	606
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	03	包括的支援事業・任意事業費	担 当	介護高齢課	
目	05	認知症総合支援事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,187		3,186	0	1
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,840		0	1,346	0
目 的	認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、認知症の人やその家族に対し、関わり初期段階で集中的な支援を行うための体制を構築する。				
取組内容・実績	認知症初期集中支援チームを配置し、14人の対象者（令和元（2019）年度からの継続4人を含む。）に対し、初回訪問と継続訪問、その他支援を計100回、チーム会議を12回開催した。				
成 果	医師を含めた専門チームでアセスメントと検討会議を実施することにより、医療機関の受診又は適切な介護サービスの利用につながり、認知症本人の生活の質を保つことができた。				
課題・今後の方向性	対象者や支援方法、支援者へ引き継ぐタイミング等を考慮し、チーム員の負担が増加することなく支援ができるようにする必要がある。今後は受付件数の維持、増加のために関係者に事業の更なる周知を行っていく。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	認知症地域支援・ケア向上事業			決算書 掲載ページ	606
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	03	包括的支援事業・任意事業費	担 当	介護高齢課	
目	05	認知症総合支援事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	6,644	6,519	0	125	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	3,765	0	2,754	0	
目 的	認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、医療・介護の連携及び生活支援サービス等の有機的な連携したネットワークの形成、地域における支援体制の構築、認知症ケアの向上を図るための取組の推進を図る。				
取組内容・実績	<p>医療機関に委託し、認知症サポート医、認知症地域支援推進員を配置し、各種研修会等を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談実件数：278件、延べ451件 ・認知症支援者スキルアップ研修：43人 ・認知症カフェ支援：5か所 				
成 果	認知症ケア対応力の向上を目的として、初任者を対象に研修を実施し、ケアの質を確保できた。また、認知症初期集中支援事業との連携を図ったことにより、早期に認知症地域支援推進員が困難ケースに関わることが可能になり、認知症の重度化防止につながった。				
課題・今後の方向性	認知症関連事業の効率的な事業運営に向け、目標設定や役割分担等を明確にし、事業を進める必要がある。また、認知症になっても希望をもって暮らせる地域を目指し、認知症の方や、御家族の意見を重視しながら「共生」と「予防」の視点で事業を展開する必要がある。				